

保証書（持込修理）

本書は、本書記載内容(右記載)で、無料修理を行うことをお約束するものです。保証期間中に、正常なご使用状態で、故障が発生した場合には、本書をご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

品 番 Z260Cs d		S/No.	
お 買 い 上 げ 年 月 日		年 月 日	
保 証 期 間		対象部分 機器本体(消耗部品は除く) お買い上げの日から1年	
お 客 様	お 名 前	様	
	ご 住 所	〒 TEL ()	
販 売 店	店 名・住 所	上欄に記入または捺印のない場合は、必ず販売店様発行の領収書など、お買い上げの年月日、店名等を証明するものを、お貼りください。	
	故障内容記入欄		

<無料修理規定>

1. 本書記載の保証期間内に、取扱説明書等の注意書に従った正常なご使用状態で故障した場合には、無料修理いたします。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合には、製品と本書をご持参、ご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
3. ご転居ご贈答品等で本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼できない場合には、お客様ご相談センターへご相談ください。
4. 保証期間内でも次の場合は有料修理になります。
 - (イ) 使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障および損傷
 - (ロ) お買い上げ後の移動、落下等による故障および損傷
 - (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、指定外の使用電源(電圧、周波数)や異常電圧による故障および損傷
 - (ニ) 特殊な条件下等、通常以外の使用による故障および損傷
 - (ホ) 故障の原因が本製品以外にある場合
 - (ヘ) 本書のご提示がない場合
 - (ト) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合
 - (チ) 付属品や消耗品等の消耗による交換
5. 本書は、日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.

※本書を紛失しないように大切に保管してください。

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または、お客様ご相談センターにお問い合わせください。

●対象部分機器

本体（消耗部品は除く）

●修理をご依頼されるとき

「故障かな?と思ったら」で確認しても、なお異常があると思われるときは、機種名(品番)、氏名、住所、電話番号、購入年月日、保証書の有無と故障状況をご連絡ください。ご転居ご贈答品等で本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼できない場合には、お客様ご相談センターへご相談ください。

○保証期間中のとき

保証書の「故障内容記入欄」にご記入いただき、お買い上げの販売店まで、保証書とともに、機器本体をご持参ください。保証書の内容に従って修理いたします。

○保証期間が過ぎているとき

まず、お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。
※点検や修理の際、履歴や登録したデータが消去される場合があります。
※修理期間中の代替機の貸し出しは行っておりません。あらかじめご了承ください。

ユピテルご相談窓口

お問い合わせの際は、使用環境、症状を詳しくご確認のうえ、お問い合わせください。

- 下記窓口の名称、電話番号、受付時間は、都合により変更することがありますのでご了承ください。
- 電話をおかけになる際は、番号をお確かめのうえ、おかけ間違いのないようご注意ください。
- 紛失等による同梱品の追加購入や別売品の購入につきましては、お買い上げの販売店にご注文ください。

故障相談や取扱方法などに関するお問い合わせ

受付時間 9:00~17:00 月曜日~金曜日(祝祭日、年末年始等、当社指定期間を除く)

お客様ご相談センター



0120-998-036



セパレートタイプ
GPS & レーダー探知機

Z260Cs d

取扱説明書



目次

必ずお読みください

本機の機能について	2
安全上のご注意	4
使用上のご注意	6
本書をお読みいただくにあたって	8
本機について	9
同梱品の確認・各部の名称と働き	11
別売品のご案内	14

使用の準備

取り付け(本機取り付け)	16
取り付け(アンテナ取り付け)	22
取り付け(電源コードの配線)	24
SDカードアダプタの装着/取り外し	29

取締りのミニ知識

取締りのミニ知識	30
----------	----

基本的な使い方

電源をONにする～出発	32
画面表示について	
待受画面	36
各待受画面の説明	38
公開取締り情報について	59
警報画面について	60
取締りレーダー波を受信すると・・・	62
GPS ターゲットに接近すると・・・	64
警報ボイスについて	65
各種無線電波を受信すると・・・	69
投稿ピンについて	71

マイエリアを登録する	72
マイキャンセルエリアを登録する	73

カスタマイズ

設定・待受	74
モード	82
警報	87
画面・LED	90
音声	91
投稿	94
リマインダー	97
システム	98
カスタム	99
OBD	101
月間記録	104
無線LAN(WLAN)	105

ity. MAP サービス

今すぐ地図表示サービス、地図閲覧サービス	114
ログ機能	115
オービス・取締り系&コンテンツデータ更新	116

その他

故障かな?と思ったら	117
ダッシュボード取り付け用ブラケットについて	120
仕様	121
地図データベースについて	122
Googleカレンダー設定のログインに失敗する	124
保証書	裏表紙

株式会社ユピテル

〒108-0023 東京都港区芝浦4-12-33

MEMO

This image shows a single sheet of white paper with horizontal ruling lines. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There are no margins, text, or other markings on the paper.

情報を知る

ハイブリッド OBDII アダプター対応

適応車種なら、OBD-HVTM を使用すると、2 つのアクティブ機能やハイブリッド専用情報を表示できます。

※別売品の OBD-HVTM が必要になります。

■ 2 つのアクティブ機能がご使用可能に!



●「車速感応ドアロック」
お子様の乗車に安心



●「エマージェンシーシグナル」
緊急時をサポートする



4 つのセンサー搭載

←P.9・P.10

照度センサーが新たに搭載されて、トンネルなどの急な明るさの変化にも対応。
気圧センサーが搭載されたことで、首都高などの入口での高度変化による気圧の変化を感知。



最大 23 種類の待受画面

←P.36

お好みの待受画面を選んでください。
OBDII アダプターによる接続で最大 23 種類の待受画面を表示できます。



待受表示項目数 最大 210 項目以上

※別売品の OBDII アダプターを使用した場合の項目数になります。
※適応車種が指定されています。詳しくは店頭、ホームページへ。

←P.44



安全上のご注意

必ずお読みください

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。ここに記載された注意事項は、製品を正しくお使いいただき、使用の方への危害や損害を未然に防止するためのものです。安全に関する重大な内容ですので、必ず守ってください。また、注意事項は危害や損害の大きさを明確にするために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、次の表示で区分し、説明しています。

警告：この表示は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

注意：この表示は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

絵表示について

⚠ この記号は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。

🚫 この記号は、してはけない「禁止」内容です。

❗ この記号は、必ず実行していただく「強制」内容です。

➡ この記号は、関連するページを示します。

警告

❗ 異物が入ったり、水に浸かったり、煙が出ている、変な臭いがある等、異常な状態のまま使用しないでください。発火の恐れがありますので、すぐに使用を中止して、修理をご依頼ください。

❗ 粘着マット、粘着シートの貼り付け位置は、汚れ・ホコリを十分に落してください。粘着力を弱め、本機が脱落する恐れがあります。

❗ 電源直結コードの接続は＋の極性をよく確かめて確実に行ってください。異常加熱や発火の原因となります。

❗ 電源直結コードで取り付け後は、車両の電装品が正常に動作するか確認してください。車の電装品（ブレーキ、ライト、ウインカーなど）が正常に動作しない状態で使用すると、火災や感電、事故の原因となります。

❗ 電源コードは確実に差し込んでください。接触不良を起こして火災の原因となります。

❗ お手入れの際は、シガープラグコードを抜いてください。感電の原因となります。

❗ 心臓ペースメーカー等の医療機器をご使用のお客様は、医療用機器への影響を医療用電気機器製造業者や担当医師にご確認ください。

❗ 万一、破損した場合は、すぐに使用を中止する。そのまま使用すると火災や感電、故障の原因となります。

❗ 取り付けは、運転や視界の妨げにならない場所、また、自動車の機能（ブレーキ、ハンドル等）の妨げにならない場所に取り付けてください。誤った取り付けは、交通事故の原因となります。

❗ シガーライターソケットは単独で使ってください。タコ足配線や分岐して接続すると、異常加熱や発火の原因となります。

❗ シガーライターソケットやシガープラグコードのマイナス端子、プラス端子の汚れはよく拭いてください。接触不良を起こして火災の原因となります。

❗ 指定以外のヒューズは使用しないでください。指定以外のヒューズを使用すると異常過熱や発火の原因となります。ヒューズは必ず同一の定格のものと交換してください。

❗ 持病をお持ちの方や妊娠の可能性がある、もしくは妊娠されている方は、本機を使用する前に医師にご相談ください。

🚫 サービスマン以外の方は、絶対に機器本体および同梱品を分解したり、修理しないでください。感電や故障の原因となります。内部点検や調整、修理は販売店にご依頼ください。

🚫 破裂、発火や火傷の原因となりますので、本機を火の中、電子レンジ、オープンや高压容器に入れないでください。また、本機を加熱したりしないでください。

🚫 穴やすき間にピンや針金等の金属を入れないでください。感電や故障の原因となります。

🚫 本機を次のような場所に保管しないでください。変色したり、変形したり、故障の原因となります。

- ・直射日光が当たる場所や暖房器具の近くなど、温度が非常に高い所
- ・湿気やほこり、油煙の多い所
- ・ダッシュボードや炎天下で窓を閉め切った自動車内

🚫 急発進したり急ブレーキをかけないでください。安全運転上、大変危険です。また本体などの脱落・落下等によるケガや事故、物的損害をこうむる恐れがあります。

注意

❗ OBD II アダプターを抜くときは、電源ケーブルを引っ張らないでください。電源ケーブルに傷がついて、感電やショートによる発火の原因となります。必ず OBD II アダプターの本体部分を持って抜いてください。

🚫 気温の低いところから高いところへ移動すると、本機内に結露が生じることがあります。故障や発熱などの原因となりますので、結露したまま使い続けないでください。

🚫 落としたり、強いショックを与えない。破損、故障の原因となります。

🚫 ベンジンやシンナー等の揮発性の薬品を使用して拭かないでください。塗装面を傷めます。

⚠ 本機は精密機械です。静電気 / 電氣的ノイズ等でデータが消えることがあります。データが消えると作動しません。

🚫 エアバッグの近くに取り付けたり、配線をしないでください。万一のとき動作したエアバッグで本機が飛ばされ、事故やケガの原因となります。また、コード類が妨げとなり、エアバッグが正常に動作しないことがあります。

🚫 指定された電源電圧車以外では使用しないでください。火災や感電、故障の原因となります。また、ソケットの極性にご注意ください。本機はマイナスアース車専用です。

🚫 コードを傷つけたり、無理に曲げたり、加工しないでください。故障や感電の原因となります。

🚫 電源直結コードは、バッテリーに直接接続しないでください。火災や感電、故障の原因となります。

🚫 病院内や航空機内など、使用が禁止されている場所では使用しないでください。電子機器などが誤作動する恐れがあり、重大な事故の原因となります。

⚠ SD カードおよびその他の同梱品は、子供の手の届かない場所に保管してください。誤って飲み込んでしまう恐れがあります。

❗ 車から離れるときは、電源を OFF にしてください。使用しないときは電源を OFF にしてください。

🚫 各端子に異物が入ると、故障の原因となる場合がありますので取り扱いにご注意ください。

🚫 濡れた手で操作しないでください。感電の原因となります。

🚫 本機の外装を清掃する場合は水や溶剤は使わずに、乾いた柔らかい布で行ってください。内部に異物が入った場合は使用を中止し、お買い上げいただいた販売店にご相談ください。

🚫 お手入れの際は、OBD II アダプターを抜いてください。感電の原因となります。

使用上のご注意

- 本機を使用中の違反に関しては、一切の責任を負いかねます。日頃からの安全運転をお心がけください。
- 電波の透過率が低いガラス（金属コーティングの断熱ガラスなど）の場合、電波が受信しにくくなり、GPS 測位機能がはたらかない場合や、取締レーダー波の探知距離が短くなる場合があります。

- ・自然災害や火災、その他の事故、お客様の故意または過失、製品の改造等によって生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- ・説明書に記載の使用方法およびその他の遵守すべき事項が守られないことで生じた損害に関し、当社は一切の責任を負いません。
- ・本機の仕様および外観、アイコン、表示名、表示の内容は、実際と異なったり、改良のため予告なしに変更する場合があります。
- ・本製品の取り付けによるダッシュボードおよび車両の変色・変形（跡が残る）に関し、当社では補償いたしかねます。

■ 表示部に関する注意

- ・表示部を強く押したり、衝撃を与えないでください。表示部の故障や破損でケガの原因となります。
- ・サングラスを使用時、偏光特性により、表示が見えなくなってしまうことがあります。あらかじめご了承ください。
- ・周囲の温度が極端に高温になると表示部が黒くなる場合があります。これは液晶ディスプレイの特性であり故障ではありません。周囲の温度が動作温度範囲内になると、元の状態に戻ります。

■ 電源コードに関する注意

- ・シガープラグコードまたは電源直結コードは、必ず同梱品をご使用ください。
- ・シガープラグコードまたは電源直結コードの内部には、ヒューズとスプリングが入っています。ヒューズが切れた場合は、部品の紛失に注意し、市販の新しいヒューズ(1A)と交換してください。なお、交換してもすぐにヒューズが切れる場合は、使用を中止し、シガープラグコードまたは電源直結コードを抜いて、お買い上げの販売店、または、お客様ご相談センターにご相談ください。

■ 取り付けに関する注意

- ・GPS 衛星からの電波やレーダー波を受信しやすくするため、障害物や遮へい物のない視界の良い場所に取り付けてください。
- ・車載されている他の電装機器のアンテナの近くなど、他の電装機器の電波干渉により GPS 衛星の電波を受信できない場合があります。本機を取り付ける場所は、他の電装機器との間隔を十分取ってください。
- ・水がかかったり、熱風が当たる場所には取り付けしないでください。
- ・本機あるいは電源コードが、ドアの開閉部などにあたったり、はさまれないようにしてください。
- ・本機を道路に対して水平に、またレーダー / 無線アンテナ部が進行方向に取り付けていないと、G センサー / ジャイロセンサーが正しく動作しないことがあります。
- ・取付位置によっては、本機のフレックスディマーを照度センサ+GPS にした場合にフレックスディマーが常時作動することがあります。その場合は、取付位置を変更するか、フレックスディマーの設定を GPS にしてご使用ください。

■ SD カードに関する注意

- ・同梱品の SD カードは、本機専用でご使用ください。
- ・SD カードの出し入れは、本機の電源を OFF にした状態で行ってください。
- ・SD カードは一方向にしか入りません。無理に押し込むと、本機や SD カードが壊れることがあります。
- ・本機に SD カードが入っていないと、本機は起動しません。必ず同梱品の SD カードを挿入してお使いください。

■ 無線 14 バンド受信機能に関する注意

- ・カーオーディオやカーナビ、カーエアコン、ワイパー、電動ミラーなどのモーターノイズにより、反応する場合があります。あらかじめご了承ください。
- ・本機は、受信した音声聞くことができる交信音声受信機能(復調)を搭載しておりますが、デジタル方式や、デジタル信号での通信は、受信しても内容はわかりません。また、各無線交信は、数秒間で終わることが多いため、交信内容を完全に聞き取ることができない場合もあります。
- ・カーロケーターシステムは、全国的に新システムへの移行が進んでいます。現在は受信可能な地域であっても今後、新システムへの移行により受信できなくなる場合がありますので、あらかじめご了承ください。新システムが導入された地域や、新システムに移行した場合、カーロケ無線の警報や、ベストパートナー 6 識別は、はたらかしません。

■ レーダーアラームに関する注意

- ・走行環境や測定条件などにより、取締りレーダー波の探知距離が変わることがあります。
- ・狙い撃ちの取締り機(ステルス型取締り機)は、計測する瞬間だけ電波を発射するため、受信できなかったり、警報が間に合わない場合があります。先頭を走行する際はくれぐれもご注意ください。
- ・レーダー波を使用しない速度取締り(光電管式など)の場合、事前に探知することができませんので、あらかじめご了承ください。

■ GPS 測位機能に関する注意

- ・本機を初めてご使用になる場合は、GPS 測位が完了するまで 20 分以上時間がかかる場合があります。
- ・車載 TV を UHF56 チャンネルに設定していると、GPS 測位できない場合があります。UHF56 チャンネル受信周波数が障害電波となり、GPS 受信に悪影響を与えるためです。
- ・新たに設置されたオービスなどのターゲットは、GPS 警報できませんのであらかじめご了承ください。
- ・GPS 警報の左右方向識別ボイスは、告知時点でのターゲット方向であり、右車線、左車線を示す訳ではありません。

■ 画面表示に関する注意

- ・日付および時刻は、GPS 測位により自動的に設定され、日付や時刻合わせの操作は不要です。(測位状況により日付や時刻が合わないことがあります。)
- ・時刻の表示は、24 時間表示です。12 時間表示に変更することはできません。
- ・走行速度や GPS ターゲットまでの距離、自車アイコンは、GPS や G センサー、ジャイロセンサー、気圧センサー、マップマッチングシステムにより計測し表示させています。状況によっては実際と異なる場合もあります。
- ・車両の速度計は、実際より数値が高く表示される(プラス誤差)傾向があります。
- ・渋滞や低速走行時(発進直後を含む)は、速度表示を正しく表示しないことがあります。
- ・画面右下の時計表示は、GPS 非測位中と電源 ON 直後の測位完了までの間赤色で表示し、測位すると白色に変わります。一度測位したあと、トンネルなどで測位できない状況になると赤色表示に変わり、再度測位すると白色表示に戻ります。

■ 別売品の OBD II アダプターで接続した場合

- ・取り付ける車両によっては表示できない待受画面の項目があります。
- ・イグニッションを OFF にしてから本機の電源が OFF するまで、数秒から数十秒かかります。
- ・車検、点検等の後は、故障診断装置接続の為本機の OBD II アダプターが抜けている場合があります。その際は再度 OBD II コネクターへ本機の OBD II アダプターを挿し込んでください。

本書をお読みいただくにあたって

●本書はすぐに本機をご使用いただくための基本的な手順と、ご使用に伴って機能をカスタマイズしたい場合の手順を分けて記載してあります。

必ずお読みください	P. 2		レーダー探知機を初めて使う場合は、この部分をお読みください。
使用の準備	P. 16		
取締りのミニ知識	P. 30		
基本的な使い方	P. 32		
カスタマイズ	P. 74		機能のカスタマイズが必要な場合は、こちらもお読みください。
ity.	P. 114		ity. マップサービスとオービス・取締り系&コンテンツデータ更新のご案内です。
その他	P. 117		「故障かな?と思ったら」が記載されています。 例外的な手順はこちらをお読みください。

※説明のために差し支えない部分において、該当以外の機種のイラストを使用している場合があります。
※本書で使用している画像は、実際の画面とは見えかたが異なる場合があります。

●本書内には説明のために、以下の各種アイコンが記載されています。

 ボイス警報をする場合に表示します。	 アドバイス 本機をうまくお使いいただくためのアドバイスです。
OBD II アダプター 別売品のOBD II アダプター(OBD12-M、OBD-HVTM)が接続されている場合の記述または表示であることを表しています。	サイレント警報 画面表示のみのサイレント警報をする場合に表示します。注意度の低いターゲットを画面表示のみで警告/お知らせします。不要なボイスが流れませんので、運転を妨げません。
左右方向識別ボイス 左右方向識別ボイスが流れる場合に表示します。	オービス5段階警報 オービス5段階警報をする場合に表示します。

本機について

つづく

GPS測位機能について

GPS(Global Positioning System)とは、衛星軌道上の人工衛星から発信される電波により、緯度・経度を測定するシステムです。
カーナビでお馴染みのこのシステムを利用して、取締りレーダー波を発射しないループコイル、LHシステムのオービス(無人式自動速度取締り装置)にも警報します。
また、固定設置式のオービスだけでなく、交通監視システムやNシステム、そして、過去に取締りや検問が行われていた場所など、54種類のターゲットを識別してお知らせします。[GPS54識別]

マップマッチングシステム

GPS・Gセンサー・ジャイロセンサーで、自車の進行状態を検知。全国地図と照合し、ルートのずれを補正します。
※トンネル内のマップマッチングシステムは、全国の高速道路ならびに国道のトンネルで、はたります。
※新しい道路などではマップマッチングしない場合もあります。
※状況によってはマップマッチングがはたらない場合があります。



ジャイロセンサー&Gセンサー&気圧センサー&照度センサー

ジャイロセンサーで、自車の進行方向の変化を計測します。
Gセンサーで、自車の加減速の変化を計測します。
気圧センサーで、気圧の変化による高度変化を計測します。
また、照度センサーで周囲の明るさを計測します。



クイック測位&準天頂衛星「グロナス」「みちびき」対応

前回電源をOFFにした時刻と自車位置情報を基に、GPS衛星位置を予測し、現在の自車位置をすばやく測位することができます。



OBD II 車速検知 ※別売品のOBD IIアダプターで接続時

GPS電波を受信できないトンネル内でも、正確な車速情報を得ることができます。

<マップマッチングシステム>、<気圧センサー&Gセンサー&ジャイロセンサー>、別売品のOBD II アダプター(OBD12-M、OBD-HMVT)を接続することによる<OBD II 車速度検知>により、GPS電波の受信状態が良くない場所でも、高精度な警報を行うことが可能となります。

- ※ 次の場合、クイック測位は機能しません。
- 最後に本機の電源をOFFにしてから6日以上経過した場合。
 - 最後に本機の電源をOFFにした時と、次に電源をONにした時のGPS衛星の状況が異なる場合。
 - GPS波の受信を妨げる遮蔽物や妨害波がある(存在する)場所で本機の電源をONにした場合。

受信可能な電波

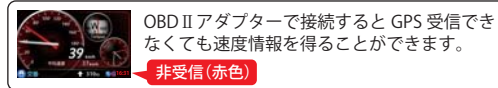
取締りレーダー波のX・KツインバンドとGPSの3バンドの他に、無線14バンド受信をプラスし、17バンド受信ができます。

衛星 + $\frac{\text{Xバンド}}{\text{Kバンド}}$ + 無線14バンド = 17 BAND

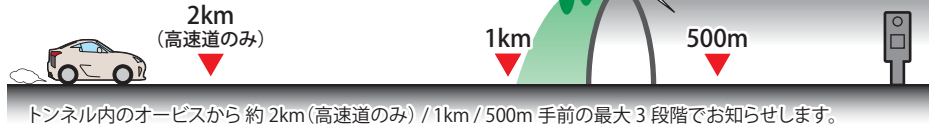
本機について

トンネル内の警報・警告について

本機は、Gセンサー、ジャイロセンサーおよびマップマッチングシステムにより、GPSの電波を受信できないトンネル内のオービスや取締エリアをお知らせします。さらに別売品のOBD IIアダプター(OBD12-M、OBD-HVTM)で接続した場合は、OBD II車速検知により高精度な警報を行います。



トンネル内オービス 3段階警報



トンネル内追尾式取締エリア警告

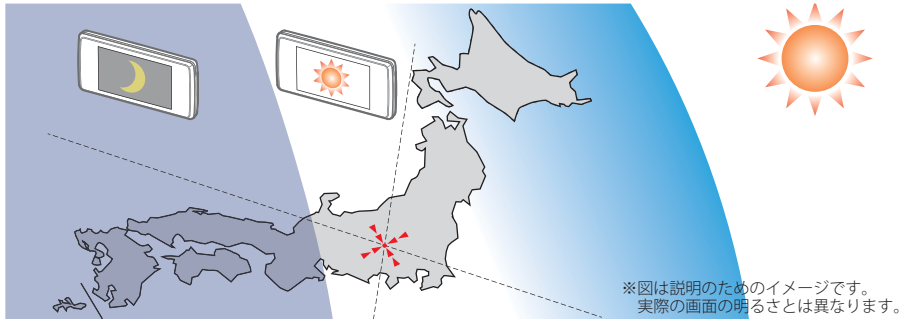


トンネル出口直後速度取締エリア警告



画面の明るさ調節(フレックスディマー)

夜間やトンネルなど周囲が暗いときは、画面表示の明るさを抑え、眩しさを防ぎます。GPS情報等により、それぞれの地域および季節などに応じ自動的に画面表示の明るさを調整します。また、照度センサーを搭載しているので、トンネルなどの急激な照度の変化にも対応しています。

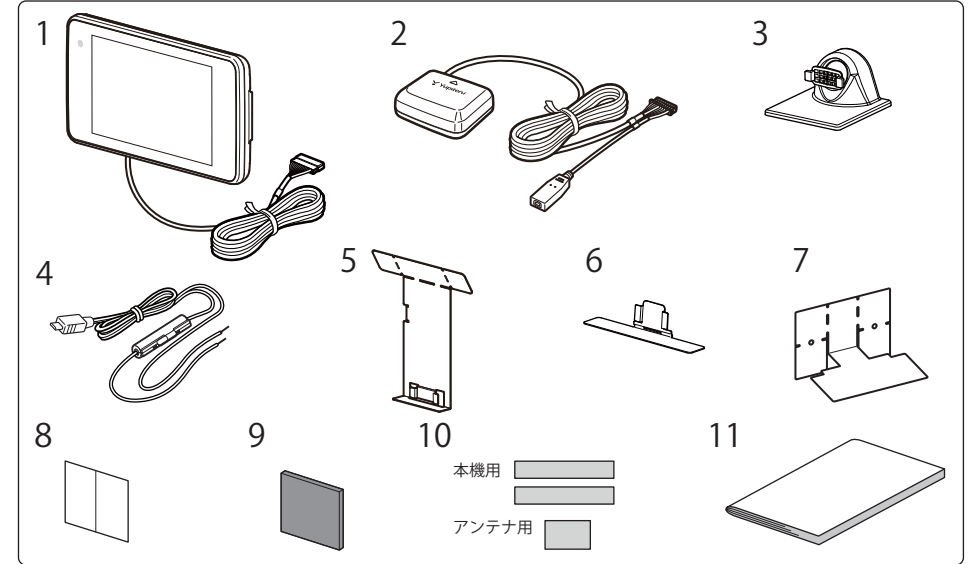


同梱品の確認・各部の名称と働き

つづく

同梱品の確認をしてください

製品には万全を期しておりますが、欠品等ございましたら、お買い上げの販売店にお申し付けください。



番号	名称	説明
1	本機 (●P.12)	Z260Csd 本機です。
2	アンテナ部 (●P.13)	本機と接続するレーダー/無線アンテナです
3	ダッシュボード取り付け用ブラケット (●P.16)	本機を車両のダッシュボードに取り付けるためのブラケットで、取り付け角度を上下左右に調整できます。
4	電源直結コード(ミニプラグDC12V出力) (●P.25)	車両のヒューズボックスから本機に電源を供給するためのコードです。
5	宙づり取り付けステー (●P.21)	本機をウインドー上部などに取り付ける時に使用します。
6	ダッシュボード取り付けステー (●P.20)	本機をダッシュボードに取り付ける時に使用します。
7	アンテナ用取り付けステー (●P.22)	アンテナ部をミラー裏に取り付ける時に使用します。
8	粘着シート (●P.17)	粘着マット使用時にダッシュボードに貼り付きにくい場合に使用します。
9	粘着マット (●P.16)	ダッシュボード取り付け用ブラケットをダッシュボードに固定します。
10	各種両面テープ (●P.19～23)	本機をダッシュボードに直接取り付けの時や、ステーを取り付ける時に使用します。

必ずお読みください

同梱品の確認・各部の名称と働き

番号	名称	説明
11	取扱説明書・保証書(本書)	裏表紙が保証書になっています。 お買い上げいただいた販売店の店名・住所が記載されている ことをご確認ください。記載されていない場合は、販売店に確 認ください。
—	SDカードアダプタ(●P.29)	microSDカードを装着するためのアダプタです。 (本機にあらかじめ装着されています。)
—	microSDカード(4GB)(●P.29)	本機で使用する各種データが記録されています。 (本機にあらかじめ装着されています。)

※同梱品の追加購入につきましては、●P.121をご覧ください。

各部名称

本機

正面

LED 発光部

警報の種類・緊急度によって、
さまざまな色で光って警告し
ます。(●P.65)

照度センサー

周囲の明るさを測定します。

3.6 インチワイド液晶
ディスプレイ

タッチパネルで操作を行います。

接続ケーブル(約 1m)、コネクター
アンテナのコネクターと接続します。(●P.23)

背面

SD カード挿入口

本機で使用する SD カード
アダプタと microSD カード
があらかじめ装着されて
います。(●P.29)

シリアルナンバー
製造番号が印刷されています。

気圧センサ

大気圧を測定します。

電源スイッチ [PWR]

「ON」にすると電源が入ります。

スピーカー

警告音などを出力します。

※液晶ディスプレイは非常に精密度の高い技術でつくられており、99.99% 以上の有効画素数がありますが、0.01% の画素欠けや常時
点灯する画素があります。あらかじめご了承ください。

アンテナ

レーダー / 無線アンテナ (前面)

取締りレーダー波と各種無線信号
電波を受信します。

接続ケーブル
(約 3m)

GPS アンテナ

GPS 衛星からの電波を
受信します。

コネクター

本機のコネクターと
接続します。

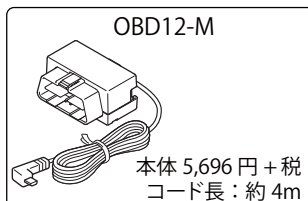
DC ジャック

シガープラグコードなどの
プラグを接続します。

別売品のご案内

お使いいただくことでより便利に、また本機の性能を100%活用できるようになります。

OBD II アダプター (OBD12-M、OBD-HVTM)



電源直結コードのかわりに本機への電源供給を行うと同時に、車両側のOBD II に関する情報を取り出して画面に表示させたり、より正確な警告を行うことができるようになるアダプターです。

OBD II アダプター (OBD12-M、OBD-HVTM) 使用時は、下記製品は使用できません。

同梱品

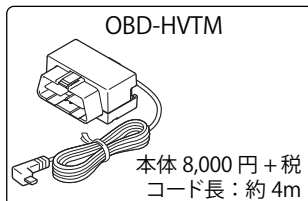


電源直結コード

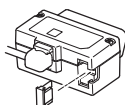
別売品



シガープラグコード (OP-7U)



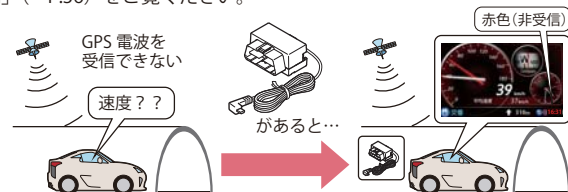
■ヒューズの交換方法



交換用ヒューズ:
低背ヒューズ 2A

本機の標準仕様では表示されない OBD II 情報を待受画面として表示させることができます。各画面についての詳細は、「各待受画面の説明」(P.36) をご覧ください。

OBD II アダプター (OBD12-M、OBD-HVTM) を使用していない場合、トンネル内など GPS 電波を受信できない場所では速度情報を得ることができません。ご使用いただくことで、GPS 電波を受信できなくても速度情報を得て、速度表示や正確な警告を行うことができます。



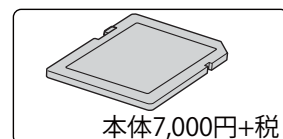
⚠️ 注意

- ❗ OBD II アダプター (OBD12-M、OBD-HVTM) 使用時、車種によっては画面に表示できない情報があります。詳細については、販売店の店頭や当社ホームページで OBD II アダプター 対応表をご確認ください。
- ❗ OBD II アダプター (OBD12-M、OBD-HVTM) には、対応車種が指定されています。販売店の店頭や当社ホームページで OBD II アダプター 対応表をご確認いただいてからお求めください。

⚠️ 警告

- ❗ 本機の DC ジャックは USB 端子ではありません。故障の原因となりますので、本機をパソコンなど他の機器の USB 端子と接続しないでください。

無線 LAN 機能付 SD カード (OP-WLSD08)

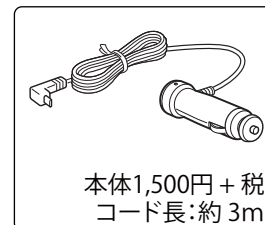


無線 LAN 機能が付いた SD カードです。

データ自動更新機能が付いており、無料の公開取締り情報やオービス・取締り系 & コンテンツデータ*を更新することができます。

*更新には **ity.クラブ** へのご入会が必要となります。

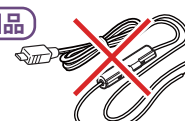
シガープラグコード (ミニプラグ DC12V 出力) (OP-7U)



シガーライターソケットから電源をとる場合に使用します。

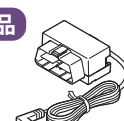
シガープラグコード (OP-7U) 使用時は、下記製品は使用できません。

同梱品



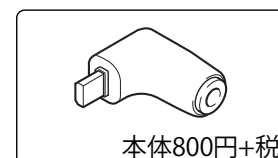
電源直結コード

別売品



OBD II アダプター
(OBD12-M、OBD-HVTM)

DC プラグ ⇨ ミニプラグ 変換コネクター (OP-8U)

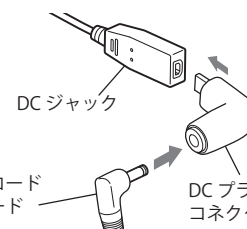


弊社レーダー探知機からのお買い換えなどの場合に、既存のシガープラグコードや電源直結コードを継続して使用していただけるように、本機接続側の DC プラグをミニプラグに変換するコネクターです。

既存のシガープラグコード
もしくは電源直結コード



接続可能なプラグ
の先端形状



既存のシガープラグコード
もしくは電源直結コード

DC プラグ ⇨ ミニプラグ変換
コネクター (OP-8U)



下記のいずれかの製品で、新たに配線してください。

同梱品



電源直結コード

別売品



シガープラグコード
(OP-7U)

別売品



OBD II アダプター
(OBD12-M、OBD-HVTM)

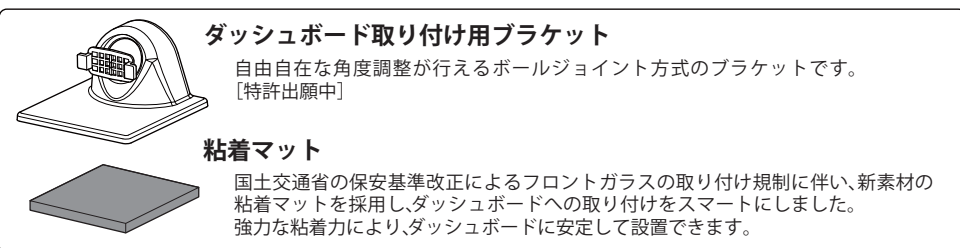
本機を使用する手順として「本機を取り付ける」「電源コードをつなぐ」の手順に従って説明します。

まず本機を取り付けます。下記の4通りの取り付け方法があります。

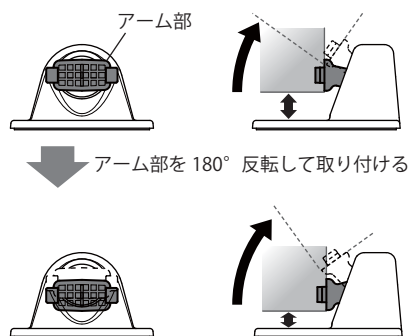
- ①ダッシュボード取り付け用ブラケットで取り付ける
- ②直付け用両面テープでダッシュボードに直接取り付ける
- ③ダッシュボード取り付けステーでダッシュボードに直接取り付ける
- ④宙づり取り付けステーでフロントガラス上部に取り付ける

いずれかの方法で取り付けを行ってください。

①ダッシュボード取り付け用ブラケットで取り付ける



ダッシュボード取り付け用ブラケットの調整



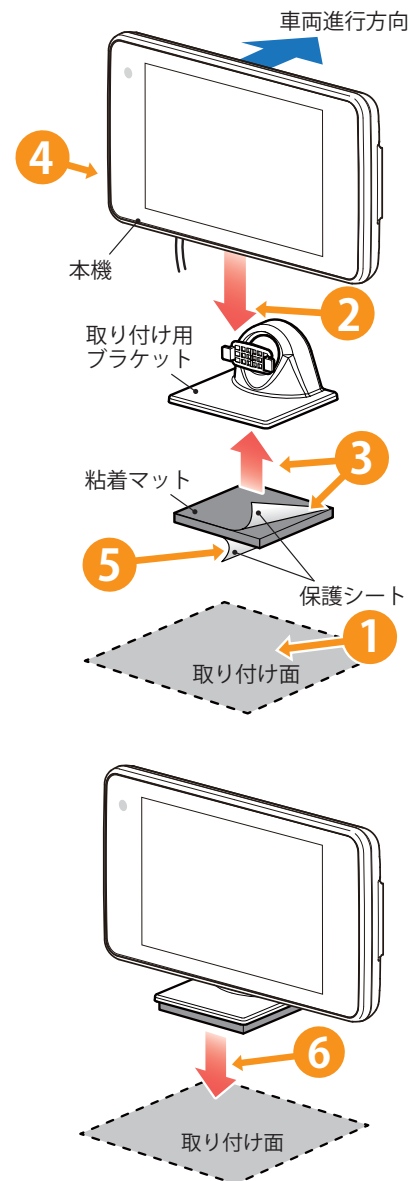
ダッシュボード取り付け用ブラケットは、アーム部の取り付け向きを180度変えることで、本機の実付け高さを抑えることができます。

アームの向きを変えると、本機を起す方向は、より広い取り付け角度に対応することができますが、左右に倒す方向の実付け角度は狭くなります。ダッシュボードの実付け面の角度に応じて調整してください。

アーム部の取り付け・取り外しは P.120をご覧ください。

⚠注意

- ❗ 取り付けにより、ダッシュボードに跡が残ったり、変色や変形が生じる場合があります。ご使用の有無に関わらず、お車への補償はいたしかねますので、あらかじめご了承ください。
- ❗ ダッシュボードから外す場合は、ダッシュボード取り付け用ブラケットの下部を持って、ゆっくりと行ってください。本機やダッシュボード取り付け用ブラケット上部を持つと、破損の原因となります。



1 ダッシュボードの実付け面にホコリや汚れがないことを確認してください。取り付け面は、なるべく平らで水平に近く、GPS 電波を受信しやすい場所にしてください。

2 本機の溝をブラケットに合わせ取り付けます。

3 保護シートを片面だけをはがし、粘着マットをブラケットに貼り付けます。

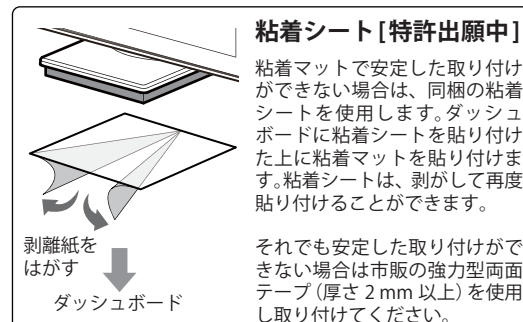
4 PWRをONにしておきます。

5 残りの保護シートをはがします。

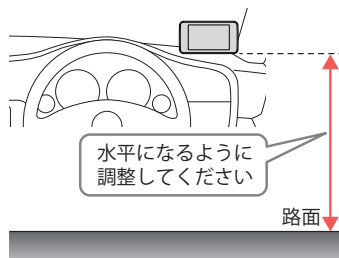
粘着マットは水洗いできます

ホコリや汚れなどで粘着力が弱くなった場合は、中性洗剤を使い水洗いすると粘着力が復元します。

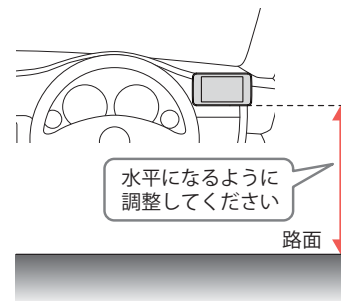
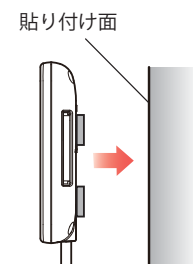
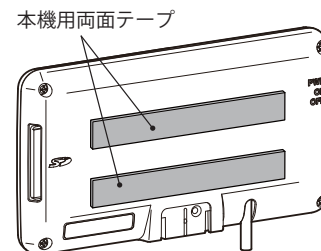
6 ダッシュボードの実付け面に取り付けます。本機を破損しないようブラケットを押さえつけて貼り付けます



- 7 Gセンサーやジャイロセンサーが正しく動作するように、本機の背面が車両進行方向を向くようにし、画面が見やすいように調整してください。



②両面テープでダッシュボードに直接取り付ける



- 1 取り付け面にホコリ、汚れや脂分がないことを確認してください。取り付け面は、なるべく平らで水平に近い場所にしてください。
- 2 本機用両面テープの保護シートを片面だけはがして、本機の裏面にしっかりと貼り付けてください。
- 3 本機用両面テープの残った保護シートを剥がしてください。本機の背面を車両進行方向に向けて、水平な路面と平行になるように取り付けてください。取り付けをしたあと、剥がすと粘着力が落ちます。再度取り付ける場合は、同等の両面テープ(市販品)をご用意ください。

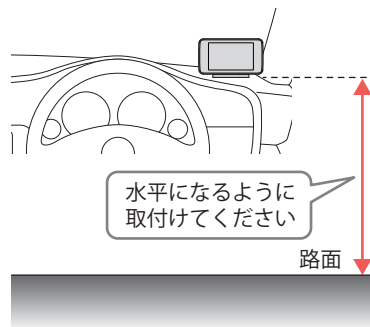
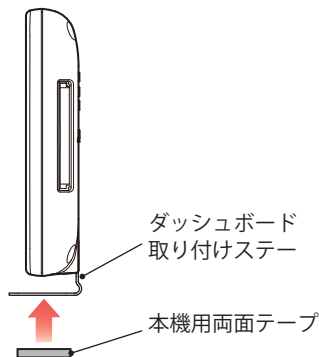
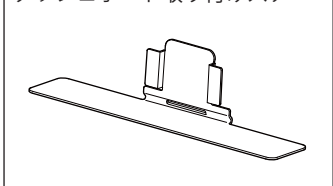
- ・本機用両面テープは、宙づり取付けステーやダッシュボード取付けステーと兼用になっています。貼り直すと粘着力が低下しますので、取り付け方法を変更する場合は、同等の両面テープ(市販品)をご用意ください。
- ・水がかかったり、温度差が激しい場所(エアコンの吹き出し口付近など)には、取り付けしないでください。
- ・本機あるいはコードが、ドアの開閉部などに当たったりはされないようにしてください。

⚠注意

- ❗ 取り付けにより、ダッシュボードに跡が残ったり、変色や変形が生じることがあります。ご使用の有無に関わらず、お車への補償はいたしかねますので、あらかじめご了承ください。
- ❗ 貼り付けた場所から外す場合は、無理にはがさず、慎重に行ってください。本機や車両の破損の原因となります。

③ダッシュボード取り付けステーで取り付ける

ダッシュボード取り付けステー



1 取り付け面にホコリ、汚れや脂分がないことを確認してください。
取り付け面は、なるべく平らで水平に近い場所にしてください。

2 本機をダッシュボード取り付けステーに取り付け、本機用両面テープの保護シートを片面だけはがして、ダッシュボード取り付けステーの裏面にしっかりと貼り付けてください。

3 本機用両面テープの残った保護シートを剥がしてください。
本機の背面を車両進行方向に向けて、水平な路面と平行になるように取り付けてください。

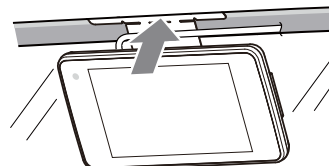
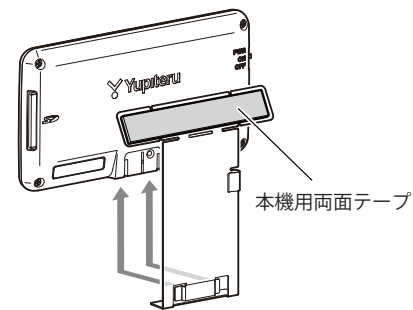
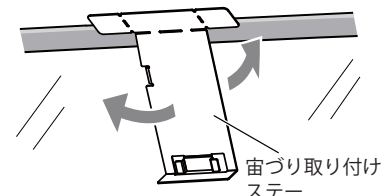
- ・本機用両面テープは、宙づり取り付けステーやダッシュボード取り付けステーと兼用になっています。貼り直すと粘着力が低下しますので、取り付け方法を変更する場合は、同等の両面テープ(市販品)をご用意ください。
- ・水がかかったり、温度差が激しい場所(エアコンの吹き出し口付近など)には、取り付けないでください。
- ・本機あるいはコードが、ドアの開閉部などに当たったりはされないようにしてください。

⚠注意

- ❗ 取り付けにより、ダッシュボードに跡が残ったり、変色や変形が生じる場合があります。ご使用の有無に関わらず、お車への補償はいたしかねますので、あらかじめご了承ください。
- ❗ 貼り付けた場所から外す場合は、無理にはがさず、慎重に行ってください。本機や車両の破損の原因となります。

④宙づり取り付けステーで取り付ける

宙づり取り付けステー



1 あらかじめ貼り付け場所を決めて、見やすい角度になるようにステーを折り曲げて、角度の調整をします。

2 本機を宙づり取り付けステーに取り付け、本機用両面テープの保護シートを片面だけはがして、宙づり取り付けステーの貼り付け面にしっかりと貼り付けてください。

3 本機用両面テープの残った保護シートを剥がして、宙づり取り付けステーをフロントガラスと天井のすき間に差し込み、フロントガラスの黒縁部分に両面テープを押しあてながら、取り付ける。
本機の背面を車両進行方向に向けて、水平な路面と平行になるように取り付けてください。

- ・本機用両面テープは、宙づり取り付けステーやダッシュボード取り付けステーと兼用になっています。貼り直すと粘着力が低下しますので、取り付け方法を変更する場合は、同等の両面テープ(市販品)をご用意ください。
- ・ステーを折り曲げるときは、いったん本機から外して調整してください。そのまま折り曲げると、本機の故障の原因となります。
- ・黒縁部分からはみ出さないように貼り付けてください。黒縁がない車両の場合は、ダッシュボードなどに本機を取り付けてください。

⚠注意

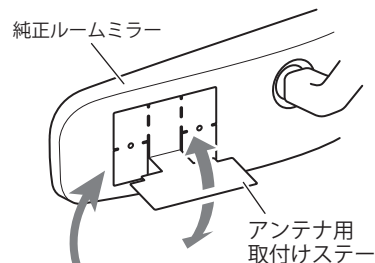
- ❗ 取り付けにより、車両・内装部品に跡が残ったり、変色や変形が生じる場合があります。ご使用の有無に関わらず、お車への補償はいたしかねますので、あらかじめご了承ください。
- ❗ 貼り付けた場所から外す場合は、無理にはがさず、慎重に行ってください。本機や車両の破損の原因となります。

取り付け(アンテナ取り付け)

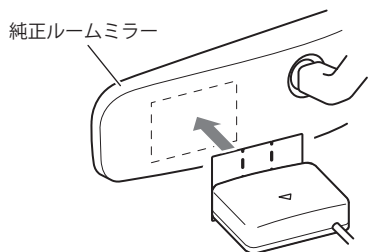
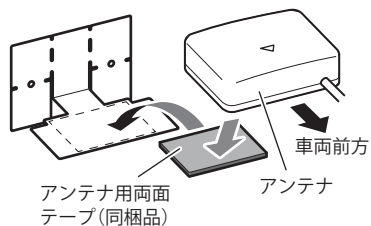
アンテナ部を車両に取り付けます。アンテナ用取付けステーを使用し純正ルームミラーに取付けるか、ダッシュボードに直接取付けたのち、本機と接続します。

- 他の機器のアンテナの近くや、金属物のかげにならない場所にアンテナを固定してください。
- 両面テープは貼り直すと粘着力が低下しますので、取り付け位置などを変更する場合は、同等の両面テープ(市販品)をご用意ください。
- 水がかかったり、温度差が激しい場所(エアコンの吹き出し口付近など)には、取り付けしないでください。
- 本機あるいはコードが、ドアの開閉部などにあたったりはさまれないようにしてください。
- 両面テープは、あらかじめ貼る場所のチリや汚れ、脂分をよく落としたあと、慎重に貼ってください。貼り直しはテープの粘着力を弱め、脱落するおそれがあります。

①-1 純正ルームミラーにアンテナを取り付ける



このとき、アンテナ用取付けステーの両面テープの保護シートははがさずに、仮であてがって行ってください。



1 あらかじめ純正ルームミラーの角度と張付場所を決めておき、アンテナができるだけ道路に対して水平になるようアンテナ用取付けステーを折り曲げて、角度の調整をする

※なるべく凹凸の少ない場所に取り付けてください。接着面が少ないと、脱落の恐れがあります。

※アンテナ用取付けステーを折り曲げるときは、アンテナを取り付けていない状態で折り曲げてください。アンテナを取り付けた状態で折り曲げると、アンテナの破損の原因となります。

※突起部分などでケガをなさぬよう、細心の注意をはらってゆっくりと折り曲げてください。

※折れてしまうことがあるので、アンテナ用取付けステーは繰り返し折り曲げないでください。

2 アンテナ用取付けステーに同梱品の両面テープを貼り付け、アンテナを取り付ける

3 アンテナ用取付けステーの両面テープの保護シートをはがし、アンテナ用取付けステーを純正ルームミラーに貼り付ける

①-2 ダッシュボードにアンテナを取り付ける

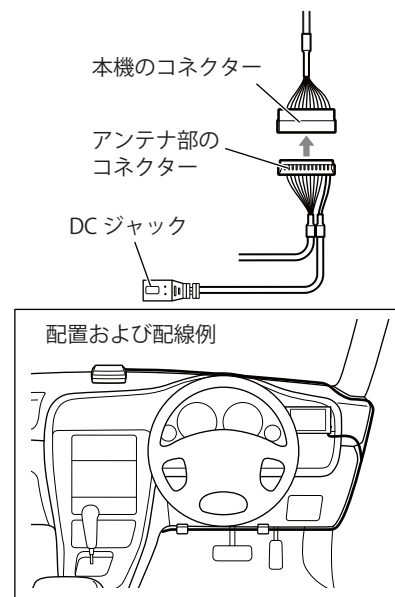


1 取り付け面にホコリ、汚れや脂分がないことを確認してください。アンテナが道路に対して水平に、また矢印(▲)が進行方向(前方)に向くように、アンテナ用両面テープで取付けます。

⚠注意

- ❗ 取り付けにより、車両・内装部品に跡が残ったり、変色や変形が生じることがあります。ご使用の有無に関わらず、お車への補償はいたしかねますので、あらかじめご了承ください。
- ❗ 貼り付けた場所から外す場合は、無理にはがさず、慎重に行ってください。本機や車両の破損の原因となります。
- ❗ 防水構造ではないため、ルーフなどの車外に設置しないでください。

②本機と接続する



1 アンテナ部と本機のコネクターを接続する

• コネクターには極性があります。コネクター同士の表裏を合わせないと接続できません。極性を間違った状態で無理に接続しようとすると、コネクターが破損することがありますのでご注意ください。

• 接続したコネクターを外す場合は、コネクターをつまんで外してください。ケーブルを持って外すと、ケーブルがコネクターから抜けて破損する場合があります。

2 DCジャックとDCプラグを接続する

3 ケーブルをきれいに配線する

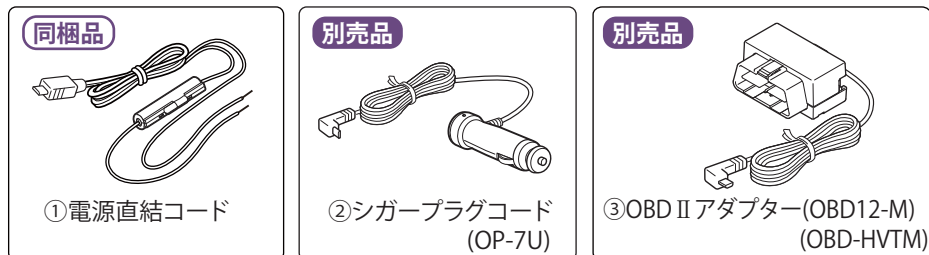
⚠注意

- ❗ アンテナ接続ケーブルのDCジャックはUSB端子ではありません。故障の原因となりますので、本機をパソコンなど他の機器のUSB端子と接続しないでください。
- ❗ 本機とアンテナ部のコネクターを接続する時は、DCジャックにDCプラグが接続されていない状態で接続してください。DCプラグが接続された状態でコネクターを接続すると、故障や破損の原因となります。

取り付け(電源コードの配線)

つづく

3種類の配線方法があります。同時に複数の配線を行うことはできません。



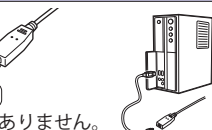
警告



本機のDCジャックはUSB端子ではありません。故障の原因となりますので、本機をパソコンなど他の機器のUSB端子と接続しないでください。

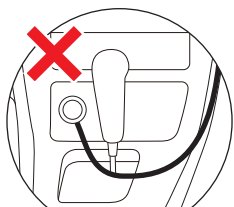


DCジャック
USB 端子ではありません。

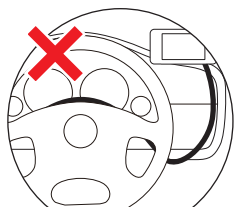


ご注意ください

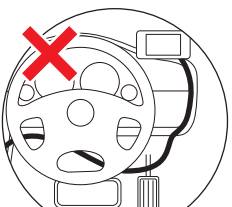
●特定の配線経路はありませんが、運転中の視界や操作の邪魔になったり、ドアやペダルなどの可動部に本機やコードが挟み込まれたり、当たったりしないようにしてください。



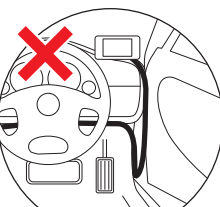
シフトレバー
操作の邪魔



ハンドル
操作の邪魔

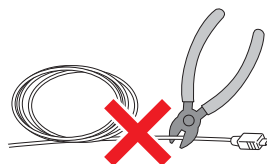


ペダル
操作の邪魔



コードの
挟み込み

●コードが長くても、切って短くしないでください。



市販品のコード固定クリップでコードをダッシュボードに固定したり、タイラップでコードを束ねることができます。

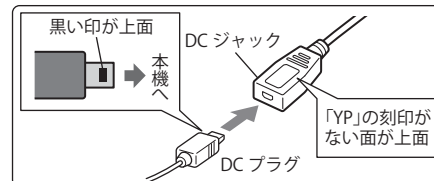
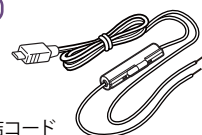


①電源直結コードによる配線

同梱品

同梱品

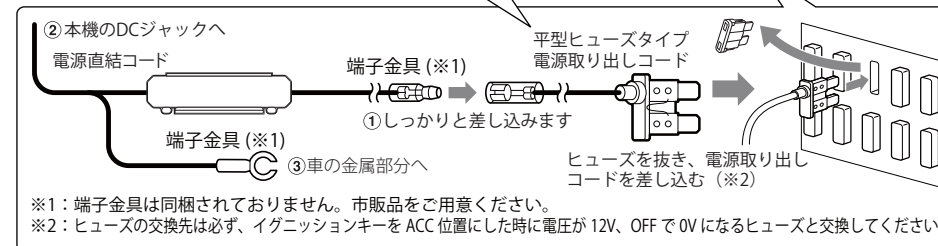
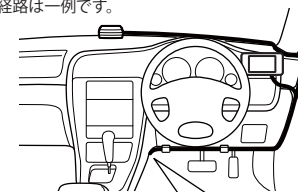
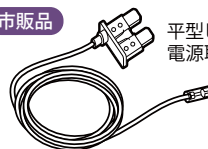
電源直結コード



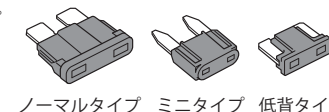
※図の配線経路は一例です。

市販品

平型ヒューズタイプ
電源取り出しコード



※ヒューズボックスから電源をとることができる「平型ヒューズタイプ電源取り出しコード(市販品)」を使用します。(ノーマルタイプ、ミニタイプ、低背タイプがありますので、あらかじめヒューズボックス内でサイズと容量をご確認の上、ご注意ください。)



警告



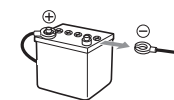
作業中のショート事故防止のため、配線前に必ず車のバッテリーのマイナス端子をはずしてください。



カーナビやラジオ、オーディオなどを搭載した車では、バッテリーの端子を外すと、メモリーの内容が消えてしまうことがあります。端子を外す前に、必ずメモリー内容を控えてください。



平型ヒューズタイプ電源取り出しコードの取扱説明書をよくお読みになり、接続手順や注意事項などを守ってください。

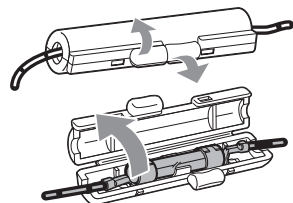


使用の準備

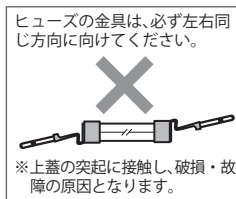
● 電源直結コードのヒューズ交換方法

交換時ヒューズや部品を落下させないようにしてください。

1 ヒューズホルダーを開け、ヒューズを取り出す



※ヒューズは白線付き黒コードと一緒に取り外します。

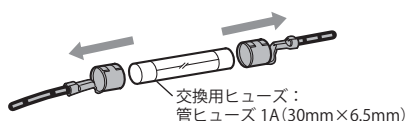


溝なし(上蓋)

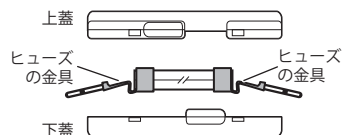
溝あり(下蓋)

4 ヒューズホルダーを閉じる

2 白線付き黒コードからヒューズを取り外し交換する



3 ヒューズをヒューズホルダーに入れる

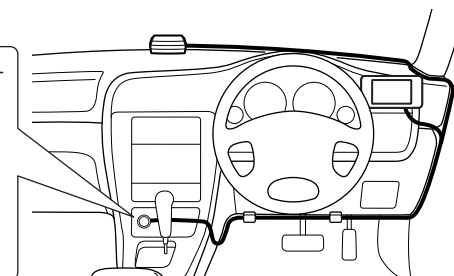
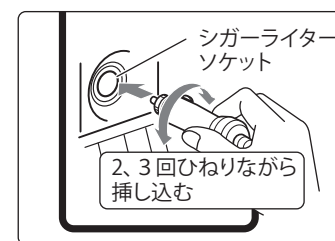
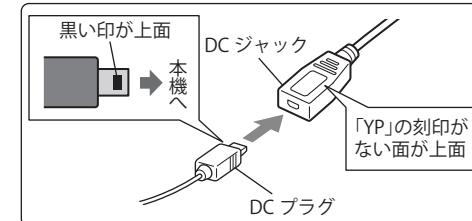
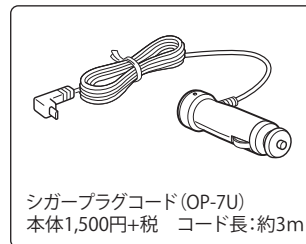


※下蓋の溝に合わせてはめ込みます。

※ヒューズの金具は、上蓋に接触しないように、上図の向きにしてください。

②シガープラグコード(OP-7U)による配線

別売品

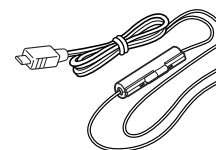


※図の配線経路は一例です。

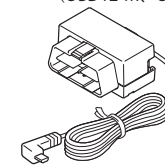
ご注意ください

●一部の車種において、シガーライターソケットの形状が合わないことがあります。その場合は、同梱品の電源直結コードか、別売品のOBD II アダプター(OBD12-M、OBD-HVTM)をご使用ください。

同梱品 電源直結コード

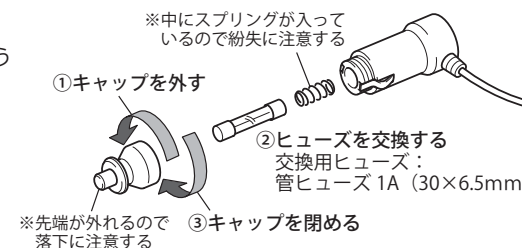


別売品 OBD II アダプター (OBD12-M、OBD-HVTM)



●ヒューズの交換方法

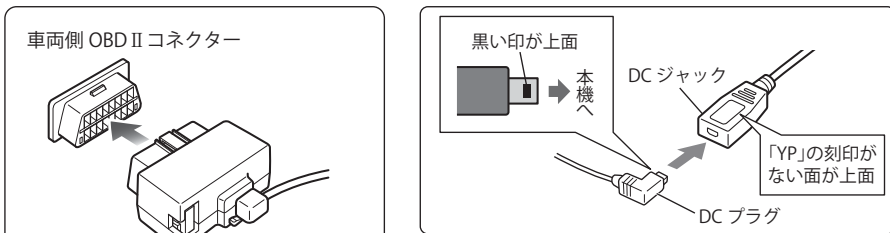
交換時ヒューズや部品を落下させないようにしてください。



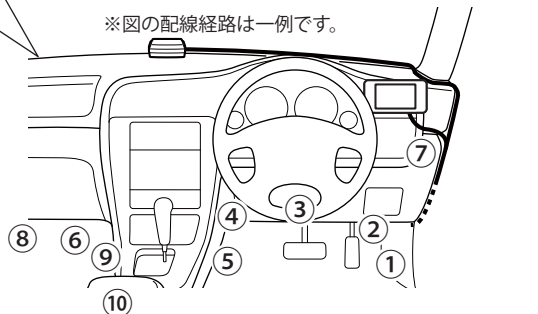
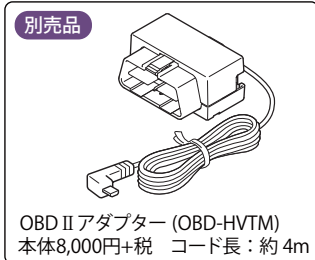
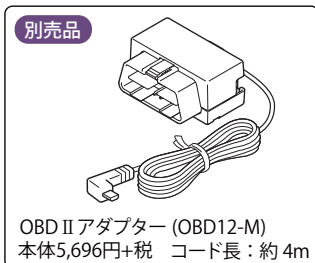
取り付け(電源コードの配線)

③ OBD II アダプター(OBD12-M、OBD-HVTM)による配線

別売品 ●OBD II アダプターによる配線時には、OBD II アダプターのディップスイッチの設定が必要です。ディップスイッチの設定方法は、OBD II アダプターの取扱説明書をご確認ください。対応車種については、店頭もしくは当社ホームページのOBD II アダプター適応表にてご確認ください。



※図の配線経路は一例です。



①～⑩：車両側 OBD II コネクター設置箇所

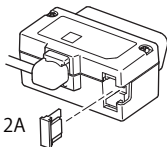
- | | |
|---------------|-----------------|
| ① アクセルペダル脇 | ⑥ 助手席足元右側 |
| ② 運転席足元右側 | ⑦ ステアリング右脇パネル裏側 |
| ③ 運転席足元中央 | ⑧ 助手席足元左側 |
| ④ 運転席足元左側 | ⑨ センターコンソール左側 |
| ⑤ センターコンソール右側 | ⑩ センターコンソール下 |

①～⑩の箇所です車両側OBD II コネクターを探してください。カバーやコンソールなどの内側になっている場合があります。

警告

❗ 故障の原因となりますので、必ずエンジンキーがOFFになっていることを確認してから、配線を行ってください。

● OBD II コネクターのヒューズ交換方法



交換用ヒューズ：低背ヒューズ 2A

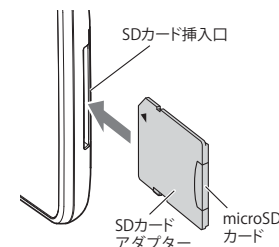
SDカードアダプタの装着/取り外し

注意

- SDカードアダプタの出し入れは、必ず電源がOFFの状態で行ってください。
- SDカードアダプタは一方にしか入りません。下図のように挿入してください。無理に押し込むと、本機やSDカードアダプタが壊れることがあります。
- microSDカードのみを取り出さないでください。

GPSデータ更新などでSDカードアダプタを取り出すときは、カードを押し込み、カードが少し飛び出してから引き出します。

SDカードアダプタを装着する際は、右図の向きに合わせ、『カチッ』と音がするまでSDカード挿入口に押し込んでください。



microSDカードの取り扱いについて

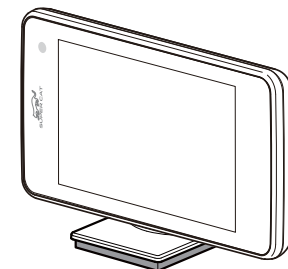
同梱品のmicroSDカードには本機を起動させるためのデータ、実写警報「REALPHOTO(リアルフォト)」(P.60)や警報画面(P.65)を表示させるためのデータ、音声データが保存されています。

重要

- 本機に同梱品のmicroSDカード、SDカードアダプタが装着されていないと、本機は起動しません。必ず同梱品を装着してお使いください。
- microSDカードをパソコン等でフォーマットしないでください。
- microSDカードは本機専用でお使いください。他の機器には使用しないでください。

誤ってデータを削除した場合は、有償での対応となります。お買い上げの販売店、または弊社相談窓口(0120-998-036)にご相談ください。

お疲れ様でした。
これで本機をお使いいただくための準備は終了です。



本書では取締り方法について、以下を想定して説明しています。

スピード違反の取締り方法

取締りの方法や種類をよくつかんで、上手にご使用ください。制限速度を守り、安全運転を心がけることが大切です。大きく分けて3つの方法があります。

1. レーダー波を使って算出する方法（レーダー方式）

取締りレーダー波を対象の車に向けて発射し、その反射波の周波数変化（ドップラー効果）で速度を算出します。

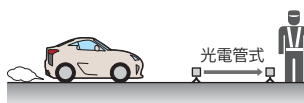
※対象の車が近くに来るまで、取締りレーダー波を発射しないステルス型の場合、事前に探知できません。



2. 距離と時間で算出する方法（光電管・ループコイル式オービス）

一定区間を通過するのにかかる時間から速度を算出します。測定区間の始めと終わりに設置するセンサーには、赤外線や磁気スイッチなどが使われています。

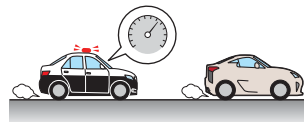
※この方式は取締りレーダー波を発射しておりません。GPSターゲットとして登録されている場合のみ、警報することができます。



3. 追走して測定する方法（追尾方式）

指針を固定できるスピードメーターを搭載している白バイやパトカーで、対象の車を追走して速度を測ります。

※追尾方式等で取締りレーダー波を発射しない機械式の計測方法の場合は、探知することができません。



取締りレーダー波について

取締りの方法や種類をよくつかんで、上手にご使用ください。制限速度を守り、安全運転を心がけることが大切です。大きく分けて3つの方法があります。

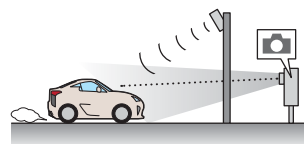
定置式

人が測定装置を道路際に設置して行います。取締りレーダー波は、直進性が強いので、発射角度が浅いほど、探知しやすくなります。



自動速度取締り機（新Hシステム、レーダー式オービス）

速度の測定と証拠写真の撮影を自動的に行います。



移動式

測定装置を車両に搭載して、移動しながら測定を行います。



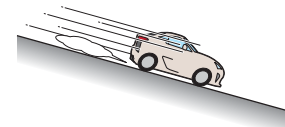
取締りレーダー波を受信しにくい場合

取締りレーダー波の発射方法や周囲の環境、条件などにより、取締りレーダー波を受信しにくいことがあります。

- 対象の車が近くに来るまで、取締りレーダー波を発射しない狙い撃ち的な取締りができるステルス型のスピード測定装置があります。
- 前に走行している車（とくに大型車）がある場合や、コーナー、坂道では、電波が遮断され、探知距離が短くなることがあります。スピードの出やすい下り坂では、とくにご注意ください。



〔前に走行中の車がある場合〕



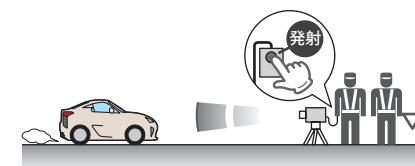
〔下り坂〕



〔コーナー〕

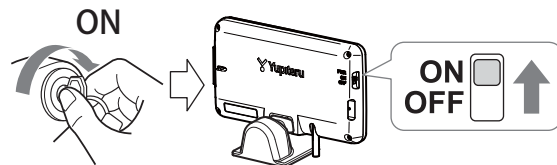
ステルス型取締りについて

他の取締り機と同じ電波を使用していますが、事前に探知（受信）されないようにするため、待機中は電波を発射せず、必要なときに短時間強い電波を発射して速度の測定ができる狙い撃ち方式の取締り機です。



- ・ステルス型取締り機は、計測する瞬間だけ電波を発射するため、受信できなかったり、警報が間に合わない場合があります。また、取締りには電波を使用しない光電管式などもありますので、先頭を走行する際はくれぐれもご注意ください。
- ・通常の電波を受信した場合でも、周囲の状況などにより、ステルス波を識別警報することがあります。
- ・ステルス型取締り機の電波を受信するとボイスでステルス波を識別警報します。

電源をONにする



1 エンジンキーをONにし、本機の電源スイッチを『ON』にしてください。

※起動時の音(起動音)、画面(起動画面)は変更できます。
(☛P.99)

2 本機がGPS衛星を探します。GPS非測位時は時計が赤くなります。

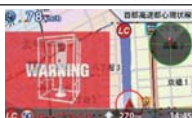
3 必ず『測位しました。』のボイスを確認してから出発してください。本機の位置によっては、待受画面が表示されず、いきなり警報画面が表示される場合があります。

※測位時の音(GPS初期測位)は変更できます。(☛P.99)

待受画面表示(例)



GPS ターゲット警報(例)



レーダー式オービス警報(例)



OBID II アダプター OBID II アダプター (OBID12-M、OBID-HVTM) で配線を行った場合

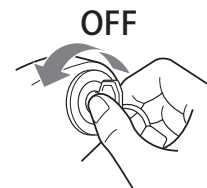
初めてOBID II アダプターを車両に取り付ける場合は、本機の起動に数分かかることがあります。

測位に時間がかかることがあります

次のような場合、本機の電源を入れてから『測位しました。』と音声が出るまでに、時間がかかる、もしくは測位できない場合があります。その場合は、障害物や遮蔽物のない視界のよい場所へ移動し、車を停車してください。



電源をOFFにする

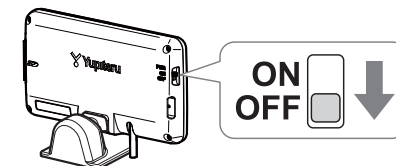


車のエンジンキーをOFFにすると、本機の電源も連動してOFFになります。

エンジンキーをOFFにしても本機の電源がOFFにならない場合

車種によってエンジンキーをOFFにしても、本機の電源がOFFにならない場合があります。その場合は、本機の電源スイッチを操作して電源をOFFにしてください。

※バッテリー上がりの原因となります。



OBID II アダプター OBID II アダプター (OBID12-M、OBID-HVTM) で配線を行った場合

エンジンキーをOFFにしたあと、本機の電源がOFFになるまで車種によって数秒から数十秒かかります。また、OBID II アダプターで接続した場合は、本機の電源スイッチで電源をOFFにしないでください。

警告

⚠ 本機の電源をOFFにするためにコードを抜くと、故障の原因となったり、SDカード内のデータが消失する場合があります。本機の電源をOFFにするときは、必ずエンジンキーをOFFにするか、本機の電源スイッチをOFF (OBID II アダプター接続時は除く) にして電源をOFFにしてください。

音量の調節



待受画面をタッチ



[VOL▲]

[VOL▲] VOL 7 (最大)



[VOL▼]

[VOL▼] VOL 0 (消音)



[VOL▼] マナーモード

[VOL▲] マナーモード解除

[VOL▲]、[VOL▼]をタッチで音量を調整できます。『ピッ』という確認音で音量を確認してください。

VOL7(最大)からさらに[VOL▲]をタッチすると、『ブブ』と鳴ります。

マナーモード

マナーモードに入ると、約2秒後に画面表示が消え、音声および画面によるすべての警報が行われなくなります。

VOL0(消音)からさらに[VOL▼]をタッチすると、マナーモードになります。元に戻すには、[VOL▲]をタッチしてください。

すべての機能を使う

オールオンモードの設定

本機のすべての機能を使用できます。
※初期設定は、ノーマルモードになっています。



待受け画面をタッチ



[設定 TOP] をタッチ



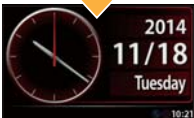
[モード] をタッチ



[オールオン] をタッチ



[EXIT] をタッチ



※待受画面に戻ります

このオールオンモードでお使いいただき、必要に応じて表示や警報内容をカスタマイズすることができます。(P.82)

設定終了～出発

本機のすべての機能(オールオンモード)を使う設定が完了しました。なお、ここまでの設定は、1度行えば、次回の電源ON以降は必要ありません。

現在の設定概要は次のようになっています。

モード設定：オールオン	警報できるすべての取締りレーダーおよびGPSターゲットに対して警報画面が表示され、それにとまなう音声流れます。
待受画面：マップ	マップ画面が表示されます。
マップモード：1マップ パネル小	画面全体にマップ画面が表示され、警報時には小さな警報パネルによって警報されます。
受信感度モード：AAC / ASS	時速30km未満では、取締りレーダーに対する警報を行いません。また、時速30km以上では、速度が上がるにしたがって段階的に受信感度が上がっていきます。
レーダー警報音：メロディ1	警報の発生時、オリジナルのメロディが流れます。
無線警報：ボイス警報	各種無線の電波を受信すると、その無線の種類を音声でお知らせします。
Iキャンセル：ON	誤警報を行うと、同じ地点の2回目以降の警報を自動でキャンセルします。
道路選択：オート 気圧あり	車両が一般道または高速道路どちらを走っているかを判別し、判別された道路のGPSターゲットに対してのみ警報が行われます。 ※一般道と高速道が並行/交差している場所およびその周辺では、両方の警報を行うことがあります。また、渋滞等で高速道を低速走行すると、一般道と判別することがあります。
リラックスチャイム：2時間	本機の連続電源ONで、2時間おきに『長時間運転しています。休憩しませんか?』と音声流れます。
時報：ON	毎時、正時に『午前(午後)〇〇時です。』と音声流れます。
明るさ：ふつう	画面の明るさ。「最小」～「明るい」間の「ふつう」になっています。

カスタム音声(P.91)のジングルとは

本機が警報やお知らせをする際に、お知らせする項目の前に鳴る注意喚起音のことです。
例)



待受画面

警報やお知らせがない時に、運転に役立ついろいろな情報を表示するのが待受画面です。待受画面は、23種類および「AUTO」と「OFF」が用意されています。別売品のOBD IIアダプター(●P.14)で接続した場合に、より多くの情報が表示できるようになります。



警報画面(例 マップ)
ジャンプウィンドウ



時計



速度



エコドライブ
ジャンプウィンドウ



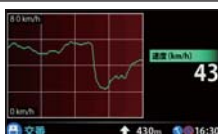
加速度



傾斜



潮汐情報
ジャンプウィンドウ



グラフ
ジャンプウィンドウ



プリセット A
ジャンプウィンドウ



プリセット B
ジャンプウィンドウ



プリセット C
ジャンプウィンドウ



プリセット D
ジャンプウィンドウ



プリセット E
ジャンプウィンドウ



プリセット F
ジャンプウィンドウ



フォトフレーム
ジャンプウィンドウ



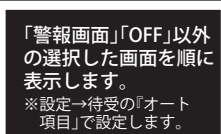
衛星情報



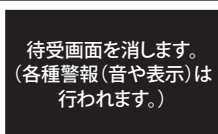
★ハイブリッド 1



★ハイブリッド 2



AUTO



OFF

★：別売品のOBD IIアダプター(OBD-HVTM)装着時のみ表示されます。

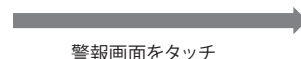
- 初期設定は、「警報画面(マップ)」に設定されています。
- 日付および時刻は、GPS測位機能により自動的に設定され、日付や時刻合わせの操作は不要です。
- GPS非測位時は右下の時計色が赤色になります。(測位状況により日付や時刻が合わないことがあります。)
- 時刻の表示は、24時間表示です。
- 走行速度はGPSの情報に基づき表示しています。別売品のOBD IIアダプターで接続した場合は、OBD II車速情報に基づき表示しています。また、車両の速度計は、数値が高く表示される(プラス誤差)傾向があります。
※OBD II接続の場合でも車両の速度計とは一致しません。
※補正機能はありません。

待受画面の変更方法

例として「警報画面」から「加速度」画面に変更します。待受画面をタッチしジャンプウィンドウを表示させ、[VIEW]をタッチし、「待受一覧画面」から選択します。
※初期値は[警報/500m近接切替]です。警報時には警報画面に切り替わります。



「警報画面」



警報画面をタッチ



「ジャンプウィンドウ」



「待受一覧画面」

[VIEW] をタッチ



「加速度」をタッチ



「加速度画面」

待受一覧画面内表示位置



警報画面	時計	速度	エコドライブ
加速度	傾斜	潮汐情報	グラフ
プリセット A	プリセット B	プリセット C	プリセット D
プリセット E	プリセット F	フォトフレーム	衛星情報
ハイブリッド 1	ハイブリッド 2	AUTO	OFF

警報画面の表示は、選択している警報画面の種類によってサムネイルが変わります。プリセット A～Fの表示は、選択している配置の種類によってサムネイルが変わりますが、配置内の項目は変わりません。配置イメージになります。

各待受画面の説明

■メッセージウィンドウについて

画面下に各種警報を表示し、必要な情報を確認できます。
警報が無い時は時刻のみ表示し、警報時、お知らせ時に情報表示されます。
※「フォトフレーム」、「OFF」では常時表示しません。

●GPSターゲット警報時 ターゲットのアイコン ターゲットの制限速度 ターゲット名 ターゲットまでの距離 自車から見たターゲットの方向	●カーロケ受信時 警報アイコン 警報の種類
●レーダー波受信時 レーダー警報アイコン 警報の種類 警報レベル	●無線受信時 警報アイコン 警報の種類 その他無線警報例

□画面表示例

速度表示時	加速度表示時	プリセット A/B/C/D/E/F 表示時	衛星情報表示時

■駐禁・車上狙いアイコンについて

時計表示時

車上狙い多発エリアアイコン
駐禁エリアアイコン

メッセージウィンドウ内に駐禁エリアアイコン、車上狙い多発エリアアイコンが表示されます。
駐禁エリア、車上狙い多発エリアでは濃く表示・点滅し、エリア外では薄く表示または消去されます。
※モードやマニュアルモードの設定により、駐禁エリアや車上狙い多発エリアOFFの場合は、表示されません。

■ジャンプウィンドウについて

ジャンプウィンドウ



警報表示(マップ)時

待受画面の種類によって、画面の設定変更などがしやすいように、ジャンプウィンドウが設定されています。画面タッチで表示中の待受画面の設定を簡単に呼び出せます。
ジャンプウィンドウは操作をしないと、約30秒で消えます。
ジャンプウィンドウが設定されていない画面の場合は、設定TOP画面を表示します。

警報表示

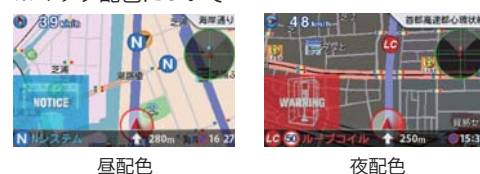
ジャンプウィンドウ

<マップ>



- 全国版の地図上を自車アイコンが移動します。警報時には設定によって、他画面時でもマップ画面に自動的に切り替わります。(●P.74)

※マップ配色について



- 地図表示には、昼配色と夜配色があり、衛星情報により夜と判断された場合や、照度センサーにより、暗いと判断された場合に夜配色に切り替わります。設定により、どちらかの配色に固定することも可能です。(●P.74)

<クラシック>



- 警告するターゲットとの位置関係を、シンプルに表示します。ターゲットとの距離や種類により、画面色が変わります。スコープサブ表示の項目は、配置2のメーターを1つ選択できます。

<シンプル>



- 警告する対象がない場合は、自車速度のみを表示します。警告時には、警告パネル、miniレーダー、ターゲットとの距離カウントダウンでシンプルに警告します。

■道路名および地名表示について



- 現在走行している道路名を表示します。(高速道路、有料道路、国道、県道など)道路名がない場合は、現在地の地名を表示します。

時計



時刻とカレンダーを表示します。

- 時刻合わせは自動でおこなわれますので、時刻合わせは必要ありません。
※GPSの受信状況により合わない場合があります。

速度



ヨーレート
車両の旋回方向の角速度。
コンパス
車両の方位を表します。

- 大メーターで速度を表示します。赤い針は最高速度を示します。大メーター下に平均速度・最高速度を交互に表示します。
メーターの項目は変更できません。

速度
車両の速度をアナログ針と数値で表示します。

エコドライブ

ジャンプウィンドウ



加速・減速バー
総合ポイント
急加速・急減速
経済速度・アイドリング
走行速度・平均速度

GPSの電波を受信して得られる速度データをもとに、「急加速のポイント」、「急減速のポイント」、「アイドリングのポイント」、「経済速度のポイント」の4項目から運転を総合評価します。また、現在の走行速度と、今回の平均速度も表示します。

急加速	急加速と判断するとポイント(pt)を減点します。(初期値: 70pt)
急減速	急ブレーキなどによる急減速と判断するとポイント(pt)を減点します。(初期値: 70pt)
アイドリング	エンジン始動後、停車している時間が長いとポイント(pt)を減点します。(初期値: 70pt)
経済速度	時速60km前後での走行と判断するとポイント(pt)が加点され、高速、低速での走行と判断するとポイント(pt)を減点します。(初期値: 70pt) ※実際の交通規制に従って走行してください。
総合ポイント	「急加速」「急減速」「アイドリング」「経済速度」の各ポイント(pt)の平均を算出します。

- GPS測位できない場合は、各項目の採点はありません。
- OBD IIアダプター** GPS電波を受信できない場合でも、各項目の採点を行います。
- 速度データをもとに評価するものです。目安としてお考えください。
- エコドライブのデータ消去を行うと、各ポイントを初期値の70ptにリセットできます。(P.98)
※いったんリセットすると、元には戻せませんので、ご注意ください。
※各ポイントを個別にリセットすることはできません。

加速度



前後の加速度
左右の加速度

- 加速度の方向と強さをボールの位置で表します。
Fr: 前、Rr: 後、R: 右、L: 左
下の車は、加速に応じて動きます。
※加速度の情報は、しばらく使用すると自動的に補正されます。

傾斜



コンパス
傾斜(ロール)
速度
ヨーレート
傾斜(ピッチ)

- 大メーターの内側でピッチとロールの状態を表示し、外側のリングでコンパスを表します。
※傾斜の情報は、しばらく使用すると自動的に補正されます。

潮汐情報

ジャンプウィンドウ



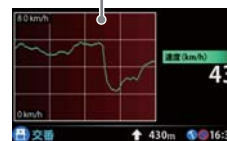
地点・月齢・潮名
表の地点名および月の満ち欠け。
潮位グラフ
棒グラフの高さで潮位を表し、黄色と青色の切り替わる時が日の出、日の入を示します。
上部に日の出(黄文字)、日の入(青文字)時刻を表示します。
赤ラインが現在時刻です。
満潮・干潮
満潮・干潮の潮位と時刻を交互に表示します。

<潮汐情報について>
待受機能に表示される潮汐情報は、レジャー向けに考えられたもので、航海用途には適しません。
<潮汐推算に関わるデータ提供元>
・日本海洋データセンター ・気象庁

グラフ

ジャンプウィンドウ

グラフ表示エリア(例: 速度表示)
数値の変化をグラフ上にリアルタイムに表示します。

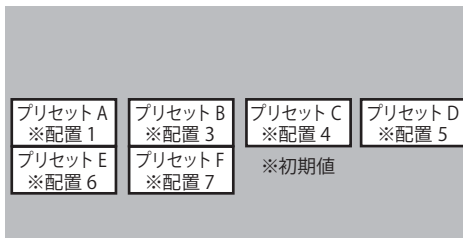


速度
車両の速度

- グラフの種類は、「速度」、「高度」、「気圧」、「加速度」、「ジャイロ」および「マニュアル」から選択します。画面をタッチし、種類を選択します。
OBD II アダプターで接続すると最大13種類(マニュアルでは最大21種類)から選択できます。
グラフの上下に単位を表示し、複数表示するグラフの場合はラベル色(グラフ色)の単位が表示されます。

プリセットA/B/C/D/E/F ジャンプウィンドウ

プリセットは、それぞれ配置、項目、背景を自由に選択でき、好みの画面を作ることができます。
6種類(A/B/C/D/E/F)プリセットし、画面選択で呼び出すことができます。



■配置選択

配置は7種類から選択します。

- 配置1
 - ・大メーター：1
 - ・小メーター：2
- 配置2
 - ・中メーター：3
- 配置3
 - ・小メーター：6
- 配置4
 - ・小メーター：3
 - ・1/8表示：4
- 配置5
 - ・小メーター：4
 - ・1/8表示：4
- 配置6
 - ・1/8表示：8
- 配置7
 - ・1/14表示：14



※初期値
大メーター：速度
小メーター：コンパス、時計



※初期値
中メーター：時計、速度、エコドライブ



※初期値
小メーター：時計、速度 0-180km/h、コンパス、前後加速度、左右加速度、ヨーレート



※初期値
小メーター：気圧、速度 0-180km/h、エコドライブ
1/8表示：前後加速度、左右加速度、平均速度、最高速度



※初期値
小メーター：時計、コンパス、速度 0-180km/h、気圧
1/8表示：前後加速度、左右加速度、平均速度、最高速度



※初期値
1/8表示：速度、平均速度、最高速度、前後加速度、左右加速度、ピッチレート、ロールレート、ヨーレート



※初期値
1/14表示：OBD II アダプターを必要としない項目をすべて表示

●配置選択方法



設定画面
(ジャンプウィンドウ)



配置選択画面

選択されている配置が青色になります。
[配置] をタッチすると変更されます。

■項目選択

項目選択をタッチすると、それぞれの配置で表示している項目が表示されます。変更したい位置の項目を選択すると、カテゴリ選択になり、現在表示しているカテゴリが青色になっています。
表示したいカテゴリを選択すると、項目が表示されるので、表示する項目を選択します。
選択できない(表示できない)項目は文字がグレーになり選択できません。

●配置1



●配置2



●配置3



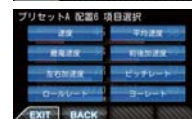
●配置4



●配置5



●配置6



●配置7



※配置7では、表示したい項目を選択可能な項目から選択します。選択項目は緑色が点灯)すべて選択、すべて解除も可能です。
15項目以上選択時は、スクロールして表示します。
それぞれの項目の表示位置は選択できません。

●項目選択方法 (例 配置1)



設定画面
(ジャンプウィンドウ)



変更したい位置のメーター
を選択
(例 大メーター)



現在表示しているカテゴリ
が青色になっています。
変更表示したいカテゴリを
選択。
(例 時計・カレンダー)



表示したい項目を選択。
(例 時計)



大メーターの項目が変更
されました。
[EXIT] タッチで待受画面に
戻ります。

大メーター



大メーター

付加情報

●配置 1 の左側に表示される大メーターは以下の種類が設定可能です。
現在設定されているカテゴリ、種類の項目が青く選択されています。
OBD II アダプターで接続していない場合、および対応していない項目は、選択できません。
カテゴリ内の項目がすべて非対応の場合は、カテゴリが選択できません。

カテゴリ	No.	メーターの種類	メーターの内容
時計 カレンダー	1	時計	時刻を表示します。
	2	カレンダー	年月日、曜日を表示します。
速度 加速度	3	速度 0-180km/h	180km/h がメーター最大値で速度を表示します。 白針：速度、 赤針：最高速度 付加情報：①平均速度、②最高速度
	4	速度 0-240km/h	240km/h がメーター最大値で速度を表示します。 白針：速度、 赤針：最高速度 付加情報：①平均速度、②最高速度
	5	加速度	加速度待受の左側と同様。
傾斜・方位	6	傾斜・方位	傾斜待受の左側と同様。
圧力	7	気圧	気圧を表示します。 付加情報：①最低気圧、②最高気圧
	8	インマニ圧 ※1 (OBD II アダプター要)	インマニ圧を表示します。(相対圧) 白針：インマニ圧、 赤針：最大インマニ圧 付加情報：最大インマニ圧
	9	ブースト圧 ※1 (OBD II アダプター要)	ブースト圧を表示します。(相対圧) 白針：ブースト圧、 赤針：最大ブースト圧 付加情報：最大ブースト圧
燃費 燃料	10	燃費 ※2 (OBD II アダプター要)	燃費を表示します。 白針：瞬間燃費、 赤針：平均燃費 付加情報：①平均燃費、②今回燃費、③生涯燃費
	11	燃料 (OBD II アダプター要)	燃料流量を表示します。 白針：燃料流量、 赤針：最大燃料流量 付加情報：①平均燃料流量、②最大燃料流量
温度	12	エンジン水温 (OBD II アダプター要)	エンジン冷却水の温度を表示します。 白針：エンジン水温、 赤針：最高エンジン水温 付加情報：最高エンジン水温
	13	吸気温 (OBD II アダプター要)	吸気温度を表示します。 白針：吸気温、 赤針：最高吸気温 付加情報：①最高吸気温

大メーター

カテゴリ	No.	メーターの種類	メーターの内容
温度	14	外気温 (OBD II アダプター要)	外気温度を表示します。 白針：外気温、 赤針：最高外気温 付加情報：①最高外気温 ※車両によっては、センサーの位置により、車外の気温と異なる場合があります。
	15	スロットル開度 ※3 (OBD II アダプター要)	スロットル開度を表示します。 白針：スロットル開度、 赤針：最大スロットル開度 付加情報：①平均スロットル開度、②最大スロットル開度
エンジン	16	エンジン負荷 ※3 (OBD II アダプター要)	エンジン負荷を表示します。 白針：エンジン負荷、 赤針：最大エンジン負荷 付加情報：①平均エンジン負荷、②最大エンジン負荷
	17	回転数 0-4000rpm (OBD II アダプター要)	4000rpm がメーター最大値でエンジン回転数を表示します。 白針：回転数、 赤針：最高回転数 付加情報：①平均回転数、②最高回転数
	18	回転数 0-6000rpm (OBD II アダプター要)	6000rpm がメーター最大値でエンジン回転数を表示します。 白針：回転数、 赤針：最高回転数 付加情報：①平均回転数、②最高回転数
	19	回転数 0-8000rpm (OBD II アダプター要)	8000rpm がメーター最大値でエンジン回転数を表示します。 白針：回転数、 赤針：最高回転数 付加情報：①平均回転数、②最高回転数
その他	20	マップ	現在地の地図を表示します。小メーターが右側に並びます。 ヘディングアップ、ノースアップの切替と地図色、マップデザインは、「マップ」の「マップ詳細設定」に従います。 フォーカス移動、ズーム、2 マップ表示などはできません。 警告パネル、ミニレーダースコープ、道路名、地名は表示しません。
	21	レーダースコープ	レーダースコープを表示します。小メーターが右側に並びます。 スコープ色は変化しません。道路名、地名は表示しません。
	22	衛星情報	衛星情報待受の左側と同様。
	23	OFF	大メーターを表示しません。
	24	HV ※4 (OBD II アダプター要)	エンジン・モーター等の出力を表示します。 白針：HV システムパワー、赤針：モーターパワー (HV Fr モーターパワーと HV Rr モーターパワーを合わせた数値) 黄針：HV エンジンパワー 付加情報：HV 全電池量

※1：この数値は 1 気圧に対する相対値です。過給機を持たない車両では、圧力は 0 を超えません。
※2：消費燃料および移動距離から燃費を算出しているため、車両の燃費計と一致しない場合があります。数値の補正はできません。
※3：アイドリング中でも 0%にならない場合があります。
※4：別売品の OBD II アダプター (OBD-HVTM) 装着時のみ選択できます。

中メーター



●配置 2 で表示される中メーターは以下の種類が設定可能です。
現在設定されているカテゴリ、種類の項目が青く選択されています。
OBD II アダプターで接続していない場合、および対応していない項目は、選択できません。カテゴリ内の項目がすべて非対応の場合は、カテゴリが選択できません。
バックライトの「ON / AUTO / OFF」、バックライト色、半透過モード「ON / OFF」、付加情報表示「ON / OFF」が選択できます。
付加情報は停車時、しばらくすると表示されます。

カテゴリ	No.	メーターの種類	メーターの内容
時計	1	時計	時刻を表示します。 付加情報：日付、曜日
速度 加速度	2	速度	速度を表示します。 付加情報：①平均速度 [AVESPD]、②最高速度 [MAXSPD]
	3	加速度	前後加速度、左右加速度を表示します。 付加情報：①最大前進加速度 [MAXFWD]、 ②最大左右加速度 [MAXLR]
エコ ドライブ	4	エコドライブ	エコドライブモニターを表示します。ポイントの増減により、数秒間グラフの色が変化し、数字が点滅します。 acc：急加速、dec：急減速、idle：アイドリング、esp：経済速度
傾斜・ 方位	5	傾斜	前後左右 30° の車両の傾斜を、玉の動きで表示します。 車両の回頭運動を検出しているとき、玉の中に車が出現します。
	6	コンパス	車両の進行方向を、画面上方向として表示します。
圧力	7	気圧	現在の気圧を表示します。
	8	インマニ圧 ※1 (OBD II アダプター要)	インマニ圧を表示します。(相対圧) 圧力の状態によって、インジケータが変化します。 付加情報：最大インマニ圧 [MAXINM]
	9	ブースト圧 ※1 (OBD II アダプター要)	ブースト圧を表示します。(相対圧) 圧力の状態によって、インジケータが変化します。 付加情報：最大ブースト圧 [MAXBST]
リマイン ダー	10	リマインダー残日数	リマインダー通知までの残り日数が表示されます。リマインダーの登録が必要です。 項目：オイル、オイルエレメント、タイヤ、バッテリー
	11	リマインダー残距離 (OBD II アダプター要)	リマインダー通知までの残り距離が表示されます。リマインダーの登録が必要です。 項目：オイル、オイルエレメント、タイヤ、バッテリー
燃費・ 燃料	12	瞬間燃費 ※2 (OBD II アダプター要)	瞬間の燃費を表示します。 燃費の状態によって、インジケータが変化します。
	13	今回燃費 ※2 (OBD II アダプター要)	今回走行での平均燃費を表示します。 付加情報：最大今回燃費 [MAXAVE] ※1km 走行後より ※電源 ON ごとにリセットされます。

※1：この数値は 1 気圧に対しての相対値です。過給機を持たない車両では、圧力は 0 を超えません。
※2：消費燃料および移動距離から燃費を算出しているため、車両の燃費計と一致しない場合があります。数値の補正はできません。
※3：アイドリング中でも 0%にならない場合があります。

中メーター

カテゴリ	No.	メーターの種類	メーターの内容
燃費・ 燃料	14	平均燃費 ※2 (OBD II アダプター要)	OBD II アダプターで接続後の平均燃費を表示します。 ※「OBD 設定」→「平均クリア」でリセットされます。
	15	一般道平均燃費 ※2 (OBD II アダプター要)	OBD II アダプターで接続後の一般道での平均燃費を表示します。 ※「OBD 設定」→「平均クリア」でリセットされます。
	16	高速道平均燃費 ※2 (OBD II アダプター要)	OBD II アダプターで接続後の高速道での平均燃費を表示します。 ※「OBD 設定」→「平均クリア」でリセットされます。
	17	生涯燃費 ※2 (OBD II アダプター要)	OBD II アダプターで接続後の平均燃費を表示します。 ※「OBD 設定」→「オールクリア」でリセットされます。 「平均クリア」ではリセットされません。
	18	移動平均燃費 ※2 (OBD II アダプター要)	直近 16km 区間での燃費を数値で、消費燃料をグラフで表示します。グラフは過去 16km 区間での消費燃料を表示し、2km ごとに更新されます。 付加情報：①最大移動平均燃費 [MAXMOV] ※「OBD 設定」→「平均クリア」でリセットされます。
温度	19	燃料流量 (OBD II アダプター要)	燃料の流量を表示します。 グラフは消費燃料の量を表し、データ受信ごとに更新されます。 燃料流量 0 が継続すると「Fuel Cut」の文字が流れます。
	20	エンジン水温 (OBD II アダプター要)	エンジン冷却水の温度を表示します。 付加情報：最高エンジン水温 [MAXENG]
	21	吸気温 (OBD II アダプター要)	吸気温度を表示します。 付加情報：最高吸気温度 [MAXITK]
	22	外気温 (OBD II アダプター要)	車両の外気温度を表示します。 付加情報：最高外気温 [MAXAMB] ※車両によっては、センサーの位置により、車外の気温と異なる場合があります。
	23	スロットル開度 ※3 (OBD II アダプター要)	エンジンのスロットル開度を表示します。 付加情報：①平均スロットル開度 [AVETHR]、 ②最大スロットル開度 [MAXTHR]
エンジン	24	エンジン負荷 ※3 (OBD II アダプター要)	エンジンの負荷を 0% ～ 100% で表示します。 付加情報：①平均エンジン負荷 [AVELOD]、 ②最大エンジン負荷 [MAXLOD]
	25	回転数 (OBD II アダプター要)	エンジンの回転数をアナログと数値で表示します。 付加情報：①平均回転数 [AVERPM]、②最大回転数 [MAXRPM]
その他	26	OFF	指定した場所の中メーターを表示しません。
	27	潮汐情報	検潮地点名、月齢、潮名を表示します。周期的に、満潮・干潮時刻と潮位を表示します。
	28	衛星情報	衛星の受信状態を表示します。受信レベルにより、色が 6 色に変わります。進行方向が上方向です。
	29	警報パネル	警報発生時に警報の種類をお知らせします。登録されている場合は、実写警報に切り替わります。ターゲットの方向を周囲のリングで示します。

中メーター

カテゴリ	No.	メーターの種類	メーターの内容
HV1 ※4	30	HV システムパワー	エンジン・モーターを含めた出力を表示します。
	31	HV Fr モーターパワー	フロントモーターの出力を表示します。
	32	HV Rr モーターパワー	リヤモーターの出力を表示します。
	33	HV Rr トルク配分	リヤモーターへのトルク配分を表示します。
	34	HV バッテリー電流	HV バッテリーの充放電の電流値を表示します。
	35	HV バッテリー電圧	HV バッテリーの電圧値を表示します。
	36	HV 補機バッテリー電圧	HV 補機バッテリーの電圧値を表示します。
HV2 ※4	37	HV 全電池容量	バッテリーの充電率を表示します。
	38	HV エンジンパワー	エンジンの出力を表示します。
	39	HV 昇圧後電圧	HV バッテリーの昇圧された電圧値を表示します。
	40	HV アクセル開度	アクセルの踏みこみ量を表示します。 ※アクセルペダルを踏んでいなくても、0%にならない場合があります。
	41	HV エアコン消費電力	現在のエアコン消費電力を表示します。
	42	HV ジェネレーター発電量	充電用発電機の発電量を表示します。
	43	HV 滑空	モーター / エンジンで駆動しているときは「+」、電力を回生しているときは「-」を表示します。

※4：別売品の OBD II アダプター (OBD-HVTM) 装着時のみ選択できます。

小メーター



小メーター

●例として配置 1 の右側に表示される小メーターは以下の種類が設定可能です。
現在設定されているカテゴリ、種類の項目が青く選択されています。
対応していない項目は、選択できません。
カテゴリ内の項目がすべて非対応の場合は、カテゴリが選択できません。

■小メーター表示可能画面



配置 1



配置 3



配置 4



配置 5

カテゴリ	No.	メーターの種類	メーターの内容
速度	1	速度 0-180km/h	180km/h がメーター最大値で速度を表示します。
	2	速度 0-240km/h	240km/h がメーター最大値で速度を表示します。
エコドライブ	3	エコドライブ	エコドライブポイントを表示します。
加速度	4	前後加速度	前後方向の加速度を表示します。
	5	左右加速度	左右方向の加速度を表示します。
傾斜・方位	6	ピッチ	前後方向の回転を表示します。
	7	ロール	左右方向の回転を表示します。
	8	コンパス(ヨー)	進行方向を表示します。
	9	ピッチレート	ピッチ角速度を表示します。
	10	ロールレート	ロール角速度を表示します。
	11	ヨーレート	ヨー角速度を表示します。
圧力	12	気圧	現在の気圧を表示します。
	13	インマニ圧 (OBD 要) ※1	相対インマニ圧を表示します。
	14	ブースト圧 (OBD 要) ※1	相対ブースト圧を表示します。
燃費・燃料	15	瞬間燃費 (OBD 要) ※2	瞬間の燃費を表示します。
	16	今回燃費 (OBD 要) ※2	今回走行時の平均燃費を表示します。(注 1)
	17	平均燃費 (OBD 要) ※2	OBD II アダプターで接続後の平均燃費を表示します。(注 1)
	18	一般道平均燃費 (OBD 要) ※2	OBD II アダプターで接続後の一般道での平均燃費を表示します。(注 1)
	19	高速道平均燃費 (OBD 要) ※2	OBD II アダプターで接続後の高速道での平均燃費を表示します。(注 1)
	20	生涯燃費 (OBD 要) ※2	OBD II アダプターで接続後の平均燃費を表示します。(注 2)
	21	移動平均燃費 (OBD 要) ※2	直近 16km 区間での燃費を表示します。
	22	燃料流量 (OBD 要)	燃料の流量を表示します。

(注 1)：「OBD 設定」→「平均クリア」でリセットされます。
(注 2)：「OBD 設定」→「オールクリア」でのみリセットします。「平均クリア」ではリセットされません。

小メーター

カテゴリ	No.	メーターの種類	メーターの内容
温度	23	エンジン水温	エンジン冷却水の温度を表示します。
	24	吸気温	エンジンの吸気温度を表示します。
	25	外気温※3	外気の温度を表示します。
エンジン	26	スロットル開度※4	エンジンのスロットル開度を表示します。
	27	エンジン負荷※4	エンジンの負荷を表示します。
	28	回転数 0-4000rpm	エンジンの回転数を 4000rpm がメーター最大値で表示します。
	29	回転数 0-6000rpm	エンジンの回転数を 6000rpm がメーター最大値で表示します。
その他	30	回転数 0-8000rpm	エンジンの回転数を 8000rpm がメーター最大値で表示します。
	31	OFF	小メーターを表示しません。
	32	時計	時刻を表示します。
HV1 ※6	33	HV システムパワー	エンジン・モーターを含めた出力を表示します。
	34	HV Fr モーターパワー	フロントモーターの出力を表示します。
	35	HV Rr モーターパワー	リヤモーターの出力を表示します。
	36	HV Rr トルク配分	リヤモーターへのトルク配分を表示します。
	37	HV バッテリー電圧	HV バッテリーの電圧値を表示します。
	38	HV バッテリー電流	HV バッテリーの充放電の電流値を表示します。
	39	HV 補機バッテリー電圧	HV 補機バッテリーの電圧を表示します。
	40	HV 全電池容量	バッテリーの充電率を表示します。
HV2 ※6	41	HV エンジンパワー	エンジンの出力を表示します。
	42	HV 昇圧後電圧	HV バッテリーの昇圧された電圧値を表示します。
	43	HV アクセル開度※5	アクセルの踏みこみ量を表示します。
	44	HV エアコン消費電力	現在のエアコン消費電力を表示します。
	45	HV ジェネレータ発電量	充電用発電機の発電量を表示します。
	46	HV 滑空	モーター / エンジンで駆動している時は「+」、電力を回生している時は「-」で表示します。

※1：この数値は 1 気圧に対する相対値です。過給機を持たない車両では、圧力は 0 を超えません。
※2：消費燃料および移動距離から燃費を算出しているため、車両の燃費計と一致しない場合があります。数値の補正はできません。
※3：車両によっては、センサーの位置により車外の気温と異なる場合があります。
※4：アイドリング中でも 0%にならない場合があります。
※5：アクセルペダルを踏んでいなくても、0%にならない場合があります。
※6：別売品の OBD II アダプター (OBD-HVTM) 装着時のみ選択できます。

1/8 表示、1/14 表示



●配置 6 (1/8 表示)

●配置 7 (1/14 表示)



●配置 4
上下に 4 項目



●配置 5
中央に 4 項目

OBD II アダプターで接続していない場合、および対応していない項目は、選択できません。カテゴリ内の項目がすべて非対応の場合は、カテゴリが選択できません。

カテゴリ	No.	メーターの種類	OBD	メーターの内容
速度	1	速度		現在の速度
	2	平均速度		今回の平均速度
	3	一般道平均速度	要	今回の一般道平均速度
	4	高速道平均速度	要	今回の高速道平均速度
	5	最高速度		今回の最高速度
	6	5 秒速度	要	発車から 5 秒後の速度
	7	平均 5 秒速度	要	発車から 5 秒後の速度の平均値
	8	最高 5 秒速度	要	発車から 5 秒後の速度の最高値
走行時間 1	9	走行時間	要	今回の停車していない時間
	10	1-20km/h 走行時間	要	1-20km/h の範囲での走行時間
	11	20-40km/h 走行時間	要	20-40km/h の範囲での走行時間
	12	40-60km/h 走行時間	要	40-60km/h の範囲での走行時間
	13	60-80km/h 走行時間	要	60-80km/h の範囲での走行時間
	14	80-100km/h 走行時間	要	80-100km/h の範囲での走行時間
	15	100km/h 以上走行時間	要	100km/h 以上の範囲での走行時間
	16	運転時間	要	今回の運転時間
	17	停車時間	要	今回の停車時間
	18	1000m ラップ	要	電源 ON から 1000m 走行ごとにかかった時間
	19	5000m ラップ	要	電源 ON から 5000m 走行ごとにかかった時間
	20	10000m ラップ	要	電源 ON から 10000m 走行ごとにかかった時間

1/8 表示、1/14 表示

カテゴリ	No.	メーターの種類	OBD	メーターの内容
走行時間 2	21	0-400m 時間	要	発車から 400m 走行にかかった時間
	22	0-1000m 時間	要	発車から 1000m 走行にかかった時間
	23	0-400m 平均時間	要	発車から 400m 走行にかかった平均時間
	24	0-1000m 平均時間	要	発車から 1000m 走行にかかった平均時間
	25	0-400m 最短時間	要	発車から 400m 走行にかかった最短時間
	26	0-1000m 最短時間	要	発車から 1000m 走行にかかった最短時間
走行 比率	27	走行比率	要	運転時間に対して走行している時間の比率
	28	1-20km/h 走行比率	要	1-19km/h の範囲で走行している比率
	29	20-40km/h 走行比率	要	20-39km/h の範囲で走行している比率
	30	40-60km/h 走行比率	要	40-59km/h の範囲で走行している比率
	31	60-80km/h 走行比率	要	60-79km/h の範囲で走行している比率
	32	80-100km/h 走行比率	要	80-99km/h の範囲で走行している比率
	33	100km/h 以上走行比率	要	100km/h 以上で走行している
	34	停車比率	要	運転時間に対して停車している時間の比率
	35	今回エンジン走行比率	要	今回走行した距離に対して今回エンジンで走行した比率
	36	生涯エンジン走行比率	要	生涯走行した距離に対して生涯エンジンで走行した比率
エコ ドライブ 1	37	エコ総合ポイント		エコドライブ画面の総合ポイント
	38	エコ加速ポイント		エコドライブ画面の加速ポイント
	39	エコ減速ポイント		エコドライブ画面の減速ポイント
	40	エコ経済速度ポイント		エコドライブ画面の経済速度ポイント
	41	エコアイドリングポイント		エコドライブ画面のアイドリングポイント
	42	今回アイドリングストップ時間※1	要	今回アイドリングストップした時間の累積値
	43	最小アイドリングストップ時間※1	要	アイドリングストップした時間の最小値
	44	最大アイドリングストップ時間※1	要	アイドリングストップした時間の最大値
	45	今回アイドリング時間	要	車速 0 でエンジンが掛かっていた時間
	46	今回エンジン始動回数	要	今回エンジンを始動した回数
エコ ドライブ 2	47	今回アイドリングストップ回数※1	要	今回アイドリングストップした回数
	48	0-10 アイドルストップ回数※1	要	アイドリングストップ時間が 0-10 秒の回数
	49	10-20 秒アイドルストップ回数※1	要	アイドリングストップ時間が 10-20 秒の回数
	50	20-30 秒アイドルストップ回数※1	要	アイドリングストップ時間が 20-30 秒の回数
	51	30 秒以上アイドルストップ回数※1	要	アイドリングストップ時間が 30 秒以上の回数
	52	0-10 秒アイドルストップ比率※1	要	アイドリングストップ時間が 0-10 秒の比率
	53	10-20 アイドルストップ比率※1	要	アイドリングストップ時間が 10-20 秒の比率
	54	20-30 秒アイドルストップ比率※1	要	アイドリングストップ時間が 20-30 秒の比率
	55	30 秒以上アイドルストップ比率※1	要	アイドリングストップ時間が 30 秒以上の比率

1/8 表示、1/14 表示

カテゴリ	No.	メーターの種類	OBD	メーターの内容
加速度	56	前後加速度		前後方向の加速度
	57	左右加速度		左右方向の加速度
	58	最大加速度		最大の加速度
	59	最大減速度		最大の減速度
	60	最大左右加速度		最大の左右加速度
加速 時間 1	61	0-20km/h 加速時間	要	0-20km/h 加速にかかった時間
	62	0-40km/h 加速時間	要	0-40km/h 加速にかかった時間
	63	0-60km/h 加速時間	要	0-60km/h 加速にかかった時間
	64	0-80km/h 加速時間	要	0-80km/h 加速にかかった時間
	65	0-100km/h 加速時間	要	0-100km/h 加速にかかった時間
	66	0-20km/h 平均加速	要	0-20km/h 加速にかかった平均時間
	67	0-40km/h 平均加速	要	0-40km/h 加速にかかった平均時間
	68	0-60km/h 平均加速	要	0-60km/h 加速にかかった平均時間
	69	0-80km/h 平均加速	要	0-80km/h 加速にかかった平均時間
	70	0-100km/h 平均加速	要	0-100km/h 加速にかかった平均時間
加速 時間 2	71	0-20km/h 最短加速	要	0-20km/h 加速にかかった最短時間
	72	0-40km/h 最短加速	要	0-40km/h 加速にかかった最短時間
	73	0-60km/h 最短加速	要	0-60km/h 加速にかかった最短時間
	74	0-80km/h 最短加速	要	0-80km/h 加速にかかった最短時間
	75	0-100km/h 最短加速	要	0-100km/h 加速にかかった最短時間
傾斜・ 方位	76	ピッチ		前後方向の回転
	77	ロール		左右方向の回転
	78	方位		北を 0° とし時計回りに 359° の範囲で進行方向を表示
	79	ピッチレート		ピッチ角速度
	80	ロールレート		ロール角速度
	81	ヨーレート		ヨー角速度
	82	最大ピッチレート		最大ピッチ角速度
	83	最大ロールレート		最大ロール角速度
	84	最大ヨーレート		最大ヨー角速度
圧力	85	気圧		現在の気圧
	86	相対インマニ圧	要	インマニ圧の相対値
	87	最大相対インマニ圧	要	インマニ圧の最大相対値
	88	絶対インマニ圧	要	インマニ圧の絶対値
	89	最大絶対インマニ圧	要	インマニ圧の最大絶対値
	90	ブースト圧	要	ブースト圧の相対値
	91	最大ブースト圧	要	ブースト圧の最大値

1/8 表示、1/14 表示

注 1：「OBD 設定」→「平均クリア」でリセットされます。
注 2：「OBD 設定」→「オールクリア」でのみリセットします。「平均クリア」ではリセットされません。

カテゴリ	No.	メーターの種類	OBD	メーターの内容
リマインダー	92	オイル残日数		オイル設定した期間の残日数
	93	オイルエレメント残日数		オイルエレメント設定した期間の残日数
	94	タイヤ残日数		タイヤ設定した期間の残日数
	95	バッテリー残日数		バッテリー設定した期間の残日数
	96	オイル残距離	要	オイル設定した距離の残距離
	97	オイルエレメント残距離	要	オイルエレメント設定した距離の残距離
	98	タイヤ残距離	要	タイヤ設定した距離の残距離
	99	バッテリー残距離	要	バッテリー設定した距離の残距離
燃費	100	瞬間燃費	要	瞬間の燃費
	101	今回燃費	要	今回走行時の平均燃費（注 1）
	102	最大今回燃費	要	今回走行時の最大燃費（注 1）
	103	平均燃費	要	OBD II アダプターで接続後の平均燃費（注 1）
	104	一般道平均燃費	要	OBD II アダプターで接続後の一般道平均燃費（注 1）
	105	高速道平均燃費	要	OBD II アダプターで接続後の高速道平均燃費（注 1）
	106	生涯燃費	要	OBD II アダプターで接続後の平均燃費（注 2）
	107	移動平均燃費	要	16km 区間での平均燃費
	108	最大移動平均燃費	要	16km 区間での最大移動平均燃費
燃料	109	燃料流量	要	燃料の流量
	110	平均燃料流量	要	今回走行時での平均燃料流量
	111	最大燃料流量	要	今回走行時での最大燃料流量
	112	残燃料	要	残りの燃料
	113	燃料レベル	要	残りの燃料レベル（割合）
	114	今回消費燃料	要	今回走行時の消費燃料
	115	消費燃料	要	OBD II アダプターで接続後の消費燃料（注 1）
	116	生涯消費燃料	要	OBD II アダプターで接続後の消費燃料（注 2）
距離	117	今回走行距離	要	今回走行時での走行距離
	118	走行距離	要	OBD II アダプターで接続後の走行距離（注 1）
	119	生涯走行距離	要	OBD II アダプターで接続後の走行距離（注 2）
	120	今回エンジン走行距離	要	今回走行時のエンジン走行距離
	121	生涯エンジン走行距離	要	OBD II アダプターと接続後のエンジン走行距離
温度	122	エンジン水温	要	エンジン冷却水の温度
	123	最高エンジン水温	要	エンジン冷却水の最高温度
	124	吸気温	要	エンジンの吸気温度
	125	最高吸気温	要	エンジンの最高吸気温度
	126	外気温	要	外気の温度
	127	最高外気温	要	外気の最高温度

1/8 表示、1/14 表示

カテゴリ	No.	メーターの種類	OBD	メーターの内容
エンジン	128	スロットル開度	要	エンジンのスロットル開度
	129	平均スロットル開度	要	今回走行時の平均スロットル開度
	130	最大スロットル開度	要	今回走行時の最大スロットル開度
	131	エンジン負荷	要	現在のエンジン負荷
	132	平均エンジン負荷	要	今回走行時の平均エンジン負荷
	133	最大エンジン負荷	要	今回走行時の最大エンジン負荷
	134	MAF	要	エンジンに吸気される空気量
	135	INJ	要	インジェクション噴射時間
	136	点火時期	要	エンジン点火プラグの点火時期
	137	回転数	要	エンジン回転数
衛星	138	平均回転数	要	今回走行時の平均回転数
	139	最高回転数	要	今回走行時の最高回転数
	140	全衛星受信数		現在の全衛星受信数
	141	GPS 受信数		現在の GPS 受信数
	142	GLONASS 受信数		現在の GLONASS 受信数
その他	143	QZSS 受信数		現在の QZSS 受信数
	144	SBAS 受信数		現在の SBAS 受信数
	145	カレンダー		カレンダー
	146	高度		現在地の高度
	147	OFF（1/8 表示のみ）		項目を表示しません
HV1 ※2	148	HV システムパワー	要	エンジン・モーターを含めた出力を表示します。
	149	HV Fr モーターパワー	要	フロントモーターの出力を表示します。
	150	HV Rr モーターパワー	要	リヤモーターの出力を表示します。
	151	HV Rr トルク配分	要	リヤモーターへのトルク配分を表示します。
	152	HV バッテリー電圧	要	HV バッテリーの電圧値を表示します。
	153	HV バッテリー電流	要	HV バッテリーの充放電の電流値を表示します。
	154	HV 補機バッテリー電圧	要	HV 補機バッテリーの電圧を表示します。
	155	HV 全電池容量	要	バッテリーの充電率を表示します。
	156	HV エンジンパワー	要	エンジンの出力を表示します。
	157	HV 昇圧後電圧	要	HV バッテリーの昇圧された電圧値を表示します。
HV2 ※2	158	HV アクセル開度	要	アクセルの踏みこみ量を表示します。 ※アクセルペダルを踏んでいなくても、0%にならない場合があります。
	159	HV エアコン消費電力	要	現在のエアコン消費電力を表示します。
	160	HV ジェネレーター発電量	要	充電用発電機の発電量を表示します。
HV2 ※2	161	HV 滑空	要	モーター / エンジンで駆動している時は「+」、電力を回生している時は「-」で表示します。

1/8 表示、1/14 表示

※1：別売品のOBD IIアダプター（OBD-HVTM）装着時のみ項目名が切り替わります。

今回アイドリングストップ時間→今回エンジンストップ時間
最小アイドルアイドリングストップ停止時間→最小エンジンストップ時間
最大アイドルアイドリングストップ時間→最大エンジンストップ時間
今回アイドリングストップ回数→今回エンジンストップ回数
0-10秒アイドリングストップ回数→0-10秒エンジンストップ回数
10-20秒アイドルストップ回数→10-20秒エンジンストップ回数
20-30秒アイドルストップ回数→20-30秒エンジンストップ回数
30秒以上アイドルストップ回数→30秒以上エンジンストップ回数
0-10秒アイドルストップ比率→0-10秒エンジンストップ比率
10-20秒アイドルストップ比率→10-20秒エンジンストップ比率
20-30秒アイドルストップ比率→20-30秒エンジンストップ比率
30秒以上アイドルストップ比率→30秒以上エンジンストップ比率

※2：別売品のOBD IIアダプター（OBD-HVTM）装着時のみ選択できます。



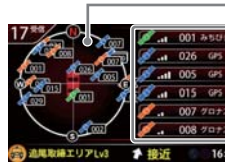
フォトフレーム



● フォトフレーム画像
写真の切替時間、切替時の表示方法、
写真の表示範囲、特殊効果の設定が
できます。

● 表示するデータは、本機にあらかじめ装着されているSDカードの所定のフォルダにパソコンなどで保存する必要があります。（▶P.80）

衛星情報

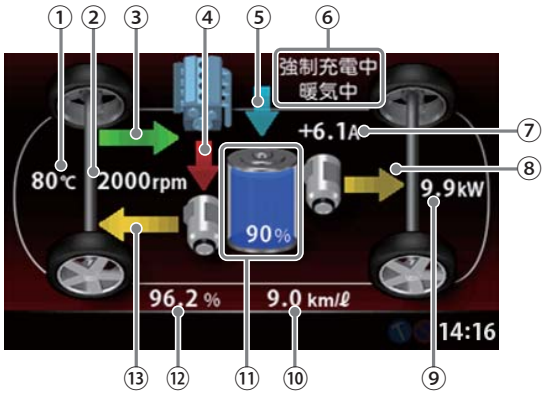


● 衛星位置・方位
衛星の仰角と方位角を位置として表示。外周に方位を示します。

● 衛星種類・受信レベル
電波を受信している衛星の種類と受信電波のレベル。

● 画面左に、進行方向を上とした衛星位置、番号を表示します。
緑色：みちびき、ひまわり
オレンジ色：グロナス
青色：GPS
画面右には、仰角の高い順に、6基の衛星情報を表示します。

ハイブリッド1



● ハイブリッド情報を表示します。
エンジンの色は状態により変化します。
白色：停止
緑色：アイドリング
赤色：駆動
水色：エンジンブレーキ
走行中はタイヤが回転します。
また、エンジンやモーターが振動する場合があります。

	表示内容
①	エンジン水温
②	回転数
③	緑色(→)の場合…エンジンブレーキ 黄色(←)の場合…エンジン駆動
④	赤色(↓)ジェネレータ発電
⑤	青色(↓)の場合…HVバッテリー充電 黄色(↑)の場合…HVバッテリー放電
⑥	強制充電中、暖気中の表示
⑦	HVバッテリー電流

	表示内容
⑧※	緑色(←)の場合…リアモーター回生 黄色(→)の場合…リアモーター駆動
⑨	HVエアコン消費電力
⑩	瞬間燃費
⑪	バッテリー残量
⑫	今回エンジン走行比率
⑬	緑色(→)の場合…フロントモーター回生 黄色(←)の場合…フロントモーター駆動

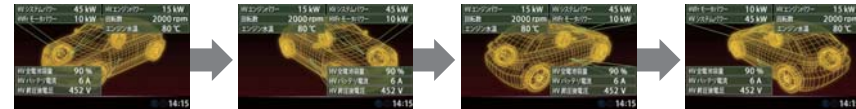
※リアモーターが無い場合は表示しません。

■ バッテリー残量

青色のレベルでバッテリー残量を表示します。

状態	80～100%	60～79%	40～59%	20～39%	0～19%
アイコン					

ハイブリッド2



一定時間毎に背景が回転します。

表示項目一覧

以下の項目を表示します。

HV システムパワー	HV 全電池容量
HV Fr モータパワー	HV バッテリー電流
HV エンジンパワー	HV 昇圧後電圧
回転数	HV Rr モータパワー ※
エンジン水温	HV Rr トルク配分比 ※

※リアモーターが無い場合は表示しません。

走行中の市区町村に沿った、各都道府県警察署発表の公開取締り情報を、画面下にテロップで流すことができます。全国地図と連動させた独自の分かりやすい案内機能です。場所、時期によっては表示されない場合もあります。ご購入時は、本機に公開取締り情報のデータが入っていません。表示させる場合は、パソコンでデータをダウンロードしてください。詳しくは、弊社ホームページ(<http://www.yupiteru.co.jp/>)をご覧ください。

公開取締り情報を表示している時でも、レーダー警報や無線警報など優先度の高い警報が優先されます。

※ GPSの日時情報により、日付の過ぎたものは表示されません。

※ 公開取締り情報が発表されていない地域では表示されません。

※ 公開取締り以外でも各都道府県にて取締りを実施しております。

※ 収録した公開取締り情報の公開日を確認する時はバージョン情報 (●P.98) をご確認ください。

※ 待受画面が「フォトフレーム」「OFF」の時は表示されません。

公開取締り情報の表示について

待受画面→[設定 TOP]→[警報]→[▶]×4回で「公開取締情報 5/6」メニューが表示されます。

※ 最新の公開取締り情報データを入れている場合。

●[OFF]

公開取締り情報を表示しません。公開取締り情報がある時のお知らせ音も鳴りません。

●[1周表示]

公開取締り情報を1周のみ表示します。1周表示が終了した後も、待受画面をタッチしてジャンプウィンドウを表示させ、[MUTE]をタッチで、再び1周表示します。

●[ループ表示]

エリア内であれば、公開取締り情報の表示を継続します。

<1周表示>



<2周目以降表示>



速度管理指針について

速度管理指針とは、交通事故発生状況等の交通実態や速度抑制の必要性などを基に各都道府県内ににおける速度制限や交通取締りの方針を示したものです。警察本部でまとめられた指針になります。

速度取締り指針について

速度管理指針に示す方針のもと、各警察署管内の一般道路及び高速道路について、交通事故発生状況の分析や地域住民からの要望等を基に、速度取締りを重点的に行う路線、時間帯等を明らかに示したものです。警察署単位でまとめられた指針になります。

参考 H P http://www.keishicho.metro.tokyo.jp/kotu/sokudo_sisin/sokudo_sisin.htm

警報画面について

警報画面

取締レーダー波を感知したり、注意度の高いオービスや取締エリアなどのGPSターゲットから1km(高速道では2km)に近づくと、待受⇄警報画面切替(●P.74)で設定した場合は待受画面から「フルマップレーダースコープ」や「実写警報 (REAL PHOTO リアルフォト)」が表示される警報画面(マップ・クラシック・シンプル)に切り替わります。



GPS ターゲットが登録されていない場合は、警報画面は表示されません。

警報画面

警告ムービー 4色識別アラーム

レベル高

赤 警報 「嚴重注意ターゲット」

ステルス L5

黄 警告 「要注意ターゲット」

青 告知 「少し注意ターゲット」

緑 情報 「安全運転のための情報」

レベル低

赤

ループコイルなど「嚴重注意」ターゲットを赤色の背景で警報。ターゲット名はもちろん、ステルス波やレーダー波は電波受信をレベル表示します。

黄

取締りエリアなど「要注意」ターゲットを黄色の背景で警告。ターゲット名とターゲットまでの距離をカウントダウン表示します。

青

連続カーブなど「少し注意」ターゲットを青色の背景で告知。

緑

ETC レーンなど「安全運転のための情報」を緑色の背景でお知らせ。

実写警報「REAL PHOTO (リアルフォト)」

オービス実写例

約 1km 手前で小さく表示

約 500m 手前で大きく表示 (1 マップ パネル自動の場合)

●高速道のみ約 2km 手前でも表示されます。(制限速度を超えている場合のみ)

●実写内にオービスの位置を矢印で表示します。

●実写データが登録されていないポイントでは、実写は表示されません。

取締エリア実写例

約 1km 手前で小さく表示

約 500m 手前で大きく表示 (1 マップ パネル自動の場合)

●実写データがない取締エリアでは、イメージ写真で表示します。

●一時停止取締エリアはエリア内でのみ表示します。

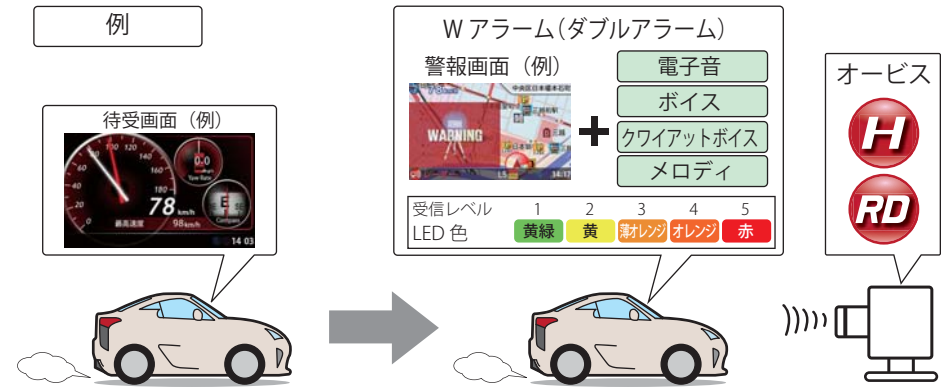
マップ画面の警報パネル表示について

警報画面(マップ)での警報時に表示される警報パネルの表示を切り替えることができます。警報パネルは数秒表示したのち、登録されている地点では実写警報に切り替わります。実写警報の切り替わりは待受画面→[設定TOP]→[警報]→[▶]×3回→「警報パネル写真 4/6」で設定切り替えることができます。

1マップ パネルなし		マップ画面のみで、警報パネルを表示しません。
1マップ パネル自動		画面に小さな警報パネルが表示され、距離によりパネルが大きくなります。
1マップ パネル小		画面に小さな警報パネルが表示されます。
1マップ 2パネル小		画面の左右に小さな警報パネルが表示されます。警報距離内にある最大2件の警報を行います。miniレーダー上のアイコンと警報パネルは線でつながっていて、自車との位置関係がわかるようになっています。
2マップ パネルなし		画面が2画面に分割され、左側に通常の地図、右側に広範囲を表示する地図を表示します。右側の地図画面はヘディングアップ固定です。警報パネルは表示しません。
2マップ パネル小		画面が2画面に分割され、左側に通常の地図と小さな警報パネル、右側に広範囲を表示する地図を表示します。右側の地図画面はヘディングアップ固定です。

取締りレーダー波を受信すると・・・

取締りレーダー波を受信した場合、「待受⇄警報画面切替 2/3」で接近切替(1000/500m) (●P.74)のときは警報・告知を行うマップ画面に切り替わります。



Wアラーム(ダブルアラーム)

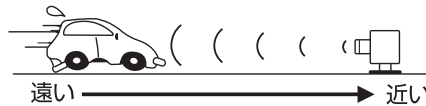
音(電子音/ボイス/クワイアットボイス/メロディ)と画面表示のダブルで警報します。
※レーダー波受信時の音(レーダーメロディ)は変更できます。(●P.91)

後方受信

iDSPによる超高精度識別およびスーパーエクストラの超高感度受信により、後方からの取締りレーダー波もシッカリ受信します。

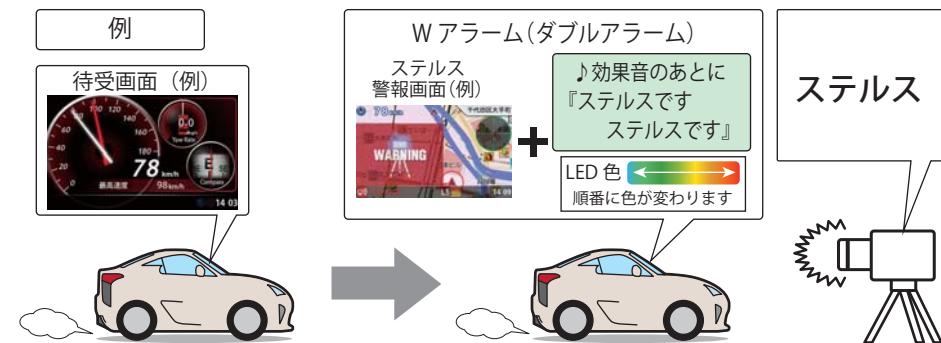
接近テンポアップ(電子音選択時のみ)

取締りレーダー波発信源への接近に伴う電波強度の変化に合わせて電子音のテンポが上がっていきます。

取締りレーダー波 発信源との距離	
電子音	『ピロ・ピロ』→『ピーーーー』 断続音から連続音に変化します。
受信レベル表示	L1 → L5 レーダー波の受信レベルが変化します。

ステルス波を受信すると

待受⇄警報画面切替で接近切替(1000/500m) (●P.74)のときは警報をおこなうマップ画面と専用の警報ボイスで警告します。



『ステルスです。ステルスです。』と警報したあと、通常の警報音(メロディ、ボイス、クワイアットボイス、電子音)の警報になります。

レーダー波3識別(iDSP)について

本機は、iDSP/統合的デジタル信号処理技術(integrated Digital Signal ProcessingTechnology)により、ステルス型取締り機の「一瞬で強い電波」に対しては、ただ単に警報するだけでなく、通常波と区別して警報画面とボイスでお知らせします。さらに、アイキャンセル(●P.85)により取締り波かどうかを識別し、誤警報を抑えます。

[ステルス識別]
[アイキャンセル：特許 第3902553号、第4163158号]

• iDSPはステルス型の取締り機に対して完全対応という訳ではありません。先頭を走行する際はくれぐれもご注意ください。



- フルマップレーダースコープ画面におけるターゲット表示とレーダー波の発信元とは無関係です。
- 新Hシステムの断続的なレーダー波を受信した際も、通常のレーダー波と同じ警報となります。

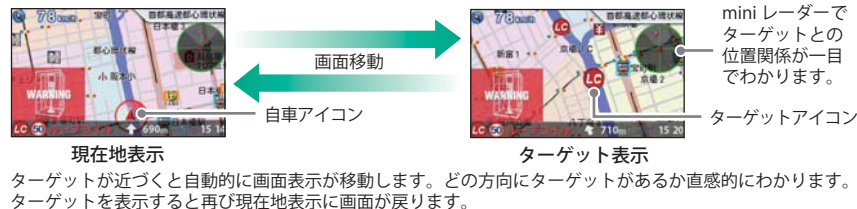
GPSターゲットに接近すると・・・

ターゲットフォーカス機能・フルマップレーダースコープ

本機に登録されたGPSターゲットに近づくと、「待受⇄警報画面切替 2/3」で接近切替(1000/500m) (●P.75)のときは待受画面から全国版フルマップ上でターゲットの存在をお知らせするマップ画面に切り替わります。走行している道路の先にあるGPSターゲットを前もって知ることができます。



フォーカス移動を ON にすると



ズーム表示を ON にすると

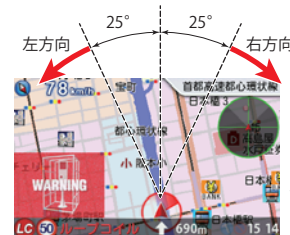


- 制限速度表示は、オービス(ループコイル/LHシステム/新Hシステム/レーダー式オービス)と一部の取締エリア警報時に表示します。
- 表示される時刻・速度・距離は、GPSの受信状況により、誤差を生じることがあります。
- 走行速度やGPSターゲットまでの距離、自車アイコンは、GPSやGセンサー、ジャイロセンサー、気圧センサー、マップマッチングシステムにより計測し表示させています。状況によっては実際と異なる場合もあります。
- GPS非測位時、走行速度は表示しません。
- OBDIIアダプターを接続するとGPS非測位時でも走行速度が表示されます。

警報ボイスについて

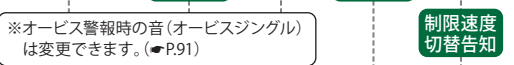
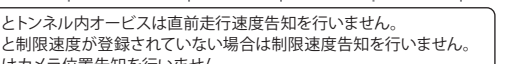
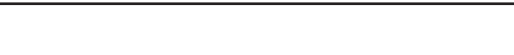
つづく

左右方向識別ボイス



この画面のイラストは説明用です。実際の画面とは異なります。

- GPS警報は、ターゲットが進行方向に対して、右手または左手方向に約25°以上のとき、「左方向」または「右方向」のボイスを付加して、その方向をお知らせします。
- ・『右方向』、『左方向』のボイスは、告知時点でのターゲット方向であり、右車線、左車線を示す訳ではありません。
 - ・ターゲットまでの距離が非常に近い場合は、左右方向識別ボイスをお知らせしないこともあります。

ターゲットの種類	お知らせするタイミング(距離) ※GPSの受信状況やセンサーの状況によって、お知らせする距離が異なる場合があります。				
オービス 5段階警報	2km(高速道のみ)	1km	500m	直前	通過
 (ループコイル)					
 (新Hシステム)					
 (LHシステム)					
 (レーダー式)					
LED色  赤	※オービス警報時の音(オービスジングル)は変更できます。(●P.91)				
※トンネル出口ターゲットとトンネル内オービスは直前走行速度告知を行いません。 ※トンネル出口ターゲットと制限速度が登録されていない場合は制限速度告知を行いません。 ※トンネル出口ターゲットはカメラ位置告知を行いません。					
取締エリア	※GPS 警報時の音(警報ジングル)は変更できます。(●P.93)				
 (移動オービス)					
 (速度取締り)					
 (追尾式取締り)					
 (交差点取締り)					
 (その他取締り)					
LED色  黄	レベル 1 2 3 4 5 取締頻度 低 高				
 (一時停止取締り)					
LED色  黄	※本機に登録されている取締エリアは過去のデータに基づいています。頻度などは目安としてお考えください。				

基本的な使い方

ターゲットの種類	お知らせするタイミング(距離) ※GPSの受信状況やセンサーの状況によって、お知らせする距離が異なる場合があります。 ※GPS 警告時の音(警報ジングル)は変更できます。(P.99)	
検問エリア (シートベルト検問) (携帯電話検問) (飲酒検問) (その他の検問) LED 色 黄	1km エリア進入 エリア脱出 『1km 先』警告 検問エリア 警告 検問圏外 識別警告 レベル 1 2 3 4 5 取締頻度 低 高	※1km 手前では左右方向もお知らせします。 ※本機に登録されている検問エリアは過去のデータに基づいています。頻度などは目安としてお考えください。
(交差点監視ポイント) LED 色 黄	約 300m 『すぐ先』警告	
(信号無視抑止システム) LED 色 黄	約 300m 『すぐ先』警告	
(高速交通警察隊) LED 色 黄	500m 『500m先』警告	
(駐禁監視エリア) LED 色 黄 ※アイコンは「マップ」画面上には表示されません。	駐禁監視エリア内で停車 ← 駐禁監視エリア → 駐禁最重点(重点)エリア 警告	※本機に登録されている違法駐車取締りガイドラインの最重点地域・重点地域内で停車すると、お知らせします。
(一時停止注意ポイント) サイレント警報 MAP 上でのアイコンで表示します。		※東京都 23 区 / 名古屋市内 / 大阪市内の一時停止注意ポイントが登録されています。
(マイエリア) LED 色 黄	1km 500m 通過 『1km 先』警告 『500m 先』警告 通過告知	※移動オービスがよく出没する地点や、新たに設置されたオービスポイントなどをマイエリアとして自由に登録できます。
(ゾーン 30 エリア) ※アイコンは「マップ」画面上には表示されません LED 色 黄	エリア告知	※ゾーン 30 エリアに入るとお知らせします。
(ラウンドアバウト) サイレント警報 MAP 上でのアイコンで表示します。		

ターゲットの種類	お知らせするタイミング(距離) ※GPSの受信状況やセンサーの状況によって、お知らせする距離が異なる場合があります。 ※GPS 告知時の音(告知ジングル)は変更できます。(P.99)	
(N システム) LED 色 青	約 300m 『すぐ先』告知	※ N システム：自動車ナンバー読み取り装置
(交通監視システム) LED 色 青	約 300m 『すぐ先』告知	※ 交通監視システム：画像処理式交通流計測システムなど
(警察署) LED 色 青	500m 『500m先』告知	
(交番) LED 色 青	500m 『500m先』告知	
(事故多発エリア) LED 色 青	約 300m 『すぐ先』告知	
(車上狙い多発エリア) LED 色 青 ※アイコンは「マップ」画面上には表示されません。	車上狙い多発エリア内で停車 ← 車上狙い多発エリア → 車上狙い多発エリア 告知	※本機に登録されている車上狙い多発地域内で停車すると、お知らせします。
(踏切) サイレント警報 MAP 上でのアイコンで表示します。		※本機に登録されている踏切ポイントのアイコンを表示します。
(急(連続)カーブ) LED 色 青	カーブにさしかかったら 『この先』告知	※アイコンは「マップ」画面上には表示されません。
(分岐(合流)ポイント) (高速道路のみ) LED 色 青 ※アイコンは「マップ」画面上には表示されません。	分岐にさしかかったら 合流にさしかかったら 『この先』分岐告知 『この先』合流告知	※GPSの受信状況や G センサー / ジャイロセンサーの動作状況により、インターチェンジ出口走行中に、本線の分岐を告知することがあります。

基本的な使い方

基本的な使い方

警報ボイスについて

ターゲットの種類	お知らせするタイミング(距離) ※GPSの受信状況やセンサーの状況によって、お知らせする距離が異なる場合があります。 ※GPS告知時の音(告知ジングル)は変更できます。(●P.99)
ETC (ETC レーン) ※アイコンは「マップ」画面上には表示されません。 LED 色 緑	ETC レーンにさしかかったら  ※ETC レーン の位置によって「右側 / 左側 / 中央 / 両側」でお知らせします。 ※交通量や時間による ETC レーン の位置変更には対応していません。目安としてお考えください。
SA (サービスエリア) PA (パーキングエリア)  (ハイウェイオアシス) LED 色 緑	1km  ※サービスエリア、パーキングエリアおよびハイウェイオアシスのお知らせを OFF に設定すると、スマートインターチェンジ、ガステーションのお知らせも行いません。
 (長い(連続)トンネル) (高速道路のみ) LED 色 緑	1km 500m 
 (ハイウェイラジオ) (高速道路のみ) LED 色 緑	 ※ハイウェイラジオ受信エリアに接近するとお知らせします。
 (県境) (高速道路および主要一般道路のみ) LED 色 緑 ※アイコンは「マップ」画面上には表示されません。	 ※県境に接近するとお知らせします。 ※すべての道路の県境が登録されているわけではありませんので、あらかじめご了承ください。
 (道の駅) LED 色 緑	1km 500m 
 (ビューポイントパーキング) LED 色 緑	1km 500m 
P (駐禁エリア付近駐車場)	サイレント警報 MAP 上でのアイコンで表示します。
 (消防署)	サイレント警報 MAP 上でのアイコンで表示します。
WC (公衆トイレ)	サイレント警報 MAP 上でのアイコンで表示します。

各種無線電波を受信すると・・・

つづく

$$\text{衛星} + \frac{\text{Xバンド}}{\text{Kバンド}} + \text{無線14バンド} = \text{17 BAND}$$

本機は、取締りレーダー波のX・KツインバンドとGPSの3バンドの他に、無線14バンド受信をプラスし、17バンド受信ができます。

無線発信源の位置を表示することはできません

無線の受信を警報する画面は、無線を受信したことを表示しています。発信源の位置や距離については表示されません。本機の近くで取締りに関係する無線が発信されていることを警報します。

1.無線14バンド受信機能

※無線受信時の音(無線ジングル)は変更できます。(●P.99)

無線の種類	LED	無線の説明
カーロケ無線 (カーロケーターシステム)  『カーロケ近接受信です』 『カーロケ遠方受信です』 『カーロケ圏外です』※ ※カーロケ無線の発信元が遠ざかった可能性が高いとき	ピンク 黄 水色	「無線自動車動態表示システム」のことで、警察の通信司令本部がパトカーなどの移動局の現在位置をリアルタイムで地図上に表示し、把握するためのシステムです。カーロケーターシステムを搭載した移動局は、GPS による緯度・経度情報をデジタル化し、それを 407.7MHz 帯の周波数でデータ伝送しています。本機は、それを受信することにより、移動局が近くにいることを警報します。 ※カーロケーターシステム搭載車であっても、カーロケ無線が使用されていない場合は、受信できないことがあります。 ※カーロケーターシステムは全国的に新システムへと移行しています。現在は受信できる地域でも、新システム移行後は受信できなくなる場合がありますので、あらかじめご了承ください。新システムに移した地域では、カーロケ無線の警報ができません。 ※受信のタイミングによっては、実際の移動局の接近と警報にズレが生じる場合があります。
取締無線  『取締無線です』	ピンク	スピード違反やシートベルト着用義務違反の取締現場では、350.1MHz の電波で無線連絡が行われることがあります。これが取締り無線です。本機は、それを受信することにより、近くで取締りが行われていることを警報します。 ※無線を使わず、有線で通信が行われる場合があります。この場合は警報されません。
デジタル無線  『デジタル無線です』	黄	各都道府県警察本部と移動端末間で交信するためのもので、移動端末から各都道府県警察本部へ送信する際に、159～160MHz 帯の周波数が使われていますので、その電波受信により、移動局が近くにいる可能性が高いことを察知できます。事前に察知することにより、緊急車両の通行の妨げにならないようにするなど、安全走行に役立ちます。
取締特小無線  『デジタル無線です』	水色	取締り現場では、取締無線(350.1MHz)の他に、特定小電力無線が用いられる場合があります。 ※取締りにしていても、この無線を使用していない場合があります。この場合は警報されません。
署活系無線  『署活系無線です』	水色	パトロール中の警察官が警察本部や他の警察官との連絡用として使われる無線が署活系無線です。
警察電話  『警察電話です』	水色	移動警察電話(移動警電)ともいい、警察専用の自動車携帯電話システムのことです。
警察活動無線  『警察活動無線です』	水色	主に機動隊の連絡用無線で、行事などの警備用として、限られた範囲で使用されている無線です。
レッカー無線  『レッカー無線です』	水色	主に関東 / 東海 / 阪神の一部地域で、レッカー業者が駐車違反や事故処理のときに、連絡用として簡易業務用無線を使用しています。 ※他の簡易業務用無線を受信しても、レッカー無線警報をすることがあります。

基本的な使い方

各種無線電波を受信すると・・・

無線の種類	LED	無線の説明
ヘリテレ無線 『ヘリテレ無線です』	黄緑	ヘリコプターを使って事件や事故処理、または取締りを行うときなどに地上との連絡用として使用します。 ※一部地域や一部ヘリコプターで、ヘリテレ無線が装備されていない場合や、使用されていない場合は受信できないことがあります。
消防ヘリテレ無線 『消防ヘリテレ無線です』	黄緑	ヘリコプターを使った火事の事故処理、または火事現場との連絡用として使われます。 ※一部地域や一部ヘリコプターで、消防ヘリテレ無線が装備されていない場合や、使用されていない場合は受信できないことがあります。
消防無線 『消防無線です』	黄緑	災害・救助活動で使用する消防用署活系無線(携帯用 400MHz 帯)です。 ※消防本部等で広域に使用されている VHF 帯 (150MHz 帯) の通信は受信できませんので、ご了承ください。
新救急無線 『救急無線です』	黄緑	救急車と消防本部の連絡用として使われる無線のうち、首都圏の特定の地域で使われているのが新救急無線です。
高速道路無線 『高速道路無線です』	黄緑	NEXCO 東日本、NEXCO 中日本、NEXCO 西日本の業務連絡用無線で、主に渋滞や工事・事故情報などでパトロール車両と本部との連絡に使用されています。
警備無線 『警備無線です』	黄緑	主に警備会社が使用する無線です。

2. ベストパートナー 6 識別

カーロケ無線、取締無線、デジタル無線などの無線の受信状態からシミュレーションし、快適ドライブのベストパートナーとして、安全走行のためのタイムリーな情報をお知らせします。
また、カーロケ無線(407.7MHz帯の電波)を受信したとき、その発信元の遠近を自動識別し、さらに発信元が圏外になったと思われる場合もお知らせします。

・カーロケ無線やベストパートナーは、カーロケ無線が受信可能な一部地域のみはたります。

[検問注意：特許 第4119855号]

[並走追尾注意/すれ違い/圏外識別：特許 第3780262号]

●「カーロケ無線」「取締無線」「デジタル無線」の設定(●P.83)をすべて「ON」にする

・いずれかの無線がOFFの状態では、一部のベストパートナー機能がはたしません。

無線の種類	LED	無線の説明
並走追尾注意 『スピード注意』 (2回くり返し)	ピンク	緊急車両が近くにいる可能性が高いとき
すれ違い注意 『遠ざかりました』 (2回くり返し)	ピンク	近くにいたと思われる緊急車両などが、遠ざかった可能性が高いとき
取締り注意 『取締り注意』 (2回くり返し)	ピンク	比較的近くで取締りなどが行われている可能性が高いとき
検問注意 『検問注意』 (2回くり返し)	ピンク	比較的近くで検問などが行われている可能性が高いとき
カーロケ遠近識別 『カーロケ近接受信です』 『カーロケ遠方受信です』	ピンク 黄	緊急車両などが近接している時や、遠方にいる可能性が高いとき
カーロケ圏外識別 『カーロケ圏外です』	水色	カーロケ受信の発信元が遠ざかった可能性が高いとき

投稿ピンについて

「ここで取締りをやっている」、「ここに新しいオービスが設置された」などのポイントを投稿ピンとして登録。携帯電話で、オービスや取締りの情報をお寄せください。

・登録数は、最大4カ所ピンを登録できます。

投稿ピンを登録する



①登録したい地点で待受画面をタッチします。



②[MENORY]をタッチします。



③[ピン設定]をタッチします。



④『ピン○に設定』と画面でお知らせし登録されます。

『ピン○に設定』と画面でお知らせします。

※○にはピンの番号(1~4)が入ります。ピンの数は最大4カ所で、少ない番号から登録されます。

※すでに4カ所のピンが登録されている場合は「ピンが一杯です」と画面表示されて登録できません。

<GPSを受信できなかったとき>

『GPSをサーチ中です』とお知らせします。GPSを測位するとピンが設定されます。

<方位未確定のとき>

下側項目が『方位未確定です』と表示されて、押すことができません。GPSを測位して一度は走行し方位が確定すると、下側項目が『ピン設定』に変わり押すことができるようになります。

登録した投稿ピンを削除する



①待受画面をタッチします。



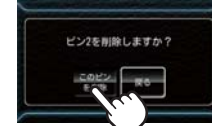
②[設定TOP]をタッチします。



③設定メニューで、[投稿]をタッチします。



④投稿ピンメニューで、消去したいピンをタッチします。



⑤『ピン○を削除しますか?』と表示され、[このピンを削除]をタッチすると、『ピン○を削除しました』と画面でお知らせします。

※削除しない場合は[戻る]をタッチします。

※○にはピンの番号(1~4)が入ります。

・すべての投稿ピンを解除(消去)したい場合は、「データ消去」(●P.98)を参照ください。

マイエリアを登録する

移動オービスがよく出没する地点や、新たに設置されたオービスポイントなどを登録でき、2回目以降通過時に警告させることができます。[マイエリア]

- 登録数は、マイエリア、アイキャンセル(●P.85)、マイキャンセルエリア(●P.73)の合計で10,000カ所まで可能です。10,000カ所を超えて登録しようとしたときは、通過履歴の古いエリアを削除し、新しいエリアを登録します。

マイエリアを登録する



①登録したい地点で待受画面をタッチします。



②[MEMORY]をタッチします。



③[マイエリア]をタッチします。



④『マイエリアをセットしました』とお知らせし登録されます。

〈GPSを受信できず、マイエリア登録できなかったとき…〉

『GPSをサーチ中です』とお知らせしたあとに、『GPSを受信できません』とお知らせします。

マイエリア登録したエリアに近づくと…

手前約1km／500mと通過時の3段階で警告します。

〈手前約1km(500m)のとき…〉

『右(左)方向 1km(500m)先 マイエリアです』とお知らせします。

- GPS測位状況や走行ルートによって、距離の告知(『1km先』、『500m先』を『この先』や『300m先／200m先／100m先／すぐ先』とお知らせすることがあります。

登録したマイエリアを解除する



①マイエリア登録されているエリアで待受画面をタッチします。



②[MEMORY]をタッチします。



③[マイエリア]をタッチします。



④『マイエリアを解除しました』とお知らせし解除します。

- すべてのマイエリアを解除(消去)したい場合は、『データ消去』(●P.91)を参照ください。

緯度・経度について

緯度・経度を表示させ、ity. MAPサービス(●P.114)をご活用いただけます。

※必ず、車を止めてから 操作してください。



表示方法

待受画面をタッチ
→ [MEMORY] をタッチ
→ [ity. MAP] をタッチ

- 表示部にQRコードと緯度(N)・経度(E)を約1分間表示します。
- 表示中は、移動しても緯度・経度は変わりません。
- GPS非測位のときは、緯度・経度は表示できません。
- 戻るときは、本機画面をタッチしてください。
- 表示させたまま1分間経過すると、自動的に直前の画面に戻ります。

マイキャンセルエリアを登録する

自動ドアなど、取締り機が設置されていないにもかかわらずレーダー波の受信警報がよく鳴る地点を登録することができ、通過時にレーダー波の受信警報をキャンセルします。[マイキャンセルエリア]

- 登録数は、マイキャンセルエリア、マイエリア(●P.72)、アイキャンセル(●P.85)の合計で10,000カ所まで可能です。10,000カ所を超えて登録しようとしたときは、通過履歴の古いエリアを削除し、新しいエリアを登録します。
- マイキャンセルエリアは、レーダー波の受信警報をキャンセルするもので、GPS54識別(●P.65)や無線14/バンド識別(●P.69)・ベストパートナー6識別(●P.70)の警報はキャンセルできません。

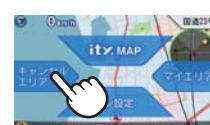
マイキャンセルエリアを登録する



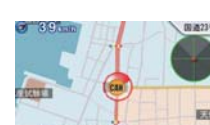
①登録したい地点で待受画面をタッチします。



②[MEMORY]をタッチします。



③[キャンセルエリア]をタッチします。



④『マイキャンセルエリアにセットしました』とお知らせし登録されます。

〈GPSを受信できず、マイキャンセルエリア登録できなかったとき…〉

『GPSをサーチ中です』とお知らせしたあとに、『GPSを受信できません』とお知らせします。

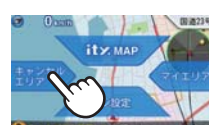
登録したマイキャンセルエリアを解除する



①マイキャンセルエリア登録された地点で待受画面をタッチします。



②[MEMORY]をタッチします。



③[キャンセルエリア]をタッチします。



④『マイキャンセルエリアを解除しました』とお知らせし解除します。

- すべてのマイキャンセルエリアを解除(消去)したい場合は、『データ消去』(●P.98)を参照ください。

登録したマイキャンセルエリアに進入すると…

登録したキャンセルエリアのポイントから半径約200mのエリアに進入し、レーダー波を受信するとレーダー警報音をキャンセルします。

- キャンセルサウンド(●P.85)の設定がONの場合は、『キャンセル中です』とお知らせします。

設定

待受画面で画面タッチし、ジャンプウィンドウを表示させ[設定TOP]をタッチ、変更したい項目を選択すると各種設定が細かく変更できます。

画面をタッチ
→[設定TOP]をタッチ

設定	
待受	▶ P.74
モード	▶ P.82
警報	▶ P.87
画面・LED	▶ P.90
音声	▶ P.91
投稿	▶ P.94
リマインダー	▶ P.97
システム	▶ P.98
カスタム	▶ P.99
OBD	▶ P.101
月間記録	▶ P.104

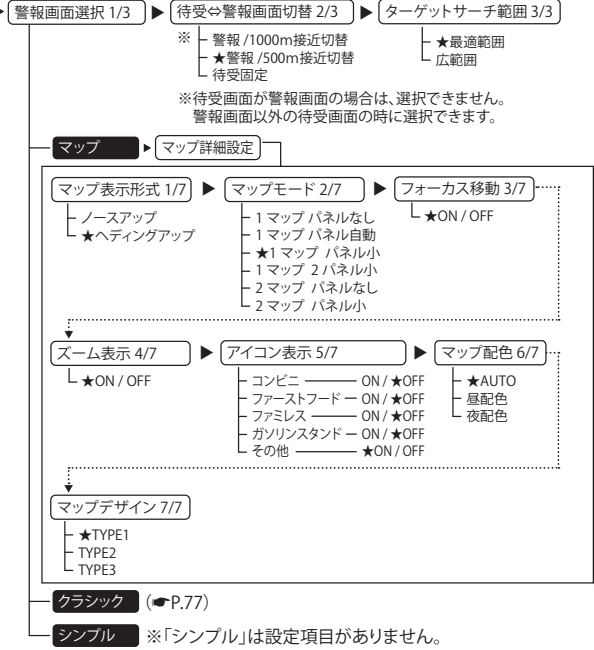


待受

設定メニュー

設定
待受
モード
警報
画面・LED
音声
投稿
リマインダー
システム
カスタム
OBD
月間記録

待受設定
警報画面
潮汐情報
グラフ
オート
プリセット A
プリセット B
プリセット C
プリセット D
プリセット E
プリセット F
フォトフレーム



[警報画面] 設定項目の説明

＜警報画面選択 1/3＞

- マップ …… 全国版の地図が表示され、その上を自車アイコンが移動します。
- クラシック …… 自車とターゲットの位置をシンプルな画面で表示します。
- シンプル …… 最小限の情報と大きな警報パネルで表示します。

＜待受⇄警報画面切替 2/3＞

- 警報1000m(500m) 接近切替 …… 警報音声発生時、またはターゲットが約1000m(500m) まで接近すると、待受⇄警報画面が警報画面以外の場合は警報画面に自動的に切り替わります。
- 待受固定 …… ターゲットが近づいても設定した待受画面で固定され、メッセージウィンドウによる警告を行います。
※「フォトフレーム」「OFF」ではメッセージウィンドウは常時表示されません。

＜GPSターゲットサーチ範囲 3/3＞

- 最適範囲 …… ターゲットに応じて、最適な距離になってから表示を行います。
- 広範囲 …… 赤、黄ターゲットに対して広範囲な警告を行います。

[マップ詳細設定]

＜マップ表示形式 1/7＞※2マップの場合は左側のマップ画面に適用されます。

- ノースアップ …… 常に北が上の状態で地図が表示されます。
- ヘディングアップ …… 常に進行方向が上の状態で地図が表示されます。

＜マップモード 2/7＞(←P.61)

- 1マップ パネルなし …… マップ画面のみを表示し、警報パネルを表示しません。
- 1マップ パネル自動 …… 画面の左側に警報パネルが表示され、距離によりパネルが大きくなります。
- 1マップ パネル小 …… 画面の左側に小さな警報パネルが表示されます。
- 1マップ 2パネル小 …… 画面の左右に小さな警報パネルが表示されます。miniリーダー上のアイコンと警報パネルは線でつながっていて、自車との位置関係がわかるようになっています。
- 2マップ パネルなし …… 画面が2画面に分割され、左側に通常の地図、右側に縮尺が小さな地図を表示します。右側の地図画面は、ヘディングアップ固定です。警報パネルは表示しません。
- 2マップ パネル小 …… 画面が2画面に分割され、左側に通常の地図と小さな警報パネル、右側に縮尺が小さな地図を表示します。右側の地図画面は、ヘディングアップ固定です。

＜フォーカス移動 3/7＞

- ON / OFF …… ONにしてGPSターゲットに近づくと、自動的に地図が移動し、目標ターゲットを表示します。目標ターゲットを表示すると、再び自車位置表示まで自動的に地図が戻ります。OFFに設定すると、自車位置は移動せずに、地図の移動とともに、GPSターゲットが接近します。

＜ズーム表示 4/7＞

- ON / OFF …… ONにすると、GPSターゲットが、自車位置から離れた位置にある場合に、自車位置とGPSターゲットアイコンが同時に見られる縮尺まで、自動で縮尺を小さくします。GPSターゲットが近づくに従い、縮尺が大きくなります。

〈アイコン表示 5/7〉

- ON / OFF …… 画面の地図上に表示される「コンビニ」、「ファーストフード」、「ファミレス」、「ガソリンスタンド」、「その他」のアイコンのON / OFFを設定できます。

〈マップ配色 6/7〉

- AUTO / 昼配色 / 夜配色 …… AUTOを選択すると、日の出～日没は昼配色、日没～日の出と照度センサーで暗いと判断された場合は夜配色になります。それぞれ配色を固定することもできます。

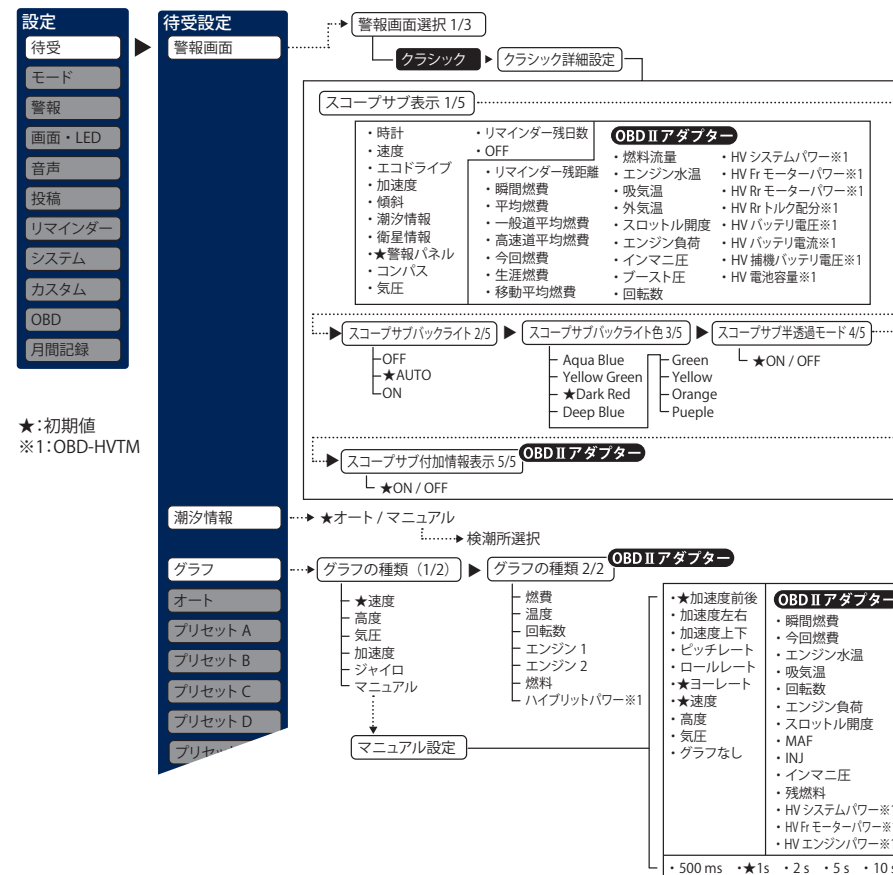
〈マップデザイン 7/7〉

- TYPE1 …… 初期設定の画面です。
- TYPE2 …… 住所重視の画面です。右上の表示欄には常に住所が表示されます。
- TYPE3 …… 道路重視の画面です。主要幹線道路の表示が強調されます。

昼配色



夜配色



★: 初期値
※1: OBD-HVTM

〔クラシック詳細設定〕

〈スクープサブ表示 1/5〉

スクープサブ表示を選択するとクラシック画面の左上にサブ表示がひとつ表示されます。表示するサブ表示は「配置2」で表示される中メーターの項目と同様です。(●P.46)

警報パネルを選択して、警報が必要な距離に無い場合はスクープサブ表示は表示されません。また、画面下にも警報情報が表示されます。

〈スクープサブバックライト 2/5〉〈スクープサブバックライト色 3/5〉

スクープサブ表示の背景色が、フレックスディマーにより夜間と判定された時や、トンネルなどで周囲が暗くなった時(画面・LEDの設定でフレックスディマーを「照度センサ+GPS」に設定が必要)、およびOBD II アダプターによる接続時にGPSが受信できなかった場合(トンネル内など)にスクープサブ表示の背景色が変わります。また、背景色を8種類から選択できます。

〈スコープサブ半透過モード 4/5〉

スコープサブ半透過モードをONにすると、スコープサブ表示の背景が半透明になります。

〈スコープサブ付加情報表示 5/5〉 **OBD II アダプター**

スコープサブ付加情報表示をONにすると、車両が停車してしばらくすると今回の走行情報を表示します。車両が動き出すと、通常の表示に戻ります。OBD II アダプターで接続すると有効になります。

[潮汐情報] 設定項目の説明

〈検潮所自動選択〉

検潮所自動選択をオートにすると、GPS測位によって得られた現在地近辺の情報を表示します。マニュアルにすると、全国の登録された102地点から選択することができます。

- ・初期設定は「オート」に設定されています。

全国登録地点（以下より選択可能）

・稚内	・宮古	・粟島	・横須賀	・八丈島	・師崎	・大阪	・高松	・浜田	・油津	・石垣島
・網走	・釜石	・新潟西港	・大島（岡田）	・父島	・鳥羽	・神戸	・小松島	・徳山	・大泊	・与那国島
・花咲	・大船渡	・佐渡	・江ノ島	・南鳥島	・尾鷲	・洲本	・阿波由岐	・下関	・鹿児島	
・釧路	・鮎川	・大洗	・下田	・舞阪	・熊野	・富山	・室戸岬	・博多	・枕崎	
・小樽	・仙台新港	・銚子漁港	・石廊崎	・赤羽根	・浦神	・能登	・高知	・佐世保	・対馬	
・苫小牧西	・相馬	・勝浦	・内浦	・豊橋港	・串本	・三国	・土佐清水	・大浦	・福江	
・函館	・小名浜	・布良	・清水港	・形原	・白浜	・舞鶴	・宇和島	・長崎	・種子島	
・下北	・深浦	・千葉	・御前崎	・名古屋	・御坊	・宇野	・松山	・口之津	・奄美大島	
・竜飛	・秋田	・晴海	・神津島	・鬼崎	・和歌山	・呉	・境	・三角	・那覇	
・八戸	・酒田	・芝浦	・三宅島	・衣浦	・淡輪	・広島	・西郷	・大分	・南大東島	

[グラフ] 設定項目の説明

〈グラフの種類（1/2）〉 ※OBD II アダプターで接続すると「1/2」になります。

車両の変化をグラフ表示します。マニュアルに設定すると最大3項目を同時に表示できます。

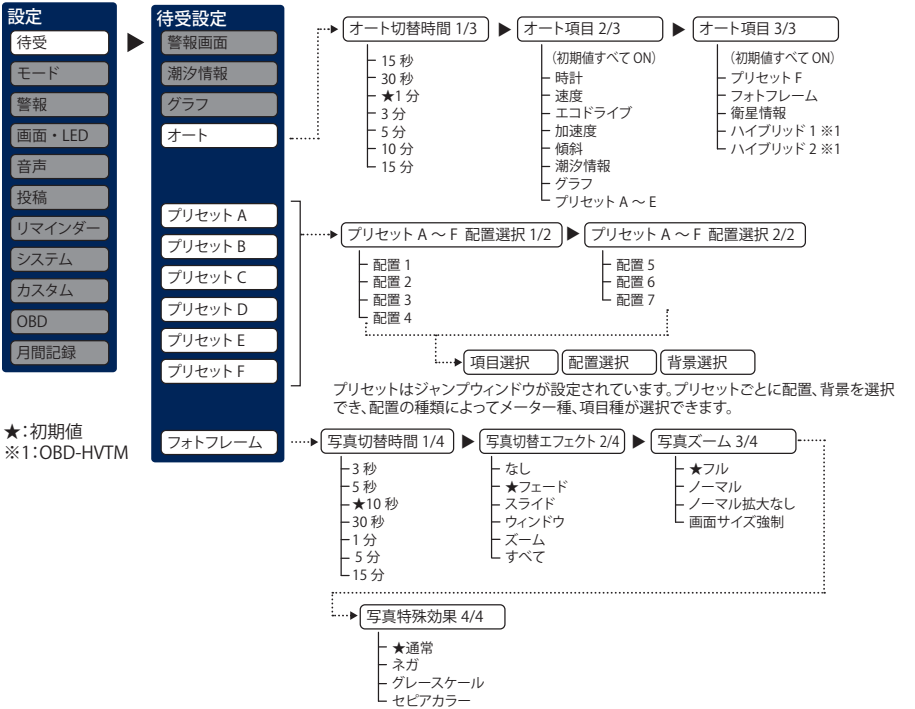
- ・速度 ……速度の変化を表示します。
- ・高度 ……高度の変化を表示します。
- ・気圧 ……気圧の変化を表示します。
- ・加速度 ……車両の前後、左右、上下方向の加速度変化を表示します。
- ・ジャイロ ……「ピッチレート」「ロールレート」「ヨーレート」の変化を表示します。
- ・マニュアル ……[マニュアル]をタッチすると、マニュアル設定が有効になります。最大3項目のグラフが表示でき、それぞれのグラフの更新時間を設定できます。

〈グラフの種類 2/2〉 **OBD II アダプター**

本機をOBD II アダプターで接続すると、さまざまなエンジン情報をグラフで表示できます。

- ・燃費 ……車両の燃費の変化を表示します。
- ・燃料 ……「残燃料」「燃料レベル」の変化を表示します。
- ・温度 ……各種温度の変化を表示します。
- ・回転数 ……エンジン回転数の変化を表示します。
- ・ハイブリッドパワー ……「HVシステムパワー」「HVFr モーターパワー」「HVエンジンパワー」の変化を表示します。
- ・エンジン1 ……「エンジン負荷」「スロットル開度」の変化を表示します。
- ・エンジン2 ……「MAF」「INJ」「インマニ圧」の変化を表示します。

※OBD II アダプターで接続しないと表示できません。
※車両により、表示できない項目があります。



[オート項目] 設定項目の説明

〈オート切替時間 1/3〉

待受画面選択で「AUTO」を選択した場合に、待受画面の切り替わる時間を設定できます。

〈オート項目 2/3, 3/3〉

待受画面選択で「AUTO」を選択すると、選択した待受画面を順にスライド表示します。

- ・初期設定は、すべて「ON」に設定されています。

[プリセット] 設定項目の説明

〈プリセット A～F〉

プリセット A～F に表示する配置をプリセットごとに設定できます。配置を選択し、表示された位置のメーター、項目をダイレクトに選択、変更できます。また、プリセットごとに背景を設定することもできます。

- ・配置は7種類から選択できます。項目はOBD II アダプターで接続すると最大210項目以上から選択できます。
- ※車両により、表示できない項目は選択できません。
- ※背景画像を設定するには、あらかじめ同梱のSDカードに写真データを保存する必要があります。写真データの保存方法は、「フォトフレーム」の項目を参照してください。

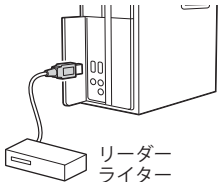
【フォトフレーム】設定項目の説明

フォトフレームを使用するには、あらかじめ本機に装着されているSDカードの所定のフォルダに、パソコンなどで画像データを保存しておく必要があります。
画面に100%で表示される画像サイズは400×240ピクセルです。
再生される写真の順番は、ほぼSDカードに書き込まれた写真の順になります。写真の削除・追加を繰り返すと再生する順序が入り替わる場合があります。

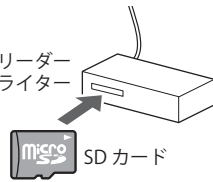
＜保存方法＞

- ① リーダーライターをパソコンに接続する。
 - ② 本機に装着されているSDカードをリーダーライターに挿入する。
 - ③ SDカードの「user」フォルダの中の「photo」フォルダに画像データを保存する。「photo」以下4階層までフォルダ対応可能。
 - ※画像データ対応形式(拡張子) : JPEG(.jpg)
 - 最大画像サイズ : 幅または高さ8,000ピクセル
 - 最大保存ファイル数 : 最大100ファイル(SDカードの容量を超えない範囲)
 - 最大ファイル容量 : 約3MB(1ファイル)
- ※注意：本機に装着されていたSDカードには本機の機能に必要なデータが入っています。
ファイルの保存時などに、誤ってSDカード内のデータを消去しないようご注意ください。

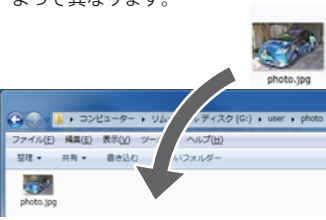
①リーダーライターをパソコンに接続。
※接続方法はリーダーライターの取扱説明書を参照してください。



②SDカードをリーダーライターに挿入。
※挿入方法はリーダーライターの取扱説明書を参照してください。



③お手持ちの画像ファイルを「user」→「photo」フォルダに入れる。
※画面表示はパソコンによって異なります。



＜写真切替時間 1/4＞

SDカードに保持された写真データの表示を切り替える時間を設定できます。
3秒、5秒、10秒、30秒、1分、5分、15分の中から選択します。初期設定は10秒に設定されています。

＜写真切替エフェクト 2/4＞

写真データの表示を切り替える際の表示方法を選択できます。

- ・なし 現在の写真が瞬時に、次の写真に切り替わります。
- ・フェード 現在の写真が徐々に消えて、次の写真に切り替わります。
- ・スライド 横から次の写真がスライドして、次の写真に切り替わります。
- ・ウィンドウ 現在の写真が画面中央に表示範囲が小さくなって、次の写真に切り替わります。
- ・ズーム 現在の写真がズームアップするとともに徐々に消えて、次の写真に切り替わります。
- ・すべて 「なし」以外のエフェクトを順番に切り替えて写真が切り替わります。

＜写真ズーム 3/4＞

写真データを表示する時の表示サイズを選択できます。

- ・フル 写真の縦横比を保ったまま、画面が写真で埋まるように拡大・縮小します。写真の縦横比が画面の縦横比と異なる場合、写真の上下もしくは左右がカットされます。
- ・ノーマル 写真の縦横比を保ったまま、縦もしくは横が画面サイズになるように拡大・縮小します。写真の縦横比が画面の縦横比と異なる場合は、写真をすべて表示し、余白は黒い帯になります。
- ・ノーマル拡大なし 写真データのサイズが画面より小さい場合は、写真の拡大を行わずに、画面に表示し、余白は黒くなります。写真データのサイズが画面より大きい場合は、縦もしくは横が画面サイズになるように縮小します。
- ・画面サイズ強制 写真データの縦横比が画面サイズと異なる場合でも、強制的に画面サイズに拡大・縮小します。そのため、画面の縦横比に合わせて、写真が縦長や横長になります。

＜写真特殊効果 4/4＞

写真データの表示の見え方を変更できます。

- ・通常 写真データをそのまま表示します。
- ・ネガ ネガポジ反転して表示します。
- ・グレースケール 白黒写真にして表示します。
- ・セピアカラー セピア色にして表示します。

基本的な使い方(●P.32～35)で説明したオールオンモードは、すべての機能を使って警報や各種画面を表示させることができます。
この章では特定の機能をOFFにし、機能のカスタマイズを行う手順をご説明します。

お好みモード選択

本機には、カスタマイズを行うためのプリセットが4種類(「ノーマルモード」、「ミニмумモード」、「スペシャルモード」、「オールオンモード」)と、お好みによりすべての機能を個別に設定できる「マニュアルモード」が用意されています。初期設定は「ノーマルモード」に設定されています。

ノーマルモード

機能同士のバランスを重視したモードです。

ミニмумモード

レーダー、無線、GPS すべてにおいて、最低限の項目だけをONに設定します。

スペシャルモード

取締りに関する項目を重視した内容に設定されています。

オールオンモード

すべての機能をONに設定します。

マニュアルモード

すべての機能を個別にON / OFF が設定できます。

モードの変更方法



●レーダーの設定

	画面表示	ノーマル モード	ミニマム モード	スペシャル モード	オールオン モード	マニュアル モード	詳細説明 ページ
		以下の内容で設定されており、変更はできません。					
I キャンセル		ON	ON	OFF	ON	ON	85
キャンセルサウンド		OFF	OFF	OFF	ON	OFF	85
反対キャンセル		ON	ON	OFF	ON	ON	85

●GPSの設定

	アイコン	ノーマル モード	ミニマム モード	スペシャル モード	オールオン モード	マニュアル モード	詳細説明 ページ
		以下の内容で設定されており、変更はできません。					
オービス		ON	ON	ON	ON	ON	65
直前速度告知		ON	ON	ON	ON	ON	65
制限速度告知		ON	ON	ON	ON	ON	65
カメラ位置告知		ON	ON	ON	ON	ON	65
通過告知		ON	ON	ON	ON	ON	65
制限速度切替告知		ON	ON	ON	ON	ON	65
速度超過告知		ON	ON	ON	ON	ON	65
取締エリア		レベル3 以上	OFF	全て	全て	レベル3 以上	65
検問エリア		レベル3 以上	OFF	全て	全て	レベル3 以上	66
交差点監視ポイント		OFF	OFF	ON	ON	OFF	66
信号無視抑止システム		OFF	OFF	ON	ON	OFF	66
高速交通警察隊		ON	OFF	ON	ON	ON	66
駐禁監視エリア※		ON	OFF	ON	ON	ON	66
一時停止注意ポイント		OFF	OFF	OFF	ON	OFF	66
Nシステム		OFF	OFF	ON	ON	ON	67
交通監視システム		OFF	OFF	ON	ON	ON	67
警察署		OFF	OFF	ON	ON	OFF	67
交番		OFF	OFF	OFF	ON	OFF	67
事故多発エリア		OFF	OFF	ON	ON	OFF	67
車上狙い多発エリア※		OFF	OFF	ON	ON	OFF	67
踏切		OFF	OFF	OFF	ON	OFF	67
急(連続)カーブ※		OFF	OFF	ON	ON	OFF	67
分岐合流ポイント※		OFF	OFF	ON	ON	OFF	67
ETCレーン※		OFF	OFF	OFF	ON	OFF	68

※「マップ」画面上に表示されません。

	アイコン	ノーマル モード	ミニマム モード	スペシャル モード	オールオン モード	マニュアル モード	詳細説明 ページ
		以下の内容で設定されており、変更はできません。					
SA(サービスエリア)		OFF	OFF	OFF	ON	OFF	68
PA(パーキングエリア)		OFF	OFF	OFF	ON	OFF	68
ハイウェイアシス		OFF	OFF	OFF	ON	OFF	68
スマートIC	  	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	68
ガステーション	 	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	68
トンネル		OFF	OFF	OFF	ON	OFF	68
ハイウェイラジオ		OFF	OFF	OFF	ON	OFF	68
県境※		OFF	OFF	OFF	ON	OFF	68
道の駅		OFF	OFF	OFF	ON	OFF	68
ビューポイントパーキング		OFF	OFF	OFF	ON	OFF	68
駐車場		OFF	OFF	OFF	ON	OFF	68
消防署		OFF	OFF	OFF	ON	OFF	68
公衆トイレ		OFF	OFF	OFF	ON	OFF	68
ゾーン30※		ON	OFF	ON	ON	ON	66
ラウンドアバウト		OFF	OFF	ON	ON	ON	66

※「マップ」画面上に表示されません。

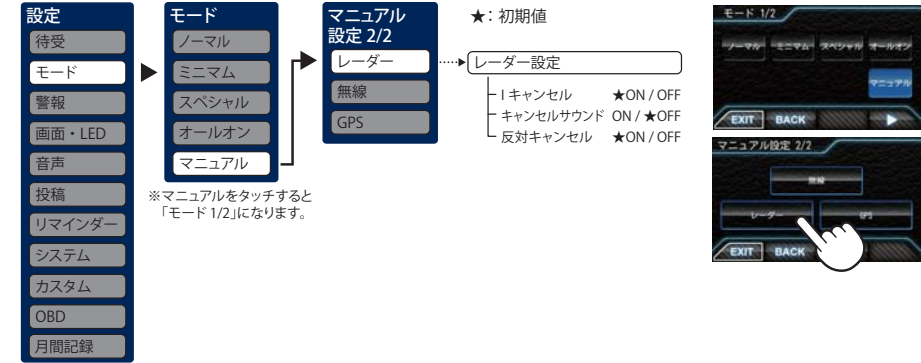
●無線の設定

	画面表示	ノーマル モード	ミニマム モード	スペシャル モード	オールオン モード	マニュアル モード	詳細説明 ページ
		以下の内容で設定されており、変更はできません。					
受信感度		LO	LO	HI	HI	LO	-
カーローケ無線	 カーローケ近接	ON	ON	ON	ON	ON	69
取締無線	 取締無線	ON	ON	ON	ON	ON	69
デジタル無線	 デジタル無線	ON	OFF	ON	ON	ON	69
取締特小無線	 特小無線	OFF	OFF	ON	ON	OFF	69
署活系無線	 署活系無線	OFF	OFF	ON	ON	OFF	69
警察電話	 警察電話	OFF	OFF	ON	ON	OFF	69
警察活動無線	 警察活動無線	OFF	OFF	ON	ON	OFF	69
レッカー無線	 レッカー無線	OFF	OFF	ON	ON	OFF	69
ヘリテレ無線	 ヘリテレ無線	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	70
消防ヘリテレ無線	 消防ヘリテレ無線	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	70
消防無線	 消防無線	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	70
新救急無線	 新救急無線	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	70
JH(高速道路)無線	 高速道路無線	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	70
警備無線	 警備無線	OFF	OFF	OFF	ON	OFF	70

マニュアルモードでのレーダー設定

設定メニューにそって、レーダーの各種設定変更ができます。

・「お好みモード選択機能の設定」でマニュアルモードを選択した場合に設定内容が適応されます。



＜アイキャンセル(I キャンセル)＞[特許 第3902553号、第4163158号]

自動ドアなどで誤警報する場所を通過した際、GPSの位置情報を自動で登録し、2回目以降通過時に電波を受信した場合、レーダー警報をキャンセルします。

登録数は、アイキャンセル、マイエリア(●P.72)、マイキャンセルエリア(●P.73)の合計で10,000カ所まで可能です。

10,000カ所を超えて登録しようとしたときは、通過履歴の古いエリアを削除し、新しいエリアを登録します。

アイキャンセルのしくみ

① 取締りレーダー波と同じ電波を受信すると警報。[1回目]
② 取締りレーダー波かどうかを識別。
③ 誤警報と思われる場合、「誤警報エリア」として自動登録。
④ 同じ地点で電波を受信しても警報をキャンセル。[2回目以降]

Before

また、自動ドアか...

After

オッ、聞らなくなった... 賢〜い!

・キャンセル中の画面

レーダー波の受信レベル

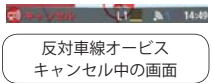
- ・GPS測位していないときや誤警報エリアの状況によっては、誤警報がキャンセルされない場合があります。
- ・キャンセルされないエリアでは、マイキャンセルを合わせてご利用ください。
- ・「アイキャンセル」を「OFF」に設定すると、アイキャンセル機能を停止させることができます。
- ・自動登録したエリアは、「アイキャンセル」の設定や電源をOFFにしても記憶されています。
- ・登録されたエリアをすべて消去したい場合は、「データ消去」(●P.98)をご覧ください。

＜キャンセルサウンド＞
(アイキャンセルサウンド)

アイキャンセル中、マイキャンセル中に、『キャンセル中です』と10秒に1回音声を発する機能です。

＜反対キャンセル＞
(反対車線オービスキャンセル機能)

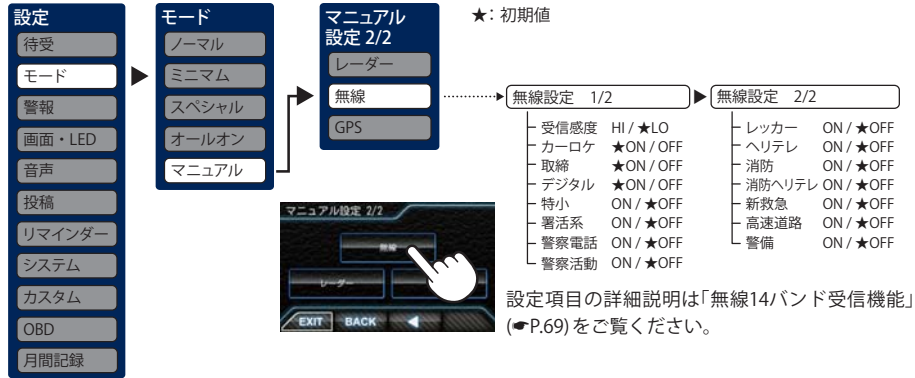
GPSデータに登録されている新Hシステムとレーダー式オービスポイントの反対車線で、レーダー波の受信警報をキャンセルする機能です。



マニュアルモードでの無線設定

設定メニューにそって、無線の各種設定変更ができます。

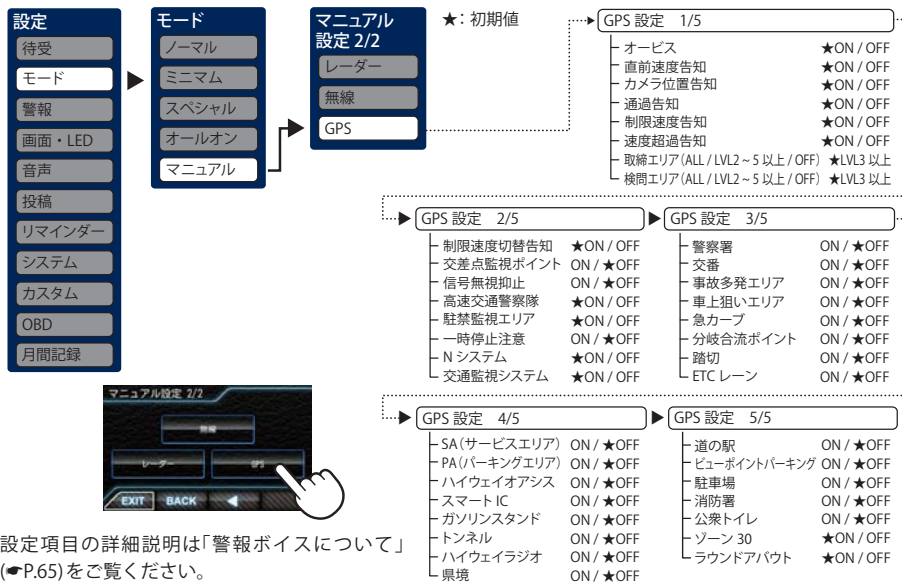
- 「お好みモード選択機能の設定でマニュアルモードを選択した場合に設定内容が適応されます。



マニュアルモードでのGPS設定

設定メニューにそって、GPSの各種設定変更ができます。

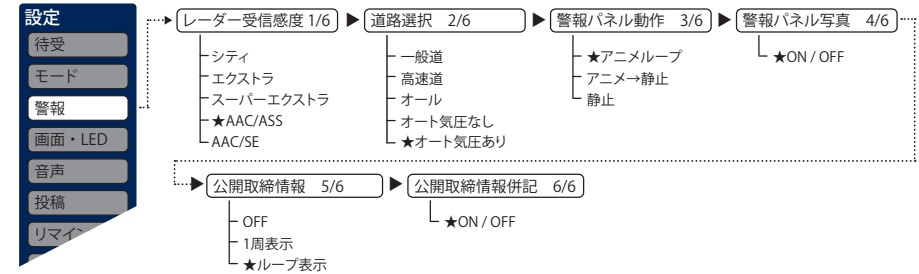
- 「お好みモード選択機能の設定でマニュアルモードを選択した場合に設定内容が適応されます。



警報

設定メニューにそって、警報設定の各種設定変更ができます。

設定メニュー



設定項目の説明

<レーダー受信感度 1/5>

レーダー受信感度を選択できます。

- 受信感度が高いほど遠くの電波を受信できますが、取締りレーダー波と同じ他の電波も受信してしまいます。走行環境や条件に合わせて受信感度をお選びください。

「シティ」・「エクストラ」・「スーパーエクストラ」

	受信感度	走行環境や条件
高い	スーパーエクストラ	高速道路
↑	エクストラ	郊外や高速道路
低い	シティ	市街地

「AAC/ASS」

GPS測位機能 (本機が別売品のOBD IIアダプター(●P.14)で接続されている場合は、OBD II車速検知)によりAAC/不要警報カットやASS/最適感度選択がはたります。

● AAC/不要警報カット

走行速度が時速30km未満はレーダー波の受信警報をカットします。停車中や低速走行中に自動ドアなどの電波を受信しても誤警報することはありません。

● ASS/最適感度選択

走行速度に合わせて最適な受信感度を自動的に選択します。

[AAC/ASSの動作]

走行速度	受信感度	警報状態
0km~29km		警報しない
30km~39km	シティ	警報する
40km~79km	エクストラ	
80km~	スーパーエクストラ	

- 電源ON後、GPS測位するまでの間はスーパーエクストラになります。
- 走行中にGPS測位ができなくなると、常に「警報する」状態になり、時間経過でスーパーエクストラに変化します。(本機が別売品のOBD IIアダプター(●P.14)で接続されている場合を除く。)

「AAC/SE」

走行速度が時速30km未満はレーダー波の受信警報をカット（AAC）し、時速30km以上は受信感度がスーパーエクストラに固定されます。

「AAC/SEの動作」

走行速度	受信感度	警報状態
0km～29km		警報しない
30km～	スーパーエクストラ	警報する

〈道路選択 2/6〉

GPS 警報する道路を「一般道」「高速道」「オール」「オート気圧なし」「オート気圧あり」から選択することができます。

- ・GPS54識別警報のハイウェイオアシスは「一般道」に設定された場合もGPS 告知されます。

一般道	一般道のターゲットのみ警報します。
高速道	高速道のターゲットのみ警報します。
オール	一般道および高速道のすべてのターゲットを警報します。
オート気圧なし オート気圧あり	走行道路（一般道か高速道）をGPSの位置情報と気圧の変化で自動的に識別します。 一般道と識別できたときは一般道のターゲットのみ警報し、高速道と識別できたときは高速道のターゲットのみ警報します。 ・一般道と高速道が並行していたり交差している場所およびその周辺などで走行道路の識別が困難な状況では、一般道／高速道の両方のターゲットを表示・警報することがあります。 ・GPS測位が困難な状況では、正しく識別できない場合があります。 ・高速道を走行している時間が短い場合は、高速道に識別されないことがあります。 ・渋滞等により高速道で低速走行もしくは停車している場合は、高速道に識別されません。

〈警報パネル動作 3/6〉

警報時に表示される警報パネルの動作を設定できます。

- ・アニメループ ……警報パネルのアニメーションを警報終了まで繰り返します。
- ・アニメ→静止 ……警報パネルのアニメーションを行った後は、警報パネルの静止画を表示します。
- ・静止 ……警報パネルのアニメーションを行わず、警報パネルの静止画を表示します。

〈警報パネル写真 4/6〉

警報時に表示される警報パネルを表示した後に、「実写警報 REAL PHOTO」の表示を行うかの設定ができます。「ON」に設定すると、警報パネルを表示した後に実写警報パネルに切り替わります。「OFF」に設定すると、警報パネルを警報終了まで表示し、実写警報パネルに切り替わりません。

〈公開取締情報 5/6〉

公開取締り情報の表示方法を設定できます。レーダー・無線警報があるときは、警報が優先されます。[ループ表示]に設定時は、1周目はGPS 警報よりも優先して表示します。2周目以降はGPS 警報が優先されますが、[MUTE]をタッチするとGPS 警報と公開取締り情報の優先度が切り替わります。

- ・OFF ……情報表示エリアでも公開取締り情報を表示しません。音によるお知らせも行いません。
- ・1周表示 ……情報表示エリアであれば公開取締り情報を1周表示します。
- ・ループ表示 ……エリア内であれば、公開取締り情報を表示し続けます。

〈公開取締情報併記 6/6〉

警報と公開取締り情報を併記することができます。

- ・ON ……警報と公開取締り情報を2行で表示します。
- ・OFF ……警報と公開取締り情報を1行で表示します。



ON

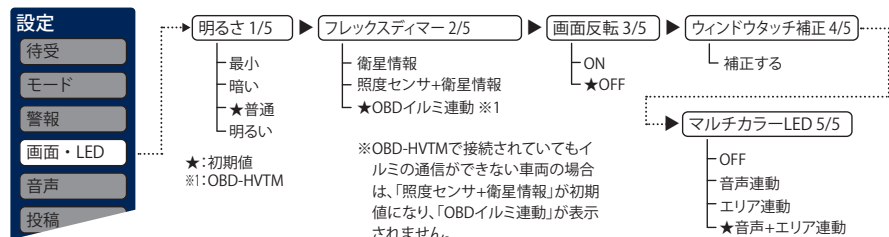


OFF

画面・LED 設定

設定メニューにそって、画面・LEDの各種設定変更ができます。

設定メニュー



設定項目の説明

〈明るさ 1/5〉

画面表示の明るさを「最小」「暗い」「ふつう」「明るい」の4段階で切り替えることができます。

〈フレックスディマー 2/5〉

画面明るさの「昼照度」「夜照度」を切り替えるために衛星による時間・位置で切り替えるか、周囲の明るさ[照度センサ]と衛星による時間・位置で切り替えるかを選択します。

※取付位置によっては、設定を「照度センサ+衛星情報」にした場合にフレックスディマーが常時作動することがあります。その場合は、取付位置を変更するか、設定を「衛星情報」にしてご使用ください。

〈画面反転 3/6〉

「ON」に設定すると、画面表示の上下を反転することができます。

〈ウィンドウタッチ補正 4/5〉

画面にタッチしたときの反応が悪い場合やズレがある場合、次の手順でタッチパネルを補正してください。

1. [タッチパネル補正]にタッチすると「ウィンドウタッチ補正」の画面が表示されます。画面に表示される[+]に爪先などでタッチしてください。
2. [+]位置が移動して表示されますので、それぞれの[+]位置をタッチしてください。
3. 補正が完了すると「ウィンドウタッチ補正終了」が表示され、[OK]をタッチすると設定画面に戻ります。

〈マルチカラーLED 5/5〉

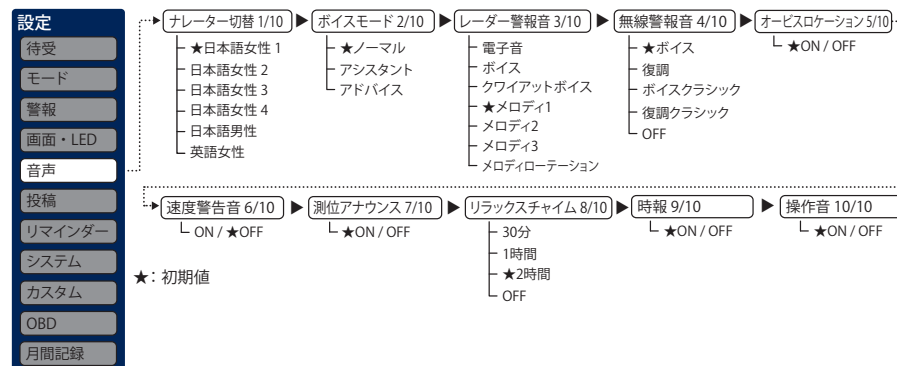
警報の種類によりLEDの色、明るさで警報をお知らせします。

OFF	警報時に一切点灯しません。
音声連動	警報の種類によって決まった色のLEDが点灯し、音の大きさに応じて明るさが変化します。
エリア連動	警報するターゲットからの距離、状況によって、各警報色のLEDを点灯します。優先度の高い警告が優先されます。ターゲットとの距離により点滅し、接近するにつれて点滅が速くなります。
音声+エリア連動	音声連動の光り方が優先され、音声連動の警告条件が成立しない場合は、エリア連動で光ります。音声連動、エリア連動両方の警告条件が成立しなかった場合は点灯しません。

音声設定

設定メニューにそって、音声の各種設定変更ができます。

設定メニュー



〈ナレーター切替 1/10〉

警告時やお知らせ時の口調を6種類から選べます。お好みに応じて選択してください。

日本語女性1～4 日本語男性 英語女性	お好みに応じて選択してください。
---------------------------	------------------

〈ボイスモード 2/10〉

ボイスモードを切り替えると本機のお知らせ内容を切り替えることができます。

ノーマル	従来のレーダー探知機と同様の警報を行います。
アシスタント	ノーマルに加え、「あいさつ」「ベストパートナー+(プラス)」「日没告知」「リマインダー告知」「オービスカウントダウン(残り距離400mから)」を追加します。
アドバイス	アシスタントに加え、「オービスカウントダウン(残り距離900mから)」「その他」を追加します。

※追加ボイスについて

- ・ベストパートナー+(プラス): 従来の電波受信での警報に加え、レーダー波・無線・GPSの複合で判断します。
- ・日没告知: GPSによって計算された日没時間になるとお知らせします。
- ・リマインダー告知: リマインダーを設定し、設定に到達したときに、画面とともに音声でもお知らせします。
- ・オービスカウントダウン: オービスに接近したときに、100mごとに残り距離をお知らせします。カウントダウン中に他の警報が発生した場合は、警報が優先されカウントダウンはスキップされます。
- ・あいさつ: 電源をONにし、GPSを測位したときに、時間や日付によりあいさつします。
- ・その他: 安全やエコに関するお知らせをします。
「照度低下告知(周辺が暗くなったとき)」
「エコドライブ告知(エコドライブのポイントが満点になったときや減点になったとき)」

〈レーダー警報音 3/10〉

レーダー波受信時の警報音を選択できます。

選択項目	警報のしかた
電子音	『ピッピッピッ…』という電子音で警報します。
ボイス	♪効果音のあとに、『スピード注意』とボイスで警報します。
クワイアットボイス	♪効果音のあとに、『レーダーです』と約10秒に1回ボイスで警報します。
メロディ1	オリジナルメロディ パターン1(メロディ1)で警報します。
メロディ2	オリジナルメロディ パターン2(メロディ2)で警報します。
メロディ3	オリジナルメロディ パターン3(メロディ3)で警報します。
メロディローテーション	レーダー波を受信するごとに、3曲のメロディアラーム(メロディ1→メロディ2→メロディ3の順)で警報します。

〈無線警報音 4/10〉

各種無線の警報を「ボイス警報」「復調」「ボイスクラシック」「復調クラシック」「OFF」の中から選択することができます。

・「OFF」に設定すると、すべての無線警報を行いませんのでご注意ください。

「ボイス」設定のとき

- ・各無線を受信すると、ボイスが1フレーズ鳴ります。
- ・30秒以内に同じ無線を受信した場合は、ボイスのお知らせはありません。
- ・ボイスが鳴っているときに、取締りレーダー波を受信した場合、レーダー警報が優先されます。

「復調」設定のとき

- ・各無線を受信すると、受信した音声を聞くことができ、受信終了後に無線ジャンルをボイスでお知らせします。
- ・30秒以内に同じ無線ジャンルを受信した場合は、ボイスによるお知らせを行わず、受信した音声のみ聞こえます。
- ・デジタル方式やデジタル信号での通信は、受信しても内容はわかりません。
- ・各無線交信は、数秒間で終わることが多いため、交信内容を完全に聞き取ることができない場合もあります。
- ・各無線を音声受信している場合に、取締りレーダー波を受信すると、両方の音が重なって聞こえます。
- ・カーロケ無線(●P.69)とベストパートナー6識別(●P.70)は、復調を行わず、ボイスによるお知らせのみとなります。

「ボイスクラシック」設定のとき

- ・各無線を受信すると、旧式電子音とボイスが1フレーズ鳴ります。無線の種類によって電子音の種類が違います。
- ・30秒以内に同じ無線を受信した場合は、ボイスのお知らせはありません。
- ・ボイスが鳴っているときに、取締りレーダー波を受信した場合、レーダー警報が優先されます。

「復調クラシック」設定のとき

- ・各無線を受信すると、受信した音声を聞くことができ、受信終了後に無線ジャンルを旧式電子音とボイスでお知らせします。
- ・30秒以内に同じ無線ジャンルを受信した場合は、ボイスによるお知らせを行わず、受信した音声のみ聞こえます。
- ・デジタル方式やデジタル信号での通信は、受信しても内容はわかりません。
- ・各無線交信は、数秒間で終わることが多いため、交信内容を完全に聞き取ることができない場合もあります。
- ・各無線を音声受信している場合に、取締りレーダー波を受信すると、両方の音が重なって聞こえます。
- ・カーロケ無線(●P.69)とベストパートナー6識別(●P.70)は、復調を行わず、旧式電子音とボイスによるお知らせのみとなります。

〈オービスロケーション 5/10〉

オービスの手前500mで目標物(交差点・バス停・陸橋・高速のキロポストなど)と、オービスの種類などのアナウンスをより安全でわかりやすく行います。

〈速度警告音 6/10〉

時速110km/hを超えると電子音で速度オーバーを警告します。GPSが非測位の時は警告できません。OBDⅡアダプターで接続した場合はGPSが非測位の時でも警告を行います

〈測位アナウンス 7/10〉

「測位アナウンス」のON/OFF が選択できます。ビルの谷間など衛星の電波の受信状態が良くない場合、『衛星を受信できません』『衛星を受信しました』と測位アナウンスをくり返すことがあります。電源をONにしたら、しばらく衛星を受信できない場合『衛星をサーチ中です』とお知らせします。

〈リラックスチャイム 8/10〉

安全運転をしていただくために、休憩を促す機能です。電源ON後、設定時間が経過するたびに『長時間運転しています 休憩しませんか?』とお知らせします。

〈時報 9/10〉

「ON」に設定すると、毎時、正時に時刻をお知らせします。「午前(午後)〇〇時です」。

〈操作音 10/10〉

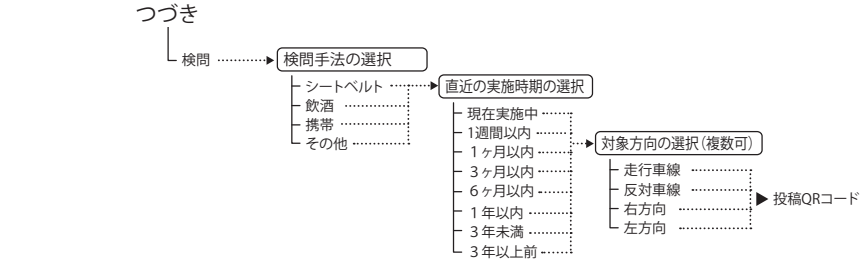
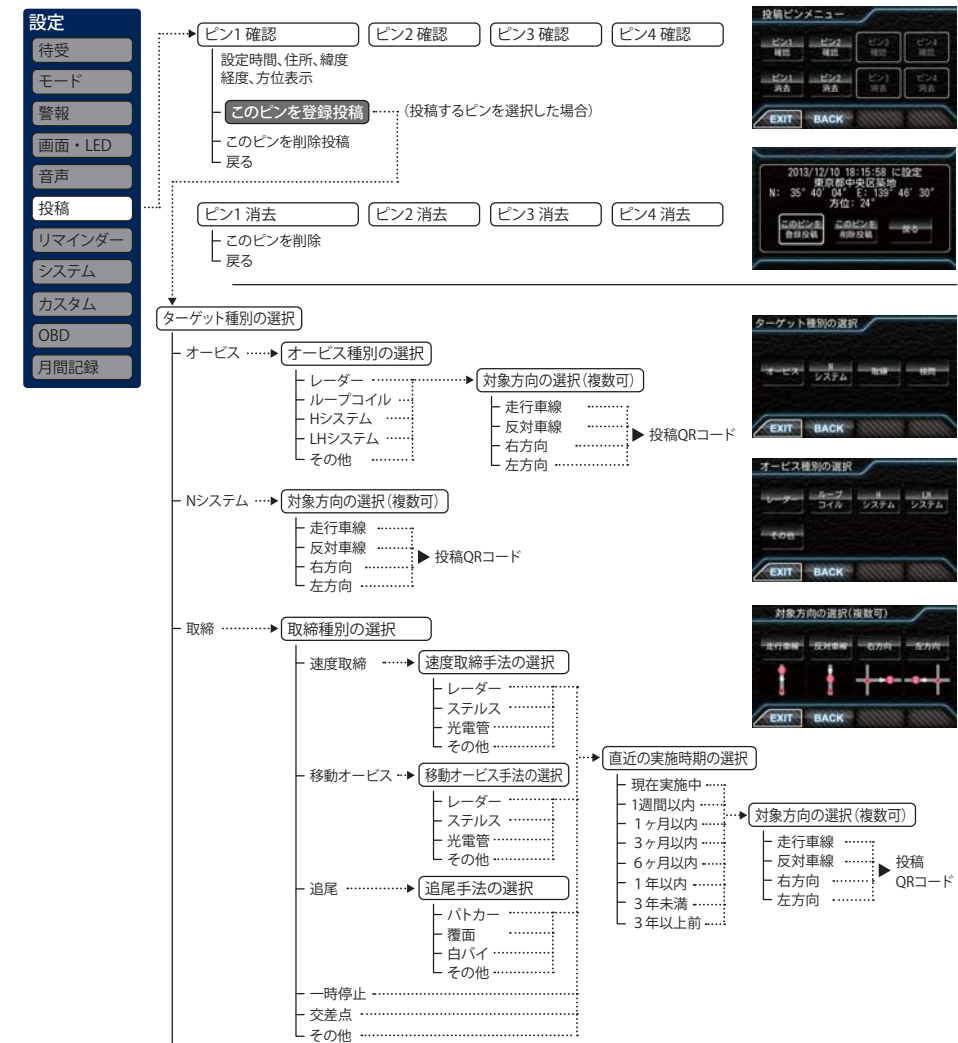
「ON」に設定すると、操作時の確認音が出ます。

投稿設定

投稿ピンメニューにそって、投稿のためのQRコードを表示できます。

投稿ピンメニュー

設定→投稿ピンメニューから投稿するピンを選択します。最大4ヵ所のピンが登録でき、それぞれ個別にピンを削除できます。登録されたピンの項目が有効になります。



〈投稿ピンメニュー〉

登録されているピンの項目が有効になっているので、投稿するピンの項目をタッチします。設定された日時、住所、緯度経度、方位が表示されます。「このピンを登録投稿」をタッチすると、投稿情報の編集画面に移動します。「このピンを削除投稿」は、以前取締り機があったが撤去された場合などに使用します。

〈ターゲット種別の選択〉

投稿するターゲットの種類を選び、項目をタッチします。

オービス	道路脇や道路上にカメラが固定・設置されている自動速度違反取締装置。
Nシステム	道路上に設置されている「自動車ナンバー自動読取装置」を指します。
取締	人が道路脇などに測定装置を設置して行う取締りや、車両に測定装置を積載しての取締り、車両による追走、現場で人による一時停止違反や交差点での信号無視などの取締り。
検問	すべての通行車両を停止させての検問や、特定の車両を停止させる検問など。

〈オービス種別の選択〉

オービスの種類を選択します。

レーダー	車両に向けてレーダー波を発射し、その反射波の周波数変化で速度を算出します。本機ではレーダー波を受信すると、「レーダー」と表示されます。
ループコイル	道路の中にループコイルが埋められていてその上を車両が通過する時間から速度を測定します。
Hシステム	車両に向けてレーダー波を発射し、その反射波の周波数変化で速度を算出します。レーダー波を発信する四角いアンテナが車線上に設置されています。
LHシステム	道路の中にループコイルが埋められていてその上を車両が通過する時間から速度を測定します。測定装置付近にバトランプが設置されています。
その他	上記に当てはまらない、またはよく分からない場合

〈対象方向の選択(複数可)〉

投稿するターゲットがどの方向に設置されていたかを選択します。

走行車線	自車の進行方向に向かって設置されています。
反対車線	自車の進行方向と反対方向(反対車線)に設置されています。
右方向	自車に対して右方向の道路に設置されています。
左方向	自車に対して左方向の道路に設置されています。

〈取締種別の選択〉

取締りの種類を選択します。

速度取締	歩道や道路脇などに測定装置を設置し、走行する車両に向けてレーダー波を発射し速度を測定する取締り。道路脇にパトカーを停車し、測定する場合もあります。
移動オービス	ワンボックス車などの車両に設置された測定装置により写真を撮影する取締り。
追尾	車両により、走行中の自車を追尾しての取締り。
一時停止	一時停止違反の取締り。
交差点	信号無視などの取締り。
その他	上記に当てはまらない場合。

＜速度取締、移動オービス手法の選択＞

- ・レーダー：レーダー波を用いた取締り
- ・ステルス：計測する瞬間だけ電波を発射する取締り
- ・光電管：道路の一定間隔に測定装置を設置し、通過時間により速度を算出する取締り
- ・その他：上記以外の手法による取締り

＜追尾手法の選択＞

追尾が行われた手法を「パトカー」「覆面（パトカー）」「白バイ」「その他」から選択します。

〈直近の実施時期の選択〉

取締りが行われていた時期を選択します。「現在実施中」「1週間以内」「1ヶ月以内」「3ヶ月以内」「6ヶ月以内」「1年以内」「3年未満」「3年以上前」から選択します。

〈検問手法の選択〉

検問の種類を選択します。

シートベルト	シートベルト検問。
飲酒	飲酒運転検問。
携帯	携帯電話検問。
その他	上記以外の検問。

〈投稿QRコード〉

QRコードの読み取り以外に、WLAN経由での投稿もできます。あらかじめ、接続先設定とMy Yupiteru ID、パスワードの設定が必要です。WLAN接続が確立していれば、[WLAN投稿]を選択するとサーバーへ接続し、投稿を行い、以下が表示されます。

成功：「投稿完了 投稿ありがとうございました」

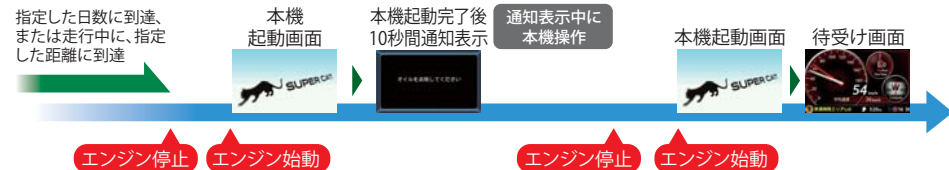
My Yupiteruにログインできないとき：「ID又はパスワードが違います」



リマインダー設定

設定メニューにそって、リマインダー設定の各種設定変更ができます。各項目について日数で通知をおこないます。OBD II アダプターで接続すると距離での通知が可能になります。通知は指定した日数、または距離到達後のエンジン始動時（本機起動後）に約10秒間、最大3回通知されます。通知が表示されている時に操作を行うと通知が消え、次回起動時に通知が表示されなくなります。ハイブリッド車でOBD II アダプターで接続した場合に、「オイル」「オイルエレメント」の項目は、エンジンが始動した状態で走行した距離によってリマインダー距離が計算されます。

●通知確認操作… 通知表示中に本機の操作をすると、3回通知前でも次回から表示されません。



設定メニュー

〈オイル〉〈オイルエレメント〉〈タイヤ〉〈バッテリー〉

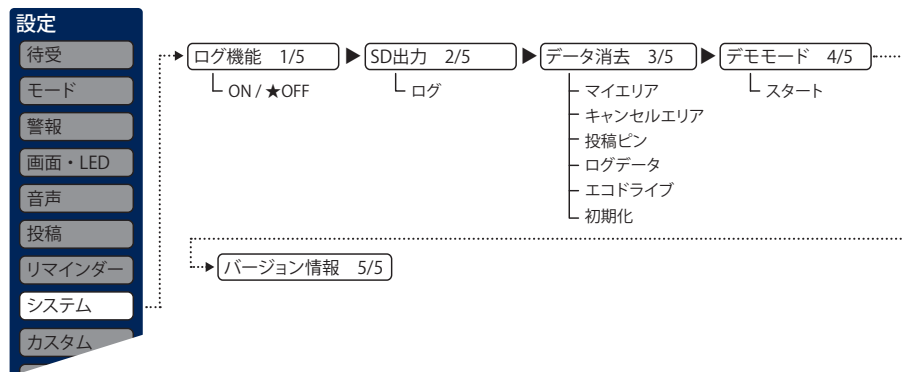
各項目について、設定した日数による通知が設定できます。OBD II アダプターで接続すると設定した距離による通知が可能になります。「0ヶ月」に設定するとOFFになります。（OBD II アダプターで接続した場合は「0 km」「0ヶ月」でOFFになります。）

- ・初期設定は「OFF」に設定されています。
- ・設定単位は、距離は1,000km単位、日数は1ヶ月単位になります。
- ・システム設定の「データ消去」→「初期化」を行うと設定した日数、距離もクリアされ、OFFになります。
- ・日数、距離を再設定した場合は、再設定した時点で通知前（通知中）の残り日数、残り距離はリセットされ、再設定後の日数、距離での通知になります。

システム設定

設定メニューにそって、システム設定の各種設定変更ができます。

設定メニュー



＜ログ機能 1/5＞

「ON」に設定すると、約21時間分の走行データを記録することができます。(●P.115)
※測位状況および走行の状況により異なります。

＜SD出力 2/5＞

ログ機能で記録した走行データを同梱品(レーダー探知機に装着済み)のSDカードにコピーします。
・スタートを選択するとコピーを開始します。

＜データ消去 3/5＞

「マイエリア」「キャンセルエリア(アイキャンセル・マイキャンセルエリア)」「投稿ピン」「ログデータ」「エコドライブ」のデータを消去・クリアすることができます。また、「初期化」すると、すべての設定項目をお買い上げ時の状態にリセットします。

- ・消去したい項目(マイエリア、キャンセルエリア、投稿ピン、ログデータ、エコドライブ)を選び、「はい」を選択するとデータが消去・クリアされます。
- ・いったん消去・クリア・初期化すると、元に戻せませんのでご注意ください。
- ・本機に登録されているオービス等のGPSデータが消去されることはありません。

＜デモモード 4/5＞

レーダー受信やGPS警報などの音声や画面表示を実演できます。

- ・スタートを選択するとデモモードが始まります。
- ・デモモード中に画面タッチするとデモモードは終了します。
- ・本機がOBD IIアダプター(●P.14)で接続されていない場合でも、OBD II関連の待受画面が表示されます。

＜バージョン情報 5/5＞

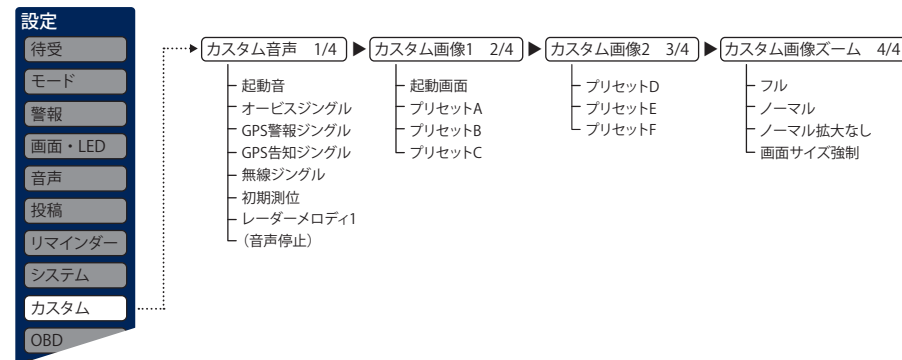
収録データの「オービスデータ」-「実写データ」-「公開取締情報」公開日-「リアルタイム配信」(投稿により収集された情報)-「地図データ」-「プログラム」(ソフトウェアのバージョン)が表示されます。

※公開取締り情報とリアルタイム配信はデータが入っていない場合空白になります。

カスタム設定

設定メニューにそって、カスタム設定の各種設定変更ができます。

設定メニュー



＜カスタム音声 1/4＞

起動時や各警報時などに流れる音をお好みの音楽などに変えることができます。再生中に音を停止するときは「音声停止」をタッチします。カスタム音声のON/OFF(緑ランプの点灯/消灯)を選択し、通常の音に戻せます。

「sound」フォルダの中に以下のファイル名で保存すると、それぞれの音として使用できます。

- ※再生できないファイルの場合は、ファイルが存在していても通常音になります。その場合は違うファイルでお試ください。
- ※保存するファイルは下記のファイル名、拡張子のルールに従ってください。下記以外のファイル名、拡張子では対応しません。ファイル名、拡張子はすべて半角文字にしてください。全角文字では再生できません。
- 例(起動音) : 1.mp3(「1」がファイル名、「.mp3」が拡張子になります)

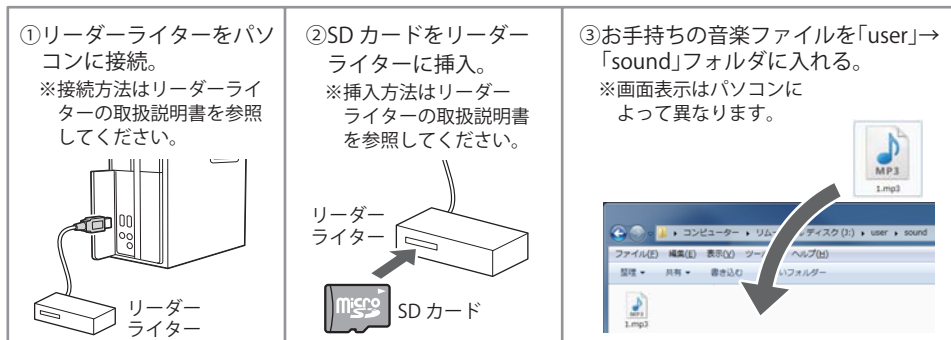
●保存ファイル名

- ・起動音 : 1.mp3(再生時間上限なし)
- ・オービスジングル : 2.mp3(再生時間上限15秒)
- ・GPS警報ジングル : 3.mp3(再生時間上限15秒)
- ・GPS告知ジングル : 4.mp3(再生時間上限15秒)
- ・無線ジングル : 5.mp3(再生時間上限15秒)
- ・GPS初期測位 : 6.mp3(再生時間上限15秒)
- ・レーダーメロディ : 7.mp3(再生時間上限なし)

※ステレオのファイルでもモノラルで再生されます。

※ファイルが存在するときはカスタム音声ON(緑ランプの点灯)になります。通常の音に戻すときは、緑ランプを消灯させてください。また、ON/OFF時にそれぞれの音がテスト再生されます。テスト再生を中止するときは「音声停止」を選択・決定します。

※起動音で設定した音楽ファイルは、起動時に曲の最後まで再生した後、通常のレーダー探知機の音声が始まります。レーダー受信警報やオービス警報など緊急なものは割り込んで警報します。割り込み警報があった時点で起動音の再生は停止します。



〈カスタム画像1 2/4〉〈カスタム画像2 3/4〉

「起動画面」「プリセット A～F」の背景画面が選択できます。画像ファイルの保存方法は「フォトフレーム」設定項目の説明をご覧ください。(P.79)

SDカードに保存した画像ファイルを削除したり、入れ替えたりした場合は、背景に設定されている画像が変更されることがあります。その場合は、再度画像を選択してください。

「起動画面」には4種類のオープニングムービーが収録されています。①季節(春夏秋冬で切り替わります)※初期値、②大メーター、③SUPER CATロゴ、④小メーター。
写真をオープニングにすることもできます。



「プリセット A～F」には4種類の背景画像が収録されています。

①黒※初期値、②革、③波、④黒木目

写真を背景にすることもできます。

※収録されている写真データ以外の写真を設定するには、あらかじめ同梱のSDカードに画像データを保存する必要があります。

〈カスタム画像ズーム 4/4〉

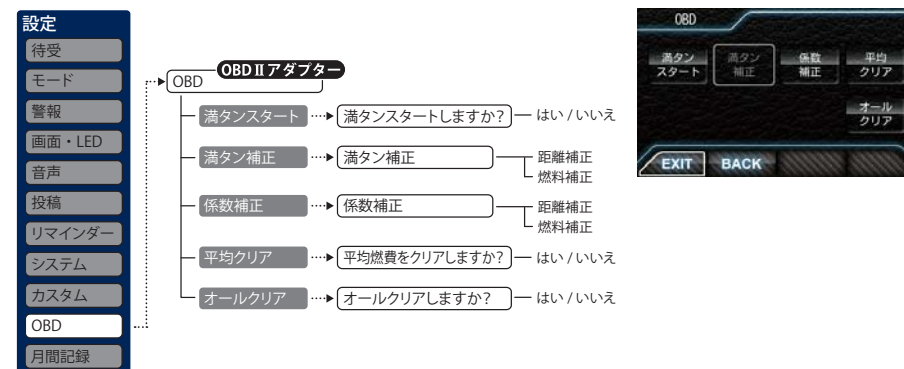
〈カスタム画像〉で背景にする画像を表示する時の表示サイズを選択できます。

- ・フル 写真の縦横比を保ったまま、画面が写真で埋まるように拡大・縮小します。
写真の縦横比が画面の縦横比と異なる場合、写真の上下もしくは左右がカットされます。
- ・ノーマル 写真の縦横比を保ったまま、縦もしくは横が画面サイズになるように拡大・縮小します。
写真の縦横比が画面の縦横比と異なる場合は、写真をすべて表示し、余白は黒い帯になります。
- ・ノーマル拡大無し 写真データのサイズが画面より小さい場合は、写真の拡大を行わずに、画面に表示し、白は黒くなります。写真データのサイズが画面より大きい場合は、縦もしくは横が画面サイズになるように拡大・縮小します。
- ・画面サイズ強制 写真データの縦横比が画面サイズと異なる場合でも、強制的に画面サイズに拡大・縮小します。そのため、画面の縦横比に合わせて、写真が縦長や横長になります。

OBD 設定

設定メニューにそって、OBD 設定の各種設定変更ができます。

設定メニュー



設定項目の説明

〈OBD〉

ご購入状態のままでは走行距離/給油量で計算した燃費(実燃費)と本機が表示する燃費に誤差が発生しています。「満タンスタート」「満タン補正」「係数補正」を行うことで、平均燃費数値の精度を高めることができます。また、「平均クリア」を行うと、画面内の平均燃費の数値をリセットし、「オールクリア」を行うと、本機内の OBD II アダプターから受け取った車両に関連する数値をリセットします。

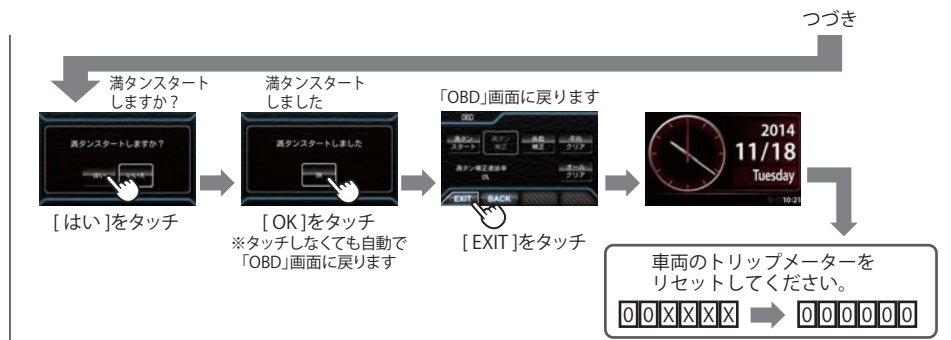
「満タンスタート」「満タン補正」

実走行による走行距離・給油量により燃費数値の精度を高めます。この手順で取得される補正係数は本機に自動登録されます。一度行えば、給油時に同じ手順を繰り返す必要はありません。

満タンスタート

満タン給油してください。 ※ 車両が静止した状態で操作を行ってください。





(※1): 燃料タンクの構造により給油停止後に油面が低下します。燃料の油面低下が止まった位置を覚えておいてください。(車両によっては下がり方が遅く、また低下が大きい場合があります。)

走行します ↓

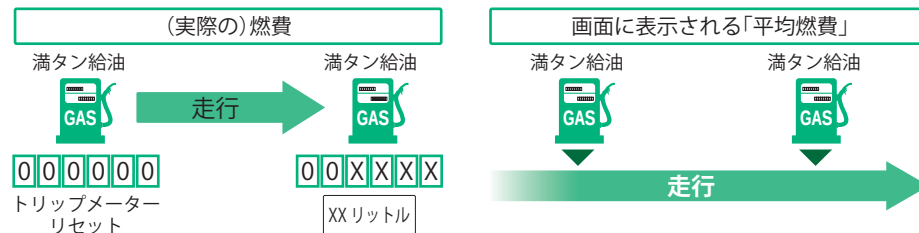
●200km～300km程度、無給油で走行してください。この間、適当な間隔で「OBD」画面をご確認いただき、満タン補正進捗率が100%になり「満タン補正」アイコンが点灯するまで走行してください。(点灯したまま長く走れば、それだけ補正精度が向上します。)



満タン補正



●実際の燃料給油量と走行距離から計算した(実際の)燃費と画面の「平均燃費」は、計算を行う方法が異なりますので、必ず一致するものではありません。



「係数補正」

係数補正は、燃費計算を行う上で本機内の係数となります。この画面に表示される「距離係数」と「燃料係数」をメモしておくことにより、「オールクリア」をした後でもこれまでの燃費計算に戻すことができます。

また、すでにOBD IIアダプター対応の弊社製品をお使いの場合、違う機種に買い替えた場合など係数補正を行うことにより「満タンスタート・満タン補正」が不要になります。

※あらかじめ「満タンスタート・満タン補正」を行って正確な補正係数を取得している場合に限りです。

※他社製品に表示されていた、雑誌等に掲載されていた、ネットに掲載されていたなどの数値を入力した場合、正常な表示・演算がされないことがあります。

<係数補正手順>

1. 「係数補正」を選択します。
2. 「距離係数」と「燃料係数」の数値を入力します。
3. 「OK」を選択すると補正が完了し、画面が元に戻ります。



「平均クリア」

平均クリアは、画面内の「平均燃費」の項目をリセットすることができます。

「満タン補正」の直後に行くと、これまでの平均燃費がクリアされることによって、新たに計算を開始させることができます。(平均クリアを行っても補正係数はクリアされません。)

「オールクリア」

オールクリアは、OBD IIアダプターから受け取った車両に関連する本機内の数値をリセットします。(車両側OBD IIに影響はありません。)

オールクリアを行うと、燃費の補正係数もクリアされるので、「満タンスタート・満タン補正」または「係数補正」を行う必要があります。行わないと正確な燃費が表示されません。そのため、オールクリアを行う前に、係数補正の画面で距離係数と燃料係数を確認し、メモしておくことをおすすめします。

※オールクリアを行い、初期値となった数値を元に戻すことはできませんので、ご注意ください。

月間記録設定

OBD II アダプターで接続すると、一回の運転ごとの日付、運転開始時刻、燃費が自動的に記録され、後から確認できます。月間のトータル走行距離や、月間の平均燃費も確認できます。

設定メニュー



〈月間記録データ 1/3〉

[月間記録]を選択すると、その月の月間記録データが表示されます。
[Googleカレンダー]で、手動でGoogleカレンダーに月間記録を登録できます。(P.113)

[前月]、[翌月]でデータの表示月を変更することができます。

詳細を選択すると、月の記録データの詳細が表示されます。ひと月に記録できる件数は、最大2,000件です。

●詳細表示



〈月間記録 ON/OFF 2/3〉

月間記録のON/OFFが設定できます。



〈月間記録削除 3/3〉

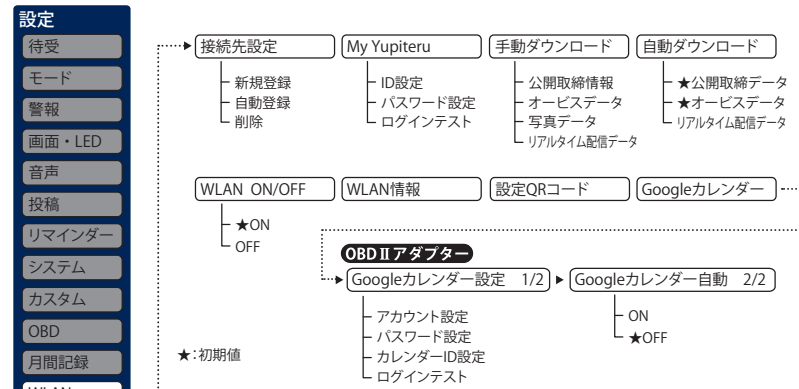
記録された月間記録を削除できます。



無線LAN(WLAN)設定

本機能は別売品の「無線LAN機能付 SDカード(OP-WLSD08)」をご購入いただき、本機にあらかじめ装着されている、SDカードアダプター(microSDカード)と入れ替えてご使用ください。
別売品の「無線LAN機能付 SDカード(OP-WLSD08)」を装着しないと、[WLAN]は表示されません。

設定メニュー



ダウンロード項目	ダウンロード制限	手動	自動
公開取締情報	制限なし	○	○
オービス/コンテンツデータ	My Yupiteru有料会員のみ(要機種登録)	○	○
写真データ	My Yupiteru有料会員のみ(要機種登録)	○	—
リアルタイム配信データ	制限なし	○	○
WLAN経由の投稿	My Yupiteru会員	○	—

●WLANで接続している場合
メッセージウィンドウにアイコンが表示されます。



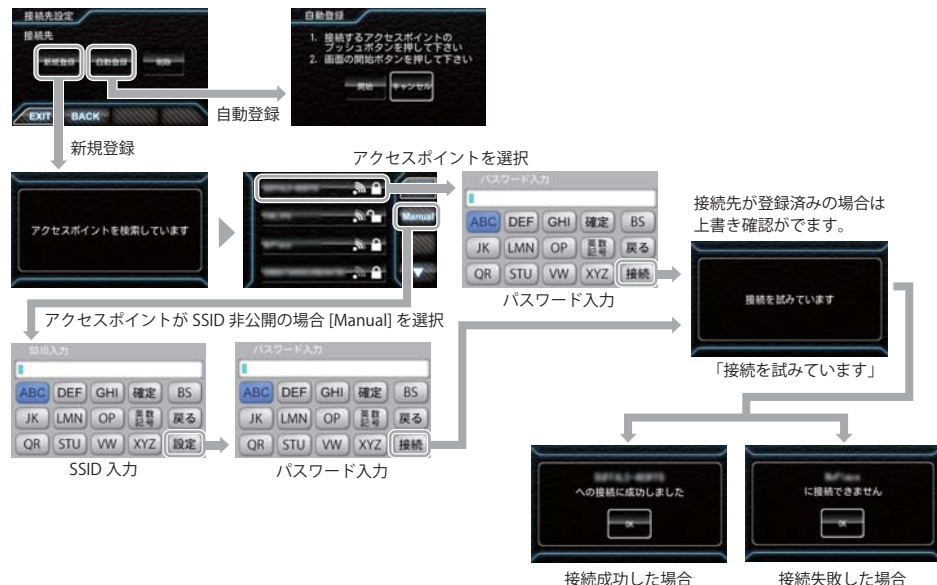
〈接続先設定〉

接続先は8件まで登録できます。
一度設定しておけば、以降は自動的に接続が行われます。
[接続先設定]で「接続先設定」メニューを表示します。

●接続先の登録

本機にWLAN機器(接続先)を登録するには、2種類の方法があります。いずれかの方法で登録してください。

- ・新規登録(パスワード認証)
- ・自動登録(プッシュ認証)



■パスワード認証で接続先を登録するには、以下の方法で接続します。

手順

[新規登録]を選択で「アクセスポイント検索」表示になり、受信可能なアクセスポイント (SSID) が表示されます。
 接続するアクセスポイントを検索すると「パスワード入力」画面になり、パスワードを入力します。
 接続に成功すると「成功しました」と表示され、使用可能になります。接続に失敗した場合は再度お試しください。
 アクセスポイントがSSID 非公開の場合は、[Manual]を選択し、SSIDとパスワードを入力します。

■プッシュ認証で接続先を登録するには、以下の方法で行ってください。

プッシュボタン (PBC) 認証モード

手順

1. 無線LANアクセスポイントのプッシュボタンを押す。
2. 一定時間内に本機画面内の[自動登録]を選択して、画面表示の要領で[開始]を選択する。
3. 設定が成功したら、「設定が完了しました」と表示します。一定時間経過、またはその他エラーが発生した場合は「設定ができませんでした」と表示されます。

●接続したくない接続先がある場合は、[削除]で削除してください。

本機メニュー[初期化]では接続先は削除されません。

本機では、ログインが必要な無線LANサービス用のアクセスポイントに接続はできても、無線LANサービスへのログイン画面表示および入力ができないため、通信することはできません。

〈My Yupiteru アカウント設定〉

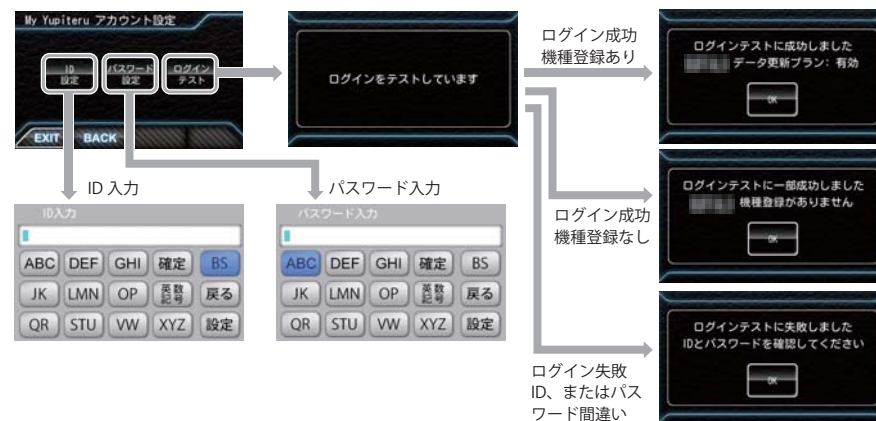
ID、パスワードを入力して、My Yupiteruにログインします。

[ID設定]でIDを入力、[パスワード設定]でパスワードを入力し、WLANの接続が確立した状態で[ログインテスト]を選択します。

機種登録があっても、無料会員の場合は、(機種名)データ更新プラン：無効と表示されます。

※ My Yupiteruのアカウント登録は、あらかじめパソコンなどを使用して行っておく必要があります
 本機での登録は行えません。

※ [オービスデータ][写真データ]のダウンロードには、「My Yupiteruのアカウント」、「Ittyクラブのプラン加入」、「機種登録」が必要です。詳しくは弊社ホームページをご覧ください。



※ 本機を廃棄したり、人に譲ったりする際など、ID・パスワードを削除したい場合は、[BS]で文字を全部消去して[設定]を選択してください。ID・パスワードが残ったままだと、悪用される恐れがあります。

〈手動ダウンロード〉

各項目でダウンロードを行います。

My Yupiteru IDとパスワードが設定されていない場合は、[オービスデータ]と[写真データ]が押せません。写真データはデータ量が大きいので、ダウンロードに時間が掛かります。写真データのダウンロードは手動ダウンロードのみ可能です。

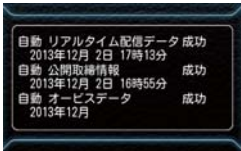
※ ダウンロード中に電源を切ることは避けてください。



〈自動ダウンロード〉

あらかじめ、ダウンロードする項目を設定しておくことで、WLAN接続が確立されていれば、電源ONのたびに、ダウンロードサーバーに最新のデータの有無を確認し、最新のデータがあればダウンロードを行います。WLAN接続が確立されていれば、最初のデータ確認から30分ごとに自動的にダウンロードサーバーに最新データの有無を確認し、最新のデータがあればダウンロードします。

自動ダウンロード中は、警報を行いません。



- My Yupiteru IDとパスワードが設定されていない場合は[オービスデータ]が選択できません。
- 自動ダウンロードが終了し、本機にデータが取り込まれるとデータの情報を表示し、自動的に通常の画面に戻ります。

〈WLAN ON/OFF〉

WLANの機能をOFFにしたいときに使用します。初期値はONです。

〈WLAN 情報〉

WLAN情報を表示します。

- 接続先 : 現在接続しているアクセスポイント名(SSID)
チャンネル : 現在接続しているチャンネル
受信強度 : 現在の受信強度
セキュリティ : 現在の接続のセキュリティが有効か無効かを表示
IPアドレス : 本機に割り当てられているIPアドレス
MACアドレス : 本気無線LANの物理アドレスを表示します。
(OP-WLSD08の裏面にも「MAC : 」の後ろに記載されています。
アクセスポイントでMACアドレスによる制限を設定してある場合は、この値をアクセスポイント側で許可してください。



〈設定QRコード〉

本機とスマートフォンがテザリングで接続されているか、または同じ無線LAN親機でネットワークに接続されていれば、スマートフォンから本機の設定ができます。



レーダー設定画面



VIEW(☛P.36)



待受け(☛P.74)



モード(☛P.82)



警報(☛P.87)



音声(☛P.91)



画面・LED(☛P.90)

■スマートフォンで設定する場合は、以下の方法で行ってください。
手順

- 1.「WLAN」画面の[設定QRコード]をタッチする。
WLAN接続されていない場合は「ネットワークに接続していません」と表示されます。
- 2.表示された設定QRコードをスマートフォンで読み込む。
ブラウザが開き自動的に本機の設定が読み込まれます。
- 3.レーダー設定画面で設定をする。
表示される項目名、設定内容は本機と同様になります。



4. 本機に設定を反映する。

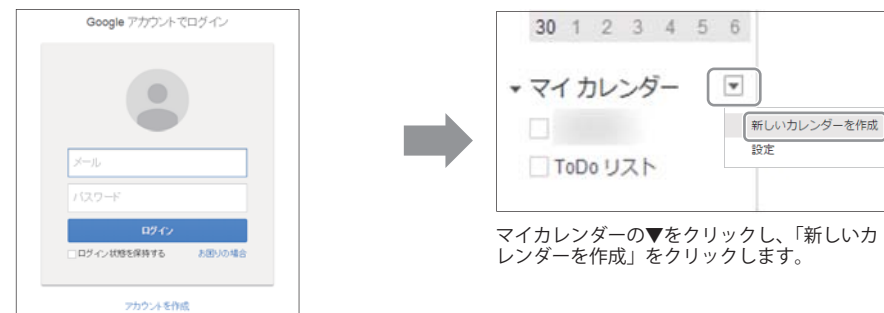
設定終了後、「設定の転送」をタッチし、「はい」をタッチすることで本機に設定を反映させます。

- 「設定の読み込み」をタッチし、「はい」をタッチすることで現在スマートフォンでの設定を破棄し本機の設定を読み込むことができます。

〈Googleカレンダー〉〈Googleカレンダー設定 1/2〉

月間記録を Google カレンダー に記録できます。

登録されるデータは、運転開始日時、運転終了日時、距離、燃費、緯度、経度になります。



Google にログインします。



カレンダー名を「月間記録」にし、「カレンダーを作成」ボタンをクリックします。
※カレンダー名はご自由に登録できます。

月間記録の▼をクリックし、「カレンダー設定」をクリックします。

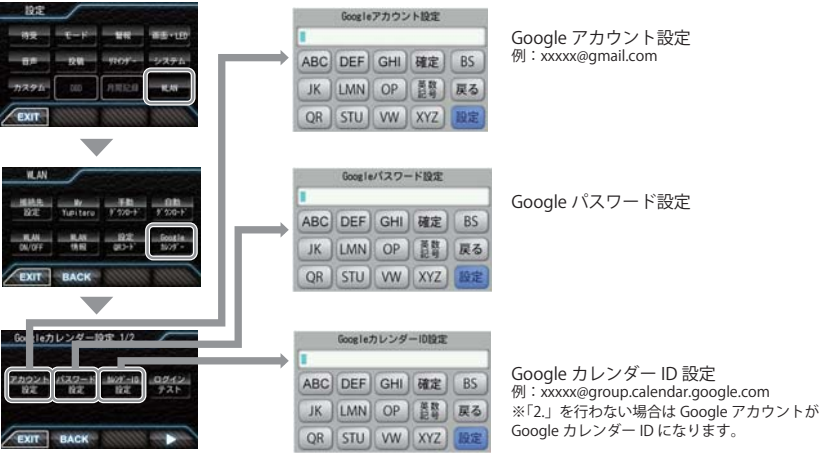


※本機の登録が必要になります。

■ Google カレンダー の設定を以下の方法で行ってください。

準備

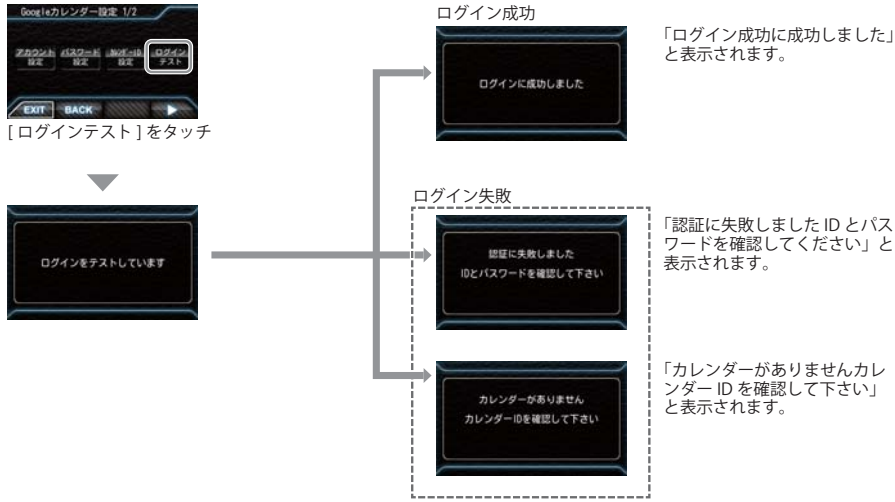
1. Google のアカウントを作成し Google アカウントと Google パスワードを取得する。
※ 月間記録用にカレンダーを追加せず、既存のカレンダーを使用する場合、「2.」は必要ありません。
2. Google にログインして Google カレンダー ID を取得する。



3. Googleアカウント、Googleパスワード、GoogleカレンダーIDを本機に設定する。
※ Googleアカウント設定で入力すると、GoogleカレンダーID設定にも反映されます。

●ログインテスト

ログインテストでGoogleカレンダー設定の確認ができます。



※ ログイン失敗の場合は表示画面に従い、確認してください。
※ Googleのセキュリティの設定を確認してください。(P.124)

〈Googleカレンダー自動 2/2〉 OBDIIアダプター

「ON」に設定すると、月間記録を自動でGoogleカレンダーに登録できます。

※ 月間記録はGoogleアカウント、Googleパスワード、カレンダーIDが本機に設定されていない場合はGoogleカレンダーに登録できません。(P.111)



●月間記録を手動でGoogleカレンダーに登録する

※ 月間記録はGoogleアカウント、Googleパスワード、GoogleカレンダーIDが本機に設定されていない場合はGoogleカレンダーに登録できません。(P.111)



● 月間記録データを登録済みの場合は「すでに登録済みです」と表示されます。

今すぐ地図表示サービス(無料)

レーダー探知機に表示させたQRコードをバーコードリーダー機能付携帯電話で読み取ると、携帯電話に周辺の地図を表示します。

- ・通信料は有料ですので、お客様のご負担となります。
- ・バーコードリーダー機能付携帯電話で、インターネットを利用できる環境であることが条件となります。
- ・一部の携帯電話では、QRコードの読み取りや地図データを表示できない場合があります。

●今すぐ地図表示サービスの流れ

- ① 待受画面をタッチし、ジャンプウィンドウを表示させ[MEMORY]をタッチ、[ity.MAP]をタッチしQRコードを表示させます。
- ② バーコードリーダー機能付携帯電話でQRコードを読み取り送信する。



携帯電話に周辺の地図や情報が表示されます。

地図閲覧サービス(無料)

携帯電話やパソコンで専用サイトにアクセスし、緯度・経度や郵便番号、住所を入力すると、周辺の地図を表示します。

- ・通信料は有料ですので、お客様のご負担となります。
- ・インターネットが利用できるパソコンが条件となります。
- ・一部の携帯電話では、地図データを表示できない場合があります。

●地図閲覧サービスの流れ

- ① 携帯電話専用サイトにアクセスする。
<http://www.yupiteru-itymap.com/>
- ② 待受画面をタッチし、ジャンプウィンドウを表示させ[MEMORY]をタッチ、「ity.MAP」をタッチして緯度(N)・経度(E)を表示させる。
- ③ 携帯電話に緯度(N)・経度(E)を入力する。



携帯電話に周辺の地図や情報が表示されます。



●PC専用サイト

<http://www.yupiteru-itymap.com/pc/>

詳しくは、弊社ホームページ「ity. MAPサービス」(<http://www.yupiteru.co.jp/map/itymap.html>)をご覧ください。

ログ機能[特許出願中]

ログ機能をONに設定すると、走行データ(約20.5時間分)をレーダー探知機に記録します。記録したデータは、同梱品(レーダー探知機に装着済み)のSDカードにコピーし、パソコンで走行軌跡を確認することができます。

パソコンで走行軌跡を確認するには以下の環境や条件が必要になります。

※下記以外のパソコン環境や地図ソフト、市販のデータロガーでの動作確認は行っておりません。

※走行軌跡はパソコン上の地図や地形とずれることがあります。

※測位状況および走行の状況によりログ記録時間は異なります。

●下記の条件を満たしたインターネットに接続可能なパソコン。

- ・OS
 - ・Microsoft Windows 7 (32bit版/64bit版)、Vista (32bit版/64bit版)、XP (32bit版) ※64bit版は未対応、2000。
- ・.NET Framework2.0以上がインストールされていること。 .NET Framework2.0以上がインストールされていない場合は、Microsoft社のホームページよりダウンロードしてください。

●ご用意いただくもの。

- ・SDカードリーダー(4GB対応のもの)
- ・GoogleよりGoogle Earthをダウンロードしてください。
- ・弊社ホームページ(<http://www.yupiteru.co.jp>)をご参照の上、オリジナルログデータ変換ソフト(YP_LogData-Convert.exe)をダウンロードしてください。

1. ログ機能をONにする

ログ機能をONに設定(●P.115)すると走行データが記録されます。

- ・非測位時、時速10km未満の場合は記録されません。
- ・ログの残量表示は[設定]→[システム]→[ログ機能]の画面下にパーセント表示されます。
- ・記録容量が100%になった場合は、自動的にログ機能をOFFにし、100%の表示を残します。
- ・記録容量が100%になっている場合は、ログ機能をONにすることはできません。
- ・ログ機能ON中は常に走行データを記録します。
日時別の保存や管理は行っておりません。
- ・記録容量が100%になり、ログ機能がOFFになっても、データ消去(●P.98)を行うまで、100%の表示は残ります。
- ・走行記録を消去する場合は、データ消去(●P.98)を行ってください。また必要に応じ、事前に下記の手順でSDカードにコピーを行ってください。

2. 走行データをSDカードにコピーする

レーダー探知機で操作を行ってください。

- ① 待受画面をタッチし、ジャンプウィンドウを表示する。
- ② [設定TOP]をタッチし、「設定」画面の[システム]をタッチします。
- ③ 「▶」をタッチし、「SD出力」画面にします。
- ④ 「ログ」をタッチします。

<コピー中の画面>



- ・SDカードへコピーを行ったあとも、走行データを記憶しています。走行データを消去する場合は、「データ消去」を行ってください。(P.92)

3. パソコンで走行軌跡を確認する

- ① 走行データをコピーしたSDカードをパソコンに接続する。
- ② YP_LogDataConvert.exe(ユピテル ログデータコンバート)を起動する。
パソコン画面の「開く」ボタンをクリックし、SDカードの走行データ(*.Log)を選択する。
- ③ 「変換」ボタンをクリックし、お好みのファイル名と保存先を指定し、保存する。
- ④ 保存したファイルを開くと、Google Earthの画面に走行軌跡が表示されます。

※ 走行軌跡はパソコン上の地図や地形と必ずしも一致しません。ずれて表示されることがありますのでご了承ください。

- ・走行軌跡の確認後は、SDカードをレーダー探知機に装着してご使用ください。(P.29)
- ・必要に応じ、SDカード内にコピーした走行データ(*.Log)を削除する場合は、他のデータを削除しないようにご注意ください。

オービス・取締り系&コンテンツデータ更新

パソコンでのダウンロード、SDカードをお送りするお届けプラン、本体お預かり更新サービスで本機のオービス・取締り系&コンテンツデータの更新を行っていただけます。

各種更新サービスについての詳細は下記ホームページを参照ください。

<https://ity.yupiteru.co.jp/>

パソコンでのダウンロード、SDカードをお送りするお届けプランをご利用の際には、下記ホームページよりご利用の機種を選択のうえ、お申込み手続きを行ってください。

ity.クラブ / POWERED BY Yupiteru
<https://ity.yupiteru.co.jp/>

電話でのお問い合わせは下記フリーコールをお願いします。

◆ユピテル ity.クラブ 窓口

受付時間 9:00 ~ 17:00 月曜日 ~ 金曜日(祝祭日、年末年始等、当社指定期間を除く)

☎ 0120-998-036

本機お預かり更新サービスをご要望される場合は、お買い上げの販売店、または、お客様ご相談センターにご依頼ください。

故障かな？と思ったら

つづく

修理をご依頼になる前に、もう1度次のことをご確認ください。それでも異常や故障と思われるときは、お買い上げの販売店、または弊社ご相談窓口にご相談ください。

故障かな？

電源が ON にならない

- 電源スイッチが ON になっています。 12
- シガープラグコードが外れていませんか。 —
- シガーライターソケットの内部が汚れて、接触不良をおこしていませんか。
2 ~ 3 回左右にひねりながらシガーライターソケットに差し込み直してください。 —
- シガープラグコード内部のヒューズが切れていないか確認してください。切れている場合は、同じ容量の新しいヒューズと交換してください。 27
- 同梱品の SD カードアダプタ (microSD カード) を装着していますか、または抜けかけていませんか。
本機は同梱品の SD カードアダプタ (microSD カード) が入っていないと起動しません。 29
- 初めて OBD II アダプター (OBD12-M、OBD-HVTM) を車両に取り付ける場合は、本機の起動に数分かかることがあります。 —

電源が OFF にならない

- シガーライターソケットの電源が、イグニッションの ON/OFF と連動して ON/OFF しない車があります。このような車では、エンジンを止めても、シガーライターソケットに電源が供給されますので、本機の電源スイッチで電源を OFF にしてください。 12
- シガーライターソケットの電源が、イグニッションの ON/OFF と連動して ON/OFF される車でも、OBD II アダプター取り付け時はイグニッションの OFF から本機の電源が OFF になるまでに数秒から数十秒かかります。OBD II アダプターで接続した場合は、本機の電源スイッチで電源を OFF にしないでください。 33

OBD II 接続中に突然電源が OFF になった

- OBD II アダプターのコネクタが外れていないか確認してください。
車両の振動等によってコネクタが緩むことがあります。 28

何も表示しない

- 「マナーモード」になっていませんか。
待受画面をタッチしてジャンプウィンドウを表示させ、[VOL▲] をタッチして解除してください。 34
- 待受画面の設定が「OFF」ではありませんか。待受画面をタッチしてジャンプウィンドウを表示させ、[VIEW] をタッチして待受画面を変更してください。 36

画面が常に暗い

- フレックスディマーの設定で「照度センサ+衛星情報」に設定すると、設置場所によっては常にフレックスディマーが作動する場合があります。その場合は、取付場所を変更するか設定を「衛星情報」にしてご使用ください。 —

音が出ない

- 音量「0」になっていませんか。音量を調節してください。 34

警報がおかしい？

レーダー警報しない	
●電源が入っていましたか。	👉12
●取締りレーダー波が発射されていましたか。計測する瞬間だけ電波を発射するステルス型や、取締り準備中あるいは終了後などで、スピード測定装置から取締りレーダー波が発射されていないことがあります。	👉30
●マイキャンセル登録したエリアではありませんでしたか。	👉73
●アイキャンセルされていませんか。	👉85
●受信感度モードが「AAC/ASS」または「AAC/SE」の場合、時速 30 km 未満のときは警報しません。	👉87
●「マナーモード」になっていませんか。 待受画面をタッチしてジャンプウィンドウを表示させ、[VOL▲] をタッチして解除してください。	👉34
GPS 警報しない	
●GPS 測位していましたか。	👉9
●新たに設置されたオービスなどのターゲットではありませんか。	—
取締りもしていないのに警報機能がはたらく	
●取締りレーダー波と同じ電波が他にも使用されています。それらの電波を受信すると警報機能がはたらくことがあります。故障ではありませんので、ご了承ください。	—
取締りレーダー波と同じ電波を使用している主な機器 電波式の自動ドア、防犯センサー / 信号機の近くに設置されている車両通過計測器 / NTT のマイクロウェーブ通信回路の一部 / 気象用レーダー、航空レーダーの一部 / 他のレーダー探知機の一部 まれに他の無線機の影響を受けることがあります。その場合は取り付け位置を変えてみてください。	
警報の途中で警報音が小さくなる	
●レーダー波の受信が約 30 秒以上続くと、警報音が小さくなります。(オートクワイアット)	👉62
一般道を走行中に高速道のターゲットを GPS 警報する	
●「道路選択」の設定を「オール」でご使用の場合は、一般道と高速道の両方のターゲットを警報します。	👉87
●一般道と高速道が並行していたり、交差している場所およびその周辺などで走行道路の識別が困難な状況では、一般道 / 高速道の両方のターゲットを表示・警報することがあります。	—
●ハイウェイオアシスは、「一般道」に設定された場合も GPS 告知されます。	—
ひんぱんに無線警報する	
●放送局や無線中継局、携帯電話の基地局などが近くにある場合、強い電波の影響や周囲の状況により、受信状態になることがあります。また、取り付けた車やカーナビの画面、カーオーディオなどから強い電波が放射している場合があります。	—

警報がおかしい？（つづき）

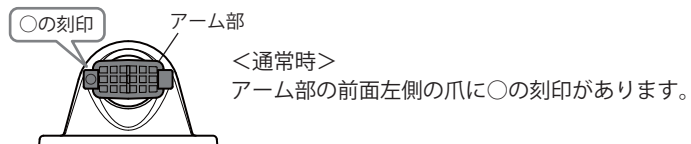
取締り現場なのに 350.1MHz を受信しない	
●「取締無線」を「ON」に設定していましたか。	👉84
●取締り現場での連絡が無線方式で行われていましたか。連絡には 350.1MHz の電波を使った無線方式の他に、有線方式の場合もあります。	—
誤警報がキャンセルされない	
●「アイキャンセル」の設定は「ON」になっていましたか。	👉85
●スペシャルモードになっていませんか。スペシャルモードは「アイキャンセル」の設定を「ON」にすることができません。	👉82
●GPS 測位していましたか。	👉9
●新 H システムやレーダー式オービスが近くにありませんでしたか。	—
●取締エリア、またはマイエリア登録したエリアではありませんか。	—
その他	
地図にズレがでる	
●GPS 測位していましたか。障害物や遮蔽物の無い、視界の良い場所へ移動してみてください。	—
●マーク・名称が重なって表示されることがありますが、故障ではありませんので、ご了承ください。	—
速度表示が車両の速度計と異なる	
●車両の速度計は、実際より数値が高く表示される（プラス誤差）傾向があります。 ※OBDⅡ接続の場合でも車両の速度計とは一致しません。 ※補正機能はありません。	—
OBDⅡ 接続時に表示される待受画面の一部が表示されない	
●車種によって、待受画面の一部の項目が表示されない場合があります。 (車種別の適応については、販売店または弊社ホームページでご確認ください。)	—
OBDⅡ 接続時にスロットル開度が、アイドリング中でも 0%にならない	
●車種によって、「スロットル開度」はエンジンがアイドリング状態でも表示が 0%にならないことがあります。	👉45
OBDⅡ 接続時に待受画面の項目の内容が、車両のメーターと異なる	
●車種によって、表示する内容は純正メーターの数値やタイミングと異なる場合があります。	—
Google カレンダー設定のログインテストに失敗する	
●Google アカウントを新規で作成した場合、セキュリティの「安全性の低いアプリのアクセス」の設定が「無効」になっている場合があります。	👉124

ダッシュボード取り付け用ブラケットについて

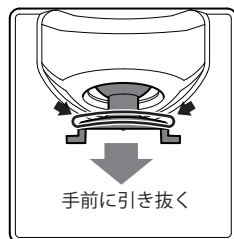
ダッシュボード取り付け用ブラケットの、アーム部の取り付け・取り外しの方法です。

警告

❗ 取り付け時のブレ防止のため、取り付けは固くなっています。ケガやブラケットの破損に、十分気をつけて行ってください。アーム部を取り外した際には、紛失に注意してください。

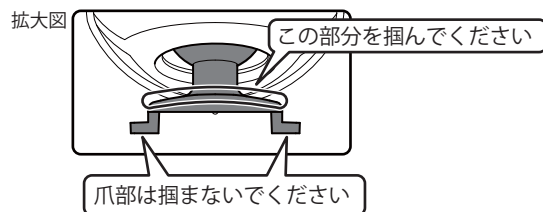


アーム部取り外し

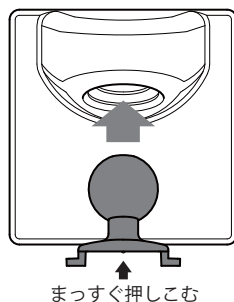


アーム部のツバの部分で布などで保護し、手前に引き抜きます。ラジオペンチなどを使用すると、簡単に抜けます。爪部を掴むと爪が折れる場合があります。

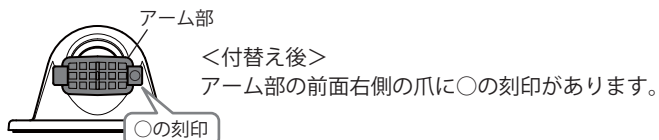
※必ず布などのやわらかいもので保護してください。破損の原因となります。



アーム部取り付け



アーム部を 180° 反転し、アーム部の中央をブラケットの穴に向かって、真っすぐに押し込んでください。



仕様

電源電圧	: DC 12V (マイナスアース車専用)	動作温度範囲	: -20℃～+85℃ (UHF/VHF 部: -10℃～+60℃)
消費電流	: 待機時: 190mA 以下 (無線 OFF 時) 最大: 370mA 以下	外形寸法	: [本機] 106 (W) × 60 (H) × 12 (D) mm [アンテナ部] 61 (W) × 21 (H) × 49 (D) mm (突起部除く)
受信方式	: [GPS 部] 32チャンネル/パラレル受信方式 [レーダー部] スweepオシレーター式ダブルスー パーヘテロダイナ方式	重量	: [本機] 約98g (接続ケーブル、SDカー ド含む) [アンテナ部] 約107g (接続ケーブル 含む)
測位更新時間	: 最短 0.2秒		
表示部	: 液晶ディスプレイ ワイド 3.6インチ		
受信周波数	: [GPS 部] 1.6GHz 帯 [レーダー部] Xバンド / Kバンド [UHF 部] 336～470MHz 帯 [VHF 部] 154～163MHz 帯		

※ この説明書に記載されている各種名称・会社名・商品名などは各社の商標または登録商標です。
なお、本文中ではTMや®などの記号を記載しない場合があります。

取扱説明書は随時更新されます。最新版の取扱説明書は当社ホームページにてご確認ください。
<http://www.yupiteru.co.jp/>

同梱品・別売品の追加購入について

- ・同梱品や別売品などを追加購入される際は、機種名とともに「XX (機種名) 用 ○○ (必要な部品)」で、製品購入店やお近くの弊社取扱店にご注文ください。
- ・当社ホームページでご購入頂けるものもございます。詳しくは、下記ホームページをご確認ください。

✧ Yupiteru スペアパーツ ダイレクト
<https://spareparts.yupiteru.co.jp/>

地図データベースについて

背景地図 (Top,Middle,Base)

- この地図の作成に当たっては、一般財団法人日本デジタル道路地図協会発行の全国デジタル道路地図データベースを使用しました。(測量法第 44 条に基づく成果使用承認 < 07-125P >)[2014 年 3 月発行データ使用]
- ©2009-2014 (一般財団法人) 日本デジタル道路地図協会
- ©2014 INCREMENT P CORP.

詳細背景地図 (City)

- この地図は小田原市長の承認を得て、同市発行の 1/2,500 国土基本図を使用したものである。(承認番号)小田原市指令第 52 号
- この地図は、養老町長の承認を得て、同町所管の 2500 分の 1 都市計画図を使用したものである。平成 12 年 養建第 1902 号
- この地図は、貴志川町長の承認を得て同町発行の 1/2,500 全図を使用し、調整したものである。(承認番号)平 10. 近公. 第 34 号
- この地図の作成に当たっては、知多市長の承認を得て、同市発行の 2,500 分の 1 都市計画基本図を使用したものである。(測量法第 44 条に基づく成果使用承認 平成 12 年度 知都発第 170 号)
- この地図は大木町長の承認を得て、同町発行の 5,000 分の 1 の地形図を使用し調整したものです。
- この地図は、堀金村長の承認を得て 1/2,500 の都市計画図を参照して作成したものです。
- この地図は東近江市長の承認を得て、同市発行の地形図 1/2,500 を使用し、調製したものである。(承認番号 東開第 111 号 平成 18 年 2 月 28 日承認)
- この地図は、伊香保町長の承認を得て平成 7 年度作成の 10,000 分の 1 の白図を使用し、調整したものです。(承認番号 伊建農発 229 号 平成 17 年 7 月 14 日承認)
- この地形図は、東京都都市整備局および東京デジタルマップの東京都縮尺 1/2500 地形図を使用して作成したものである。(承認番号:18 東デ共 041 号)
- この地図は、東京都知事の承認を受けて、東京都縮尺 2,500 分の 1 の地形図を使用して作成したものである。(承認番号) 18 都市基交 第 478 号
- この地図は、津山市長の承認を得て、同市所管の測量成果津山市都市計画 (1/2,500) を使用して調整したものです。(承認番号 平成 17 年津山市使用承認第 5 号)
- この地図は、宇部市長の承認を得て平成 13 年作成の宇部市域図を使用したものである。(承認番号) 指令宇都第 13 号 平成 18 年 5 月 15 日承認
- この地図は、宇部市長の承認を得て平成 13 年作成の宇部市域図を使用したものである。(承認番号) 指令宇都第 14 号 平成 18 年 5 月 31 日承認
- この地図は、周防大島町長の承認を得て、周防大島町管内図を使用したものである。
- この地図は、東かがわ市長の承認を得て、同市所管の測量成果である東かがわ市地形図 1/10,000 及び東かがわ市都市計画図 1/2,500 を使用して調整したものである。(承認番号平成 18 年 5 月 2 日 18 建第 107 号)
- この測量の成果は、東温市長の承認により、平成 17 年 3 月作成の東温市都市計画図を使用して得たものである。(承認番号 H18 東温 都第 174 号)
- この地図は秋田県知事の承認を得て森林基本図を複製したものである。承認番号 平成 19 年 3 月 7 日 指令水緑 -1258
- この地図は、山形県の森林基本図を複製したものである。承認番号森第 18-10 号
- この地図は長岡市長の承認を得て、同市所管の地形図 1/10,000 を使用して調整したものである。(長都政第 477 号 平成 18 年 3 月 28 日承認)
- この図面は山梨県が作成した測量成果をもとに作成したものです。使用承認 平成 19 年 3 月 1 日 森整第 1561 号
- この地図は、長野県知事の承認を得て、長野県森林基本図を使用して作成したものである。(承認番号 18 森政第 5-5 号)
- この地図は島根県が作成した森林基本図 1:5,000 を原図とし、島根県知事の承認を得て使用したものである。(承認番号 平成 18 年 11 月 24 日付け森第 1286 号)
- この地図は島根県が作成した森林基本図 1:5,000 を原図とし、島根県知事の承認を得て使用したものである。(承認番号 平成 19 年 2 月 27 日付け森第 1736 号)
- この地図は、長崎県知事の承認を得て、長崎県森林基本図 (1/5,000) を使用し調製したものである。承認番号 18 林第 492 号 (平成 18 年 10 月 6 日)
- この地図は、熊本県知事の承認を得て 5,000 分の 1 の森林地形図を複製したものである。(承認番号 森整第 993 号・平成 19 年 2 月 14 日)
- この地図は、熊本県知事の承認を得て 5,000 分の 1 の森林地形図を複製したものである。(承認番号 森整第 1079 号・平成 19 年 3 月 7 日)
- この地図は、大分県知事の承認を得て、5,000 分の 1 森林基本図を使用し、調整したものである(承認番号林 18-1 平成 18 年 12 月 5 日)
- この地図は、大分県知事の承認を得て、5,000 分の 1 森林基本図を使用し、調整したものである(承認番号林 18-2 平成 19 年 3 月 7 日)
- この地図は宮崎県知事の承認を得て 5000 分の 1 森林基本図を使用し、調製したものである。(承認番号 使 18-1 号 平成 18 年 12 月 8 日)
- この地図は宮崎県知事の承認を得て 5000 分の 1 森林基本図を使用し、調製したものである。(承認番号 使 18-3 号 平成 19 年 3 月 8 日)
- この地図の作製に当たっては、鹿児島県知事の承認を得て、5 千分の 1 森林基本図を使用したものである。(承認番号 平 18 林振第 360 号)
- この地図は、知覧町長の承認を得て、同町発行の 1/5,000 全図を使用し、調製したものである。(承認番号) 平成 18 年 5 月 26 日知耕 第 590 号
- この地図の作成にあたっては、茨城県林政課作成の 5 千分の 1 森林基本図を使用しました。(測量法第 44 条第 3 項の規定に基づく成果使用承認 平成 19 年 8 月 8 日付、承認番号 林政 19-482 号、茨城県林政課長)
- この地図は秋田県知事の承認を得て森林基本図を複製したものである。(承認番号 平成 18 年 11 月 30 日 指令水緑 -947)
- この地図は、笛吹市長の承認を得て同市発行の 10000 分の 1 の全図を使用し、作成したものである。(承認番号 笛まち第 12-25 号 平成 19 年 12 月 13 日承認)

- この成果品は、高知県が作成した測量成果を、高知県知事の承認を得て使用し作成したものである。(承認番号 平成 19 年 2 月 14 日 付け 18 高森推第 568 号)
- この地図の作成に当たっては、鹿児島県知事の承認を得て、5 千分の 1 森林基本図を使用したものである。(承認番号 平 19 林振第 404 号)
- この地図データの一部は、小樽市長の承認を得て、同市が作成した平成 19 年度臨港道路竣工平面図を複製したものである。(承認番号) 平 21 樽港事第 33 号
- この地図は、森林計画室長の承認を得て静岡県作成の 5000 分の 1 の森林基本図を複製したものである。(承認番号) 平成 21 年森計第 477 号
- この地図の作成に当たっては、鹿児島県知事の承認を得て、5 千分の 1 森林基本図を使用したものである。(承認番号 平 18 林振第 497 号)
- この地図は、東根市長の承諾を得て同市保管の東根市道路台帳図を使用し、調整したものである。(承認番号 東建収第 8 号 平成 21 年 5 月 27 日承認)
- この地図は幕別町長の承認を得て、同町発行の 2 千 5 百分の 1 幕別町現況図を使用し、調整したものである。(承認番号)H22 幕都 計第 185 号
- この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院の技術資料 H・1・No.3「日本測地系における離島位置の補正量」を利用し作成したものである。(承認番号 国地企調第 180 号 平成 22 年 9 月 28 日)
- この地図の作製に当たっては、鹿児島県知事の承認を得て、5 千分の 1 森林基本図を使用したものである。(承認番号 平 19 林振第 246 号)
- この地図は、田原市長の承認を得て、同市発行の都市計画図を使用して作成したものである。(承認番号)23 田街第 55 号
- この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の災害復興計画基図を使用した。(承認番号 平 24 情使、第 199 号 -55 号)
- このデータは、国土地理院長の承認を得て、同院の「小笠原諸島西之島周辺の正射画像(平成 26 年 3 月 22 日撮影)」を利用して作成したものである。(承認番号 国地企調第 89 号 平成 26 年 6 月 13 日)
- この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の 5 千分の 1 国土基本図を使用した。(承認番号 平 26 情使、第 74 号 -55 号)
- この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用した。(承認番号 平 26 情使、第 163 号 -55 号)
- ©2014 INCREMENT P CORP.

道路ネットワーク

- この地図の作成に当たっては、一般財団法人日本デジタル道路地図協会発行の全国デジタル道路地図データベースを使用する。(測量法第 44 条に基づく成果使用承認 < 07-125P >)[2014 年 3 月発行データ使用]
- ©2009-2014 (一般財団法人) 日本デジタル道路地図協会
- ©2014 INCREMENT P CORP.

MEMO

This image shows a single sheet of white paper with horizontal ruling lines. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There are no margins, text, or other markings on the paper.